宗一(人名)

将三経義疏(書名) ➡ 法華義疏

将軍(人名) ➡ 征夷大将軍

将軍塚(地名) 京都府京都市東山区の丘陵。古墳時代後期の前方後円墳。全長一八〇メートル。

将軍地蔵(地名) 京都府京都市東山区の地名。

将軍宣下(しょうぐんせんげ) 征夷大将軍に任ずる旨の宣旨。

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

将軍塚(しょうぐんづか) ➡ 将軍塚

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

将軍塚青嵐賦(書名) 江戸後期の漢詩文集。頼山陽著。一八一二年刊。

将軍塚古墳(しょうぐんづかこふん) 京都府京都市東山区にある古墳。

将軍塚大日堂舞台(しょうぐんづかだいにちどうぶたい) 京都府京都市東山区の清水寺境内にある舞台。

将軍地蔵山古墳(しょうぐんじぞうやまこふん) 京都府京都市伏見区にある古墳。

眞言鏡、全宗記眞言鏡 ❷三巻 ❸寛五巻 ❹存 ❺心覚(永久五—応永四 A. D. 1117—1180)撰

❻古来の眞言陀羅尼、梵語の陀羅尼、梵語の四種法等を集めしものにして、第一巻には三種眞言等事、梵語悉曇四十七字、第二巻には種子陀羅尼四十五字等、第三巻には金剛部悉曇天眞言四十九字等を記し、実字悉曇梵字悉曇等にて記してある。

❼覚鑁古代訳 ❽(応大)(寛)・一・六)

眞言集 ❶(日)Shin-gon-shū. ❷三巻 ❸存 ❹守覚法親王(久安六—建仁二)A. D. 1150—1202)撰

❻古来の眞言と其功徳につき、梵語の文を集めしものにして、第一巻には大日・阿閦如・宝幢・開敷華・無量寿・釈迦・金剛・薬師・弥勒・孔雀・仁王護・大字。第二巻には観音・千手・馬頭・十一面・如意輪・不空羂索・准胝・大威徳・軍荼利・金剛童子・不動・大日・八字文殊・五字文殊・六字文殊・普賢・理趣・最勝・地蔵。第三巻には愛染王・不動・降三世・軍荼利・大威徳・金剛薬叉・烏瑟沙摩・馬頭・馬頭観音・十一面観音・准胝観音・如意輪観音・不空羂索観音・千手観音・聖観音・六字文殊・五字文殊・普賢・理趣・最勝・地蔵。第三巻には愛染王・不動・降三世・軍荼利・大威徳・金剛薬叉・烏瑟沙摩・馬頭・馬頭

名所行登●（名草歌名題索引）月次の行登●（雲多多雲得且）雲来●（雲多多雲得且）雲来●（雲多多雲得且）雲来

禁書目録 ❶ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❷ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書の目録 ❶ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書の目録 ❷ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❸ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❹ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❺ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❻ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❼ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❽ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❾ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ❿ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓫ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓬ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓭ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓮ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓯ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓰ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓱ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓲ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓳ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ⓴ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉑ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉒ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉓ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉔ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉕ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉖ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉗ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉘ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉙ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉚ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉛ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉜ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉝ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉞ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㉟ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊱ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊲ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊳ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊴ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊵ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊶ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊷ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊸ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊹ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊺ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊻ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊼ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊽ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊾ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 ㊿ (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (51) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (52) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (53) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (54) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (55) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (56) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (57) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (58) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (59) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (60) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (61) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (62) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (63) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (64) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (65) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (66) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (67) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (68) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (69) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (70) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (71) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (72) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (73) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (74) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (75) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (76) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (77) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (78) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (79) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (80) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (81) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (82) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (83) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (84) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (85) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (86) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (87) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (88) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (89) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (90) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (91) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (92) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (93) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (94) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (95) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (96) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (97) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫熊・孫士毅らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (98) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫頤らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (99) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫頤らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

禁書目録 (100) (ロ) Shin-sai-dai-shi-go-roku. (外) Chên-chi-ta-shih-yü-lu. 清代の禁書目録。乾隆帝の勅命により，紀昀・陸錫頤らが編纂。1781年(乾隆46)成る。3449部，1万7908巻を収録。

の下を見よ。

眞宗大意正傳 ❶(日) Shin-satsu-dai-sō-jō-den. ❷存，淨土宗全書第一八卷記系書 ❸寂玄大食（貞永六—天文十一）撰 ❹寛延二（A. D. 1709—1782）撰

❶京都東西本願寺派の宗學院第四十九世宗主圓如上人（俗姓光森大谷正の妹で）感化で作られてゐる。幼にして父を失ひ，自から母に乞ふて出家，東都學問所學頭，宗主圓眞和尚に師事し，和尚の學德と，行業，言動とを述べて，師正行實叙述の苦，其父及び後師恵空の教を叙し，大明奈良仁安三年（A. D. 1173—1262）迄 ❸元仁元年（A. D. 1224）❹題淨土眞實教行證文類の下を見よ。

眞實教行證文類 ❶(日) Shin-jitsu-kyō-gyō-shō-mon-rui. 別淨土眞實教行證文類，教行信證文類，教行信證，淨土文類，眞文類，眞宗，眞宗大典，本書 ❷六卷 ❸存，大正八三・五八九 No. 2646，龍舒九，佛教大系第五三，結示眞實教文類全卷上，結示眞實教行證文類，教行信證，眞宗大全卷上，結示眞實教行證文類，教行信證，眞宗大全卷上，結示眞實教行證文類，教行信證，眞宗大

眞宗安心所依論 ❶(ロ)Shin-shū-an-jin-sho-ki-ron. ❷1巻 ❸存 ❹伊藤義賢著 ❺大正11刊 ❻山口竹子夢祭出版部

眞宗安心正偽編 ❶(ロ)Shin-shū-an-jin-shō-gi-hen. ❷11巻 ❸存 ❹大鏡(一天明四 A. D. 1784—)述 ❺(参考) 浄土眞宗教義安心章 ❻明和元刊(龍大)(谷大)(宗大)(大谷)(龍大)(大谷)(宗大)(大谷)(龍大)(大谷)(宗大)(大谷)(龍大)(大谷

真宗一夕話 ❶(日)Shin-shū-is-seki-wa. ❷1巻 ❸存 ❹淵川西雄 ❺明治

真宗一致教義要綱 ❶(日)Shin-shū-ichi-jō-kyō-gi-shō-yaku. ❷1巻 ❸存 ❹星亮達 ❺寛延1(A. D. 1762)八月 ❻(参考)浄土真宗教義を略述 ❼寛延1刊(龍大・1五〇1・11三)(谷大・宗大・11九三三)

真宗一夕話 ❶(日)Shin-shū-is-seki-wa. ❷1巻 ❸存 ❹淵川西雄 ❺明治

真宗印譜 ❶(日)Shin-shū-in-fu. ❷1帖 ❸存 ❹(真)大谷光瑞 ❺明治四十五年刊 ❻(谷)

神社神道 ❶(Shin-shā shintō)(名)

神社本庁 ❶(Shin-shā hon-chō)(名)

神社明細帳 ❶(Shin-shā mei-sai-chō)(名)

神社明細帳 ❶(Shin-shā mei-sai-ty

真宗教理と政教大本 ❶(白)Shin-shū-kyō-ri-to-sei-kyō-tai-hon. ❷一卷 ❸存 ❹木村大見著 ❺大正五刊 ❻(谷大・宗学・四一)(又大・日一三・三四)

真宗行儀辨 ❶(白)Shin-shū-gyō-gi-ben. ❷一卷 ❸存 ❹益令(明和八—一八一一)著 ❺文化九 A. D. 1771—1812)述 ❻写本(龍大・一一三・一二九) (栗瀧住)

真宗行信辨義鈔 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-ryaku-ron. 行信略論 ❷一卷 ❸存 ❹大嶽(貫嶽)三一重光 A. D. 1791—1865)述 ❺真宗の行信を論ずるに先づ法体の立脚点の旨を明し、次に釈義の行信問題を論じ、三法四法の交際を明し以て行信の義体を弘通せるものである。

真宗行者住目辨 ❶(白)Shin-shū-gyō-ja-okite-moku-ben. ❷一卷 ❸存 ❹信行住述 ❺天明七刊 ❻(龍大・一五〇三・一六六)

真宗行事課間永禁記 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-gi-mon-kee-chaku-ki. ❷一巻 ❸存 ❹諸行無常述 ❺明治三八刊 ❻(龍大・一五〇二・五一)

真宗行信辨録 ❶(白)Shin-shū-gyō-shim-ben-gi. ❷一卷 ❸存 ❹信暁撰録(先祭の「日暁」にも「文中稀に行暁等とも書く、但可と曰とを発親切、手」と記してゐる。即ち「大会」の仰西寺本「録」と記してゐる。即ち「大会」の仰西寺本「録」には「右此書者上人御作加州金沢之代勝仰西寺御筆正之書写之本首題書同様之書写本改題仰西寺御筆正之書写之本首題書中巻十二月日」とあり、「真宗教大全」収録本には「文明七年九月仰西寺明遵令書題如御所望」とある。❺(参考) 浄土真宗教目録、真宗法要目録及左録、真宗法要外諸宗教義、真宗法要初書系一 ❻写本元刊(龍大・一一三・三八、体裁又左大)(谷大・宗大・四七一九)写本(龍大・一一三・一二九) (栗瀧住)

真宗行信略論 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-ryaku-ron. 行信略論 ❷一卷 ❸存、真宗全書第五二 ❹大嶽(貫嶽)三一重光 A. D. 1791—1865)述 ❺真宗の行信を論ずるに先づ法体の立脚点の旨を明し、次に釈義の行信問題を論じ、三法四法の交際を明し以て行信の義体を弘通せるものである。

真宗行者住目辨 ❶(白)Shin-shū-gyō-ja-okite-moku-ben. ❷一卷 ❸存 ❹信暁述 ❺天明七刊 ❻(龍大・一五〇三・一六六)

真宗行事課間永禁記 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-gi-mon-kee-chaku-ki. ❷一巻 ❸存 ❹諸行無常述 ❺明治三八刊 ❻(龍大・一五〇二・五一)

真宗行信辨録 ❶(白)Shin-shū-gyō-shim-ben-gi. ❷一卷 ❸存 ❹信暁撰録(先祭の「日暁」にも「文中稀に行暁等とも書く、但可と曰とを発親切、手」と記してゐる。即ち「大会」の仰西寺本「録」には「右此書者上人御作加州金沢之代勝仰西寺御筆正之書写之本首題書同様之書写本改題仰西寺御筆正之書写之本首題書中巻十二月日」とあり、「真宗教大全」収録本には「文明七年九月仰西寺明遵令書題如御所望」とある。❺(参考) 浄土真宗教目録、真宗法要目録及左録、真宗法要外諸宗教義、真宗法要初書系一 ❻写本元刊(龍大・一一三・三八、体裁又左大)(谷大・宗大・四七一九)写本(龍大・一一三・一二九) (栗瀧住)

真宗行信辨義鈔 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-ben-gi-shō. ❷一卷 ❸存、真宗全書第五一 ❹慧空(一明治一四 A. D. 1804—1881)述 ❺信心往生と得名往生との教語は皆く左右あるも、その左右差別たゝ一念の教語にして、信心正因得名報因の教示こそ正意たることにも述べたものである。行信義文類の著と共に主要の行信論を明したものである。

(龍栗瀧住)

真宗行信略論 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-ryaku-ron. 行信略論 ❷一卷 ❸存、真宗全書第五一 ❹大嶽(貫嶽)三一重光 A. D. 1791—1865)述 ❺真宗の行信を論ずるに先づ法体の立脚点の旨を明し、次に釈義の行信問題を論じ、三法四法の交際を明し以て行信の義体を弘通せるものである。

(龍栗瀧住)

真宗行信論 ❶(白) Shin-shū-gyō-shin-ron. ❷五巻 ❸存 ❹大嶽(貫嶽)三一重光 A. D. 1791—1865)述 ❺真宗の行信を論ずるに先づ法体の立脚点の旨を明し、次に釈義の行信問題を論じ、三法四法の交際を明し以て行信の義体を弘通せるものである。

真宗行信論義 ❶(白)Shin-shū-gyō-shin-ron-gi. ❷一卷 ❸存 ❹龍樹三祖 ❺天正一一刊 ❻(龍大・一七九九・一六)(谷大・宗大・三一九六)(又大・一一九)

真宗同布薩全書 ❶(白)Shin-shū-kyoku-fu-tatsu-zen-sho. ❷一卷 ❸存 ❹写本(龍大・一〇七・八)

真宗九家記 ❶(白) Shin-shū-ku-hyō-ki. ❷三卷 ❸存 ❹半沙(慶安一一三 A. D. 1698—)撰 ❺(参考) 浄土真宗教典志目二 ❻寛文九刊 ❼(谷大・宗大・四一四九)(龍大・一〇六・九)(谷大・一一七・八三)

真宗論弟鈔 ❶(白) Shin-shū-ku-ja-roku. ❷一卷 ❸存 ❹性均(延宝七—寛延四 A. D. 1679—1757)記 ❺写本(龍大・一七九三・一)

真宗擧古鈔 ❶(白)Shin-shū-kwai-ko-shō. 護国上人御建立真宗擧古鈔、山科賞慶、真宗擧古鈔 ❷三巻 ❸存、真宗全書第六九 ❹護国記 ❺真宗八年護国上人によつて建立せられた古跡、田口、明、山科、大阪の五ヶ所の御坊についての建立縁起を記したものである。

真宗擧古録 ❶(白)Shin-shū-kwai-ko-roku. 護国上人御建立真宗擧古鈔、山科賞慶、真宗擧古鈔 ❷三巻 ❸存、真宗全書第六九 ❹護国記

真宗擧古鈔 ❶(白)Shin-shū-kwai-ko-shō. 護国上人御建立真宗擧古鈔、山科賞慶、真宗擧古鈔 ❷三巻 ❸存、真宗全書第六九 ❹護国記 ❺真宗八年護国上人によつて建立せられた古跡、田口、明、山科、大阪の五ヶ所の御坊についての建立縁起を記したものである。

真宗擧古録 ❶(白)Shin-shū-kwai-ko-roku. 護国上人御建立真宗擧古鈔、山科賞慶、真宗擧古鈔 ❷三巻 ❸存、真宗全書第六九 ❹護国記

真宗現世祈禱論 ❶(日)Shin-shū-gen-ze-ki-tō-ron. ❷1巻 ❸存 ❹諸谷農出述 ❺明治三八刊 ❻(谷大・宗仲・1九八)

真宗現世祈禱論問答 ❶(日)Shin-shū-gen-ze-ki-tō-ron-ham-mon. ❷1巻 ❸存 ❹古谷農出述 ❺明治三八刊 ❻(谷大・宗小・1三〇六 龍大・体蔵)

真宗現世攻玉論 ❶(日)Shin-shū-gen-ze-ben-waku-ron. ❷1巻 ❸存 ❹島雲道 ❺安政四刊 ❻(龍大・1五〇三・1四六)

真宗現世利益考 ❶(日)Shin-shū-gen-ze-ri-yaku-kō. ❷1巻 ❸存 ❹義山福慧道 ❺大正七刊 ❻文部省教学局

真宗眼睛珍 ❶(日) Shin-shū-gen-zui-shō. ❷1巻 ❸真宗作 ❹享保一八(A. D. 1733) ❻〔参考〕 続土蔵宗教全書第11

真宗古文書 ❶(日) Shin-shū-ko-mon-jo. ❷1巻 ❸存 ❹真宗全書刊行会 ❻〔参考〕 真宗全書刊行会定本目

真宗校訂古語辞典 ❶(日) Shin-shū-ko-ji-sei-go-ji-ten. ❷1巻 ❸存 ❹沼法真・小栗栖香頂 ❺大正一一刊 ❻(龍大・体蔵)

真宗校量教学判 ❶(日)Shin-shū-ko-jitsu-senn-yō-shō. ❷三巻 ❸存 ❹明暦 ❻(谷大・龍大・一〇六・一一)

真宗校量教学攷異 ❶(日)Shin-shū-ko-jitsu-senn-yō-roku-zu-e. ❷三巻 ❸存 ❹法水英雄 ❻安政七刊(谷大・宗大・一一九六)真蹟完刊(谷図・一一〇・一八六)

真宗校量教学攷 ❶(日)Shin-shū-ko-jitsu-den-rai-shō. 真宗校量教学攷参 ❷四巻 ❸存・真宗全書第六三 ❹伝雲記 ❺明和五(A. D. 1768)

❻真宗において弘用する大意、綱要、名義の左右前後、正義、出処、行持等に就いて、古老の説を記述せるものなり。

❻(谷大・龍大・一〇六・一一)(龍大)(帝図・一一七・三三) (蔵経目録)

真宗校量教学攷追加目録 ❶(日)Shin-shū-ko-jitsu-den-rai-shō-tsui-ka-moku-roku. ❷1巻 ❸存 ❹伝雲(一明和五 A. D. 1768—)記 ❻(谷大・龍大・一〇六・一三)

真宗校量教学攷 ❶(日)Shin-shū-ko-jitsu-den-rai-roku. 真宗校量教学攷参 ❷三巻 ❸存・真宗全書第六三 ❹伝雲(一明和五 A. D. 1768—)記 ❻(谷大・宗大・六八・一)

真宗校量教学記事課 ❶(日) Shin-shū-ko-jitsu-hik-ki-zō-ho. ❷1巻 ❸存 ❹伝雲(一明和五 A. D. 1768—) ❺大正五 ❻(谷大・宗大・一一七五三)

真宗校改集 ❶(日) Shin-shū-ko-sui-hen. ❷11巻 ❸存 ❹法雲(大正慈元—享和一三 A. D. 1711—1763)作 ❺享和元(A. D. 1755) ❻〔参考〕 続土蔵宗教全書第11

真宗五部経 ❶(日) Shin-shū-go-gwam-ben. ❷存・十四冊帰敬儀之内 ❸写本(龍大・一〇三・七)

真宗五十題 ❶(日) Shin-shū-go-jū-dai. ❷1巻 ❸存 ❹武田行忠(文化一四—明治二三 A. D. 1817—1890)述 ❸写本(龍大・一五〇一・五11)

真宗五祖像 ❶(日)Shin-shū-go-so-den. ❷1軸 ❸存 ❹(前)ら・四・中・一六)

真宗御歴代絵像 ❶(日)Shin-shū-go-reki-dai-ryaku-den. ❷1軸 ❸存 ❹友山道尾録 ❺明治三四刊 ❻(龍大・附式)

真宗護法論 ❶(日)Shin-shū-go-hō-hen. ❷11巻 ❸存・真宗全書第五五 ❹願海(寛延三—文政五 A. D. 1752—1822)述 ❺真宗の綱要を述べたもので、都門を分つて、護法大綱、安心領解、復立宗義、現益利益、報恩行儀、信後教誡、浴室分別、勧化大旨、護令法度、祖風作法、形象安置、位牌安不、葬送随不、僧侶安不、会合法話、非往非帰、念仏奉為、折伏摂受、護法防護、称讃随喜の三十項となつてゐる。

❻写本(龍大・一〇三・五三) (蔵経目録)

真宗護法要旨訓 ❶(日)Shin-shū-go-hō-yō-shi-kun. ❷1巻 ❸存 ❹信慧(享保四—寛政一一 A. D. 1719—1762)述 ❸写本(谷大・宗大・11三九)

真宗考信録 ❶(日) Shin-shū-kō-shin-roku. 真宗考信録 ❷五巻 ❸存・真宗全書第六四 ❹玄智(安永三—天保一四 A. D. 1774—1829)述 ❺安永三(A. D. 1774) ❻考信録の下を見よ ❼明治三〇刊 ❽(谷大・宗小・一〇三)(帝図・一〇・11三)

真宗考信録和讃対象 ❶(日) Shin-shū-kō-sō-wa-san-jutsu-yō. ❷11巻 ❸存 ❹香園(一明和五 A. D. 1768—)記 ❺享和元刊 ❻(立大・八四〇・五一)

真宗綱要 ❶(日) Shin-shū-kō-yō. ❷1巻 ❸存 ❹鈴木法琛述 ❺大正一一刊 ❻安政四年出版許証

真宗綱要 ❶(日) Shin-shū-kō-yō. 通俗真宗綱要 ❷1巻 ❸存 ❹法土行誠(寛政一—明治四三)述 ❺明治四三刊 ❻(谷大・宗仲・1三七)

真宗綱領 ❶(日) Shin-shū-kō-ryō. ❷1巻 ❸存 ❹中井玄道(嘉永六—大正六)述 ❺大正六刊 ❻(龍大・1三〇・11五)

真宗興正派宗制寺法並教団諸規 ❶(日) Shin-shū-kō-shō-ha-shū-sei-ji-hō-narabini-kyō-shi-ho-nin-ki-soku. ❷1巻 ❸存 ❹明治四三刊 ❻(龍大・11〇九四・1三)

真宗興正派法要軌範 ❶(日) Shin-shū-kō-shō-ha-ryū-en-gi. ❷1巻 ❸存 ❹小栗栖香頂(一大正四 A. D. 1915)編 ❺明治11五・四刊 ❻(谷大・宗仲・九三六 龍大・11四ン・七11)(谷大・宗仲・九三六 龍大・一九六・1・11〇 体蔵)(正大・1六・1・11B)

真宗興正寺派宗制寺法教団諸規 ❶(日) Shin-shū-kō-shō-ha-shū-sei-ji-hō-narabini-kyō-shi-ho-nin-ki-soku. ❷1巻 ❸存 ❹明治四三刊 ❻(龍大・11〇九四・1三)

真宗興隆和讃 ❶(日) Shin-shū-kō-ryū-wa-san. ❷1巻 ❸存 ❹鈴木法琛述 ❺大正一一刊 ❻安政四年出版許証

真宗講義 ❶(日) Shin-shū-kō-gi. ❷1巻 ❸存 ❹法土行誠(寛政一—明治四三)述 ❺明治四三刊 ❻(谷大・宗仲・1三七)

真宗講記 ❶(日)Shin-shū-kō-ki. ❷1巻 ❸存 ❹大阿内了悟著 ❺昭和四刊 ❻文部省教学局

真宗講説 ❶(日)Shin-shū-kō-setsu. ❷1巻 ❸存 ❹梁瀬義亮述 ❺刊年(龍大)

真宗講話 ❶(日) Shin-shū-kō-wa. ❷1巻 ❸存 ❹河治龍了著 ❺大正六刊 ❻(龍大・1〇五11・11七)

真宗祖之正義釈文照徴 ❶(日) Shin-shū-gō-no-shō-ben-shaku-mon-shō-tan-kyō. 真宗照徴篇 ❷1巻 ❸存 ❹(正大・1五七・六八)

真宗祖目馬耳風分 ❶(日) Shin-shū-kotsu-moku-ba-ji-fū-shō. ❷1巻 ❸存 ❹写本(龍大・体蔵)

真宗金剛井 ❶(日) Shin-shū-kon-gō-sho. ❷1巻 ❸存 ❹大鏡(一天明四 A. D. 1784—)述 ❸写本(龍大・1七六・11)

真宗金剛論 ❶(日) Shin-shū-kon-chū-ron. ❷1巻 ❸存 ❹正黒(寛延11—天保元 A. D. 1749—1830)述 ❸写本(龍大・体蔵)

真宗崇重三十座略者 ❶(日)Shin-shū-saku-mon-go-jū-jō-gu-tō. ❷1巻 ❸存 ❹圓法述 ❸写本(谷大・宗大・11九七七)

真宗崇敬問答 ❶(日)Shin-shū-sa-ku-rei-mon-dō. 真宗崇敬問答参 ❷三巻 ❸存 ❹細川瑞 ❺(参考) 続土蔵宗教全書11 ❻文政元刊 ❼(龍大・1五〇11・七八)

真宗雑記 ❶(日) Shin-shū-zak-ki. ❷11巻 ❸存 ❹写本(龍大・1〇九・三)

真宗三帖和讃六軸会本 ❶(日) Shin-shū-san-jō-wa-san-hō-ki-e-hon. 三帖和讃方軸会本 ❷十1巻 ❸存 ❹伯耆(安永八—天明三 A. D. 1723—1783)書・赤松月船(文政一〇—明治11九 A. D. 1827—1896)校 ❺明治一五刊 ❻(帝図・一四1・七七)(龍大・1111三六・三)"体蔵)(京大・1・11六六・1四)

真宗三部経章 ❶(日)Shin-shū-san-bu-shō-gyō. ❷三巻 ❸存 ❹本願文面章、真宗綱要文、改悪問答を輯む。

❺弘化三刊 ❻(谷大・宗大・三11五〇"宗大"11三〇七)

真宗三門徒派宗制寺法 ❶(日) Shin-shū-sam-mon-to-ha-shū-sei-ji-hō. ❸存 ❹刊本(龍大・11〇九四・1111)

真宗讃嘆善悪文 ❶(日)Shin-shū-san-dan-koku-byaku-mon. ❷1巻 ❸存 ❹写本(龍大)

真宗史 ❶(日)Shin-shū-shi. ❷1巻 ❸存・真宗通信講義之内 ❹山田文昭(一昭和八 A. D. 1933)著 ❺刊本(龍大・1九1・三)(京都)(谷大)

真宗史 ❶(日)Shin-shū-shi. ❷1巻 ❸存 ❹宗氏綱目著 ❺大正11一刊 ❻(龍大・1九1・1一11"体史)

真宗史の体系 ❶(日)Shin-shū-shi-no-ken-kyū. ❷1巻 ❸存 ❹日下無倫著 ❺昭和七刊 ❻文部省教学局

真宗史料収集室報告 ❶(日)Shin-shū-shi-ryō-sai-hō-sha-shin-chō. ❷11帖 ❸存 ❹国宝北畠親房自筆寺院所蔵書籍調査報告

真宗下野法主会答書 ❶(日) Shin-shū-shimo-tsuke-ryū-hon-zon-gi. ❷1巻 ❸存 ❹法燈重光(元禄十四—明和三 A. D. 1701—1765)記 明和八年六五冠作 ❺〔参考〕 浄土真宗教章志第三

真宗宝号真意章 ❶(日)Shin-shū-sha-shin-hō-ten. 本願本願寺版宗門真意章 ❷1巻 ❸存 ❹久保要英編 ❺大正五刊 ❻(縮大)

真宗聚分章 ❶(日) Shin-shū-ju-yō-hen. ❷1巻 ❸存 (真宗綱要(了誉聖冠著)参照)

❹本書は帝国文庫同梱聖冠師が、寺門教名の概要を述べる所なりとて、安永三甲午歳、其寺の講説として用行師命ぜしものである。了誉師は之を真宗綱要十二巻中に編入す。内容は先づ序文として真宗元祖(親鸞聖人)の伝記を略述し、次に「真宗教義綱領」と名づけた(信心の要を述べたるに過ぎず、教名が)く信心の要を開顕して真宗教義綱領と名づけた由縁を記し、次に「真宗教義綱領」釋教名「義」といふ題目釋義を安き、次に本文に像は信心名義、信心と称見、念仏と生因、自力雑行、弥陀誓願、仏号釋義、仏恩報謝の四段に分ち、各段毎に問答を設けて、教名の由来、信心の要義、念仏の意義、雑行雑修の得失、仏恩報謝の心得等を説き、最後に「真宗教義綱領」の名称は、聖人の御作にして、其の教義の綱要を示されたるに過ぎず、又題目、三昧耶をひくものの不審あり」と、又文中「ねがふこころはただ一心に彌陀をたのみ奉るこころなり」といふものあるに就いて、「ねがふこころはいふにおよばず、ただ一心に彌陀をたのむこころなり」と見てゐる。要するに真宗義末詳、不知の者と云ふべきであるが、本文中に元祖(小部集、小部聚教)に引ぎず、龍島三法より筆を起し、末法の目最、会津論談に対する行者の豊度をのべ、本願の意義を説明して、又持名念仏の三部に分ち、本願寺上人の御作三部、先師御作三部、光師御作三部、本願寺上人の御作三部、先師御作三部、本願寺上人の御作三部、先師御作三部、本願寺上人の御作三部、先

新論（書名）

新論（書名）

新論（書名）

名所行器●（名産）酒名●（名産）名菓●（名産）名酒●（名産）銘酒●（名産）銘茶●（名産）名物●（名産）名木●（名産）名木●（名産）名木

紳士録 ❶ 図書 人名を集めて、その経歴・住所などを記した書物。

紳士録 Shin-shi-roku.

紳士録 ❶ 図書 ❷

真宗手鑑 ❶(日)Shin-shū-te-kaga-mi. ❷1巻 ❸存 ❹慧雲(安永元年—寛政元 A. D. 1715—1789)撰 ❺安永九刊(谷大・宗大・三一二七)明治九刊(谷大・宗大・二一〇七)(龍大・一一・左・四)

真宗提要 ❶(日) Shin-shū-tei-yō. ❷1巻 ❸存 ❹大谷派 ❺明治11四刊 ❻(帝国・一九・一四五)

真宗哲學 ❶(日)Shin-shū-tetsu-gaku. ❷一巻 ❸存 ❹井上圓了(一大正八 A. D. 1919)著 ❺明治11七刊 ❻(龍大・一三〇・三三)(帝国・七二・一三八・六八・一四三)

真宗哲學 ❶(日)Shin-shū-tetsu-gaku. ❷1巻 ❸存 ❹小野清秀著 ❺大正七刊 ❻(龍大・洋書)

真宗哲學性論 ❶(日)Shin-shū-tetsu-gaku-jo-ron. ❷1冊 ❸存 ❹井上圓了(一大正八 A. D. 1919)著 ❺明治11五刊 ❻(谷大・宗大・六〇七)

真宗傳記 ❶(日) Shin-shū-den-ki. ❷天澄(天文五—寛永11〇 A. D. 1536—1643)撰 ❸(参考) 山家清機撰述題目集巻下

真宗傳燈諸派通鑑 ❶(日) Shin-shū-den-tō-sho-ha-tsū-roku. ❷三巻 ❸(参考) 諸土真宗教義念珠11

真宗傳燈錄 ❶(日) Shin-shū-den-tō-roku. ❷三巻 ❸存 ❹性譜知空(寛永11—享保三 A. D. 1634—1718)撰 ❺大谷十五祖に関する問答。❻(参考) 諸土真宗教義念珠11 ❼安永五刊 ❽(龍大・1

真宗の教義 ❶(日) Shin-shū-no-kyō-gi. ❷1巻 ❸存 ❹北條瓊峯 ❺明治四四刊 ❻(谷大・宗大・三七〇)(龍大・一三〇・三四・(附録))(文大・B1三・四五)❼東京内牛田版社

真宗の教義 ❶(日) Shin-shū-no-kyō-gi. 通俗教誡話・真宗の教義 ❷1冊 ❸存 ❹南條文雄(東本11一明治11 A. D. 1849—1927)著 ❺大正14四刊 ❻(龍大)

真宗の教義 ❶(日) Shin-shū-no-kyō-gi. 手島に於いた真宗の教義 ❷1巻 ❸存 ❹南條文雄(東本11一昭和11 A. D. 1849—1927)著 ❺昭和11刊 ❻(龍大)

真宗の教義と其歴史 ❶(日)Shin-shū-no-kyō-gi-oyobi-sono-reki-shi. ❷1巻 ❸存 ❹金子大榮著 ❺大正四刊 ❻(龍大・一三〇・三五)(谷大・宗大・三八八)(正大・一六・一〇)

真宗の教義と信仰 ❶(日) Shin-shū-no-kyō-gi-to-shin-kō. ❷1冊 ❸存 ❹藤谷俊雄著 ❺大正五刊 ❻(龍大・一〇五二・三〇)

真宗の三大化義 ❶(日)Shin-shū-no-san-dai-ke-gi. ❷1巻 ❸存 ❹清水知誠著 ❺昭和四刊 ❻(谷大・宗大・八四11)

真宗の信仰と雑曲出家とその弟子 ❶(日)Shin-shū-no-shin-kō-to-gi-kyoku-shuk-ke-to-so-no-de-shi. ❷1巻 ❸存 ❹高橋圓惠大僧著 ❺大正11刊 ❻(龍大・(附録)(谷大・宗大・五一七)

真宗の信仰と其教義 ❶(日)Shin-shū-no-shin-kō-to-sono-kyō-gi. ❷1巻 ❸存 ❹烏丸大谷(明治八一昭和11 A. D. 1875—1927)著 ❺昭和五刊 ❻東京明宝館記

真宗信證大意 ❶(日)Shin-shū-tai-kō-go-shō-soku. 教行信證大意・教行信證名義・四法大意 ❷存 ❸真宗法語綜合 ❹十種聖教巻下 ❺存 ❻(正嘉三一重安六 A. D. 1290—1373)述 ❼一本最初(文正信證大意の下を見よ。

真宗信證大意 ❶(日)Shin-shū-tai-kō-go-shō-soku. ❷1巻 ❸存 ❹真宗法語綜合 ❺聖教大全附録 ❻親如(重永11一明暦八 A. D. 1415—1499) ❼教行信證大意の下を見よ。

真宗帰命假令義 ❶(日) Shin-shū-sai-tai-niku-jiki-gi. ❷存 ❸真宗全書第五九 ❹圓如(寛永11一寛文六 A. D. 1625—1726)述 ❺浄土真宗帰命假令義の下を見よ。

真宗教相記 ❶(日) Shin-shū-tai-hai-ki. ❷11巻 ❸存 ❹真宗全書第六四 ❺靈洲(正徳五—寛政元A. D. 1715—1789)述 ❻大事は、真宗の教義に関する事項を記述したものであつて、上巻には、本尊立像仏川之事、像像光明赤色之事、像像光明赤色之事、光明之事、像像之大小之事、像像之大小之事、七福即之事、十種即之事、依命即之事、即座即之事、即時即之事、即身即之事、即身即之事、即身

凡例 ●新項目 (名)(連)(形)(形動)(副)(感)(接)(代)(助)(助動)(接頭)(接尾)(枕)(俗)(雅)(古)(文)(漢)(略)(仏)(梵)(ポ)(蘭)(英)(独)(仏)(露)(中)(朝)(印)(伊)(西)(葡

ふうきりもん 風切紋 ❶(名)(Shin-)❶ 風切羽の模様。❷ 風切羽の形。

ふうけいが 風景画 ❶(名)(Shin-)❶ 風景を描いた絵画。

ふうけいしゃしんき 風景写真機 ❶(名)(Shin-)❶ 風景を撮影するのに適した写真機。

ふうけいしゃしんじゅつ 風景写真術 ❶(名)(Shin-)❶ 風景を撮影するのに適した写真術。

ふうけいしゃしんぶつ 風景写真物 ❶(名)(Shin-)❶ 風景を撮影した写真。

ふうけいしゃしんや 風景写真屋 ❶(名)(Shin-)❶ 風景写真を撮影する職業。また、その人。

ふうけいしゃしんりょこう 風景写真旅行 ❶(名)(Shin-)❶ 風景写真を撮影するための旅行。

ふうけいしゃしんれんしゅう 風景写真練習 ❶(名)(Shin-)❶ 風景写真を撮影するための練習。

ふうけいしゃしんれんしゅうじょ 風景写真練習所 ❶(名)(Shin-)❶ 風景写真を撮影するための練習所。

ふうけいしゃしんれんしゅうじょ 風景写真練習場 ❶(名)(Shin-)❶ 風景写真を撮影するための練習場

真宗本尊義相續 ❶(ロ)Shin-shū-hon-zon-gi-fu-ketsu. ❷1巻 ❸存 ❹[写本]〔谷大〕〔宗大〕[江]八[江]

真宗本尊聚悉開入書圖 ❶(ロ) Shin-shū-hon-zon-hō-on-hen-narabini-waku-mon. 真宗本尊聚悉開入門 ❷1巻 ❸存 ❹[写本](龍大)[江]七四・六)

真宗本尊安置圖 ❶(ロ)Shin-shū-hon-zon-waku-mon. 真宗本尊安置圖 ❷1巻 ❸存 ❹[写本](谷大)〔宗大〕[江]八[江]

真宗本願寺派布教章程目錄 ❶(ロ) Shin-shū-hom-pa-gaku-shō-chō-jutsu-moku-roku. 真宗本願寺派布教章程目錄 ❷1巻 ❸存 真宗全書四十四 ❹明治三四(A. D. 1901) ❺明治[江]五刊 ❻(龍大)[江]〇[江]・[江]一)

真宗本末諸寺事繼承目 ❶(ロ) Shin-shū-mas-sho-sho-seki-hyō-moku. ❷1巻 ❸存 ❹[写本](谷大)[江]三・[江]四八)

真宗御書誌 ❶(ロ) Shin-shū-mitsu-yō-ketsu. ❷1巻 ❸存 ❹[写本](龍大)明治[江]A. D. 1765—)撰 ❺[写本](龍大)[欠脱]

真宗名義永 ❶(ロ) Shin-shū-myō-gi-ketsu. ❷1巻 ❸存 ❹[写本](正大)[江]五七・八五)

真宗名目 ❶(ロ)Shin-shū-myō-moku. 浄土真宗名目 ❷[江]冊 ❸存 ❹[版]〔真文四—享保六A. D. 1664—1721)記 ❺明治[江]七刊 ❻(龍)・[江]・中・[江]六)〔谷大〕日大来・六七六)

真宗名目圖 ❶(ロ) Shin-shū-myō-moku-zu. 浄土真宗名目圖 ❷1冊 ❸存 ❹[版]圖(真文四—享保六A. D. 1664—1721)作 ❺刊年[写]・[外]・[江]・五・五)

真宗明文抄 ❶(ロ) Shin-shū-myō-mon-shō. 真宗明文抄 ❷1巻 ❸存 ❹[写]廣瀬(了誓撰本)〔谷大〕[江]四 真宗三部經教之內 ❺寛[版](文永七—寛喜[江]A. D. 1270—1351) ❻(参考) 浄土真宗教旨章

真宗名家講席集 ❶(ロ)Shin-shū-mei-ka-kō-en-shū. ❷1巻 ❸存 ❹加藤恒安講 ❺明治四[江]刊 ❻(正大)[江]六・[江]七) ❼真宗法義正傳

真宗法教辨 ❶(ロ) Shin-shū-mei-kyō-ben. ❷1巻 ❸存 ❹佐々木敬說述 ❺明治[江]五刊 ❻(谷大)〔宗大〕[江]五八)

真宗銘文抄 ❶(ロ) Shin-shū-mei-mon-shō. 真宗明文抄 ❷1巻 ❸存 ❹[写]廣瀬(了誓撰本)〔谷大〕[江]四 真宗三部經教之內 ❺寛[版](文永七—寛喜[江]A. D. 1270—1351)

❻本書は元祿五壬申歲五卷刊行の三部經教五卷の中第三卷四の開卷に收められ、了誓撰同は此三部經教刊本の總名を以て爲載を宜結すつ顯祖の書と看做すことゝ、之を了誓の起訂を見るに、此書中に引用せる諸師の著文は、(一)十七箇文。(二)親鸞聖人文。(三)聖德太子文。(四)源信僧都文。(五)善導和尚文。(六)曇鸞法師文。(七)眞佛房文。(八)法然上人文。(九)信空上人文。(十)隆寬律師文。(十一)鎭西聖人文。(十二)正信偈。(十三)高僧和讚。(十四)大師和讚文。(十五)往生要集。(十六)觀經疏。(十七)大師御文。(十八)御一代聖敎。(十九)御消息。(二十)御法語。(二十一)御傳鈔。(二十二)御臨終。(二十三)御袖日記。(二十四)御夢想記。(二十五)御臨末。(二十六)御相傳。(二十七)御口傳。(二十八)御口說。(二十九)御自釋。(三十)御自筆。(三十一)御名帳。(三十二)御書。(三十三)御文。(三十四)御法語。(三十五)御和讚。(三十六)御傳鈔。(三十七)御臨終。(三十八)御袖日記。(三十九)御夢想記。(四十)御末。(四十一)御口傳。(四十二)御口說。(四十三)御自釋。(四十四)御自筆。(四十五)御名帳。(四十六)御書。(四十七)御文。(四十八)御一代聖敎。(四十九)御消息。(五十)御法語。(五十一)御和讚。(五十二)御傳鈔。(五十三)御臨終。(五十四)御袖日記。(五十五)御夢想記。(五十六)御末。(五十七)御口傳。(五十八)御口說。(五十九)御自釋。(六十)御自筆。(六十一)御名帳。(六十二)御書。(六十三)御文。(六十四)御法語。(六十五)御和讚。(六十六)御傳鈔。(六十七)御臨終。(六十八)御袖日記。(六十九)御夢想記。(七十)御末。(七十一)御口傳。(七十二)御口說。(七十三)御自釋。(七十四)御自筆。(七十五)御名帳。(七十六)御書。(七十七)御文。(七十八)御一代聖敎。(七十九)御消息。(八十)御法語。(八十一)御和讚。(八十二)御傳鈔。(八十三)御臨終。(八十四)御袖日記。(八十五)御夢想記。(八十六)御末。(八十七)御口傳。(八十八)御口說。(八十九)御自釋。(九十)御自筆。(九十一)御名帳。(九十二)御書。(九十三)御文。(九十四)御法語。(九十五)御和讚。(九十六)御傳鈔。(九十七)御臨終。(九十八)御袖日記。(九十九)御夢想記。(百)御末。(百一)御口傳。(百二)御口說。(百三)御自釋。(百四)御自筆。(百五)御名帳。(百六)御書。(百七)御文。(百八)御一代聖敎。(百九)御消息。(百十)御法語。(百十一)御和讚。(百十二)御傳鈔。(百十三)御臨終。(百十四)御袖日記。(百十五)御夢想記。(百十六)御末。(百十七)御口傳。(百十八)御口說。(百十九)御自釋。(百二十)御自筆。(百二十一)御名帳。(百二十二)御書。(百二十三)御文。(百二十四)御法語。(百二十五)御和讚。(百二十六)御傳鈔。(百二十七)御臨終。(百二十八)御袖日記。(百二十九)御夢想記。(百三十)御末。(百三十一)御口傳。(百三十二)御口說。(百三十三)御自釋。(百三十四)御自筆。(百三十五)御名帳。(百三十六)御書。(百三十七)御文。(百三十八)御一代聖敎。(百三十九)御消息。(百四十)御法語。(百四十一)御和讚。(百四十二)御傳鈔。(百四十三)御臨終。(百四十四)御袖日記。(百四十五)御夢想記。(百四十六)御末。(百四十七)御口傳。(百四十八)御口說。(百四十九)御自釋。(百五十)御自筆。(百五十一)御名帳。(百五十二)御書。(百五十三)御文。(百五十四)御法語。(百五十五)御和讚。(百五十六)御傳鈔。(百五十七)御臨終。(百五十八)御袖日記。(百五十九)御夢想記。(百六十)御末。(百六十一)御口傳。(百六十二)御口說。(百六十三)御自釋。(百六十四)御自筆。(百六十五)御名帳。(百六十六)御書。(百六十七)御文。(百六十八)御一代聖敎。(百六十九)御消息。(百七十)御法語。(百七十一)御和讚。(百七十二)御傳鈔。(百七十三)御臨終。(百七十四)御袖日記。(百七十五)御夢想記。(百七十六)御末。(百七十七)御口傳。(百七十八)御口說。(百七十九)御自釋。(百八十)御自筆。(百八十一)御名帳。(百八十二)御書。(百八十三)御文。(百八十四)御法語。(百八十五)御和讚。(百八十六)御傳鈔。(百八十七)御臨終。(百八十八)御袖日記。(百八十九)御夢想記。(百九十)御末。(百九十一)御口傳。(百九十二)御口說。(百九十三)御自釋。(百九十四)御自筆。(百九十五)御名帳。(百九十六)御書。(百九十七)御文。(百九十八)御一代聖敎。(百九十九)御消息。(二百)御法語。(二百一)御和讚。(二百二)御傳鈔。(二百三)御臨終。(二百四)御袖日記。(二百五)御夢想記。(二百六)御末。(二百七)御口傳。(二百八)御口說。(二百九)御自釋。(二百十)御自筆。(二百十一)御名帳。(二百十二)御書。(二百十三)御文。(二百十四)御法語。(二百十五)御和讚。(二百十六)御傳鈔。(二百十七)御臨終。(二百十八)御袖日記。(二百十九)御夢想記。(二百二十)御末。(二百二十一)御口傳。(二百二十二)御口說。(二百二十三)御自釋。(二百二十四)御自筆。(二百二十五)御名帳。(二百二十六)御書。(二百二十七)御文。(二百二十八)御一代聖敎。(二百二十九)御消息。(二百三十)御法語。(二百三十一)御和讚。(二百三十二)御傳鈔。(二百三十三)御臨終。(二百三十四)御袖日記。(二百三十五)御夢想記。(二百三十六)御末。(二百三十七)御口傳。(二百三十八)御口說。(二百三十九)御自釋。(二百四十)御自筆。(二百四十一)御名帳。(二百四十二)御書。(二百四十三)御文。(二百四十四)御法語。(二百四十五)御和讚。(二百四十六)御傳鈔。(二百四十七)御臨終。(二百四十八)御袖日記。(二百四十九)御夢想記。(二百五十)御末。(二百五十一)御口傳。(二百五十二)御口說。(二百五十三)御自釋。(二百五十四)御自筆。(二百五十五)御名帳。(二百五十六)御書。(二百五十七)御文。(二百五十八)御一代聖敎。(二百五十九)御消息。(二百六十)御法語。(二百六十一)御和讚。(二百六十二)御傳鈔。(二百六十三)御臨終。(二百六十四)御袖日記。(二百六十五)御夢想記。(二百六十六)御末。(二百六十七)御口傳。(二百六十八)御口說。(二百六十九)御自釋。(二百七十)御自筆。(二百七十一)御名帳。(二百七十二)御書。(二百七十三)御文。(二百七十四)御法語。(二百七十五)御和讚。(二百七十六)御傳鈔。(二百七十七)御臨終。(二百七十八)御袖日記。(二百七十九)御夢想記。(二百八十)御末。(二百八十一)御口傳。(二百八十二)御口說。(二百八十三)御自釋。(二百八十四)御自筆。(二百八十五)御名帳。(二百八十六)御書。(二百八十七)御文。(二百八十八)御一代聖敎。(二百八十九)御消息。(二百九十)御法語。(二百九十一)御和讚。(二百九十二)御傳鈔。(二百九十三)御臨終。(二百九十四)御袖日記。(二百九十五)御夢想記。(二百九十六)御末。(二百九十七)御口傳。(二百九十八)御口說。(二百九十九)御自釋。(三百)御自筆。(三百一)御名帳。(三百二)御書。(三百三)御文。(三百四)御法語。(三百五)御和讚。(三百六)御傳鈔。(三百七)御臨終。(三百八)御袖日記。(三百九)御夢想記。(三百十)御末。(三百十一)御口傳。(三百十二)御口說。(三百十三)御自釋。(三百十四)御自筆。(三百十五)御名帳。(三百十六)御書。(三百十七)御文。(三百十八)御一代聖敎。(三百十九)御消息。(三百二十)御法語。(三百二十一)御和讚。(三百二十二)御傳鈔。(三百二十三)御臨終。(三百二十四)御袖日記。(三百二十五)御夢想記。(三百二十六)御末。(三百二十七)御口傳。(三百二十八)御口說。(三百二十九)御自釋。(三百三十)御自筆。(三百三十一)御名帳。(三百三十二)御書。(三百三十三)御文。(三百三十四)御法語。(三百三十五)御和讚。(三百三十六)御傳鈔。(三百三十七)御臨終。(三百三十八)御袖日記。(三百三十九)御夢想記。(三百四十)御末。(三百四十一)御口傳。(三百四十二)御口說。(三百四十三)御自釋。(三百四十四)御自筆。(三百四十五)御名帳。(三百四十六)御書。(三百四十七)御文。(三百四十八)御一代聖敎。(三百四十九)御消息。(三百五十)御法語。(三百五十一)御和讚。(三百五十二)御傳鈔。(三百五十三)御臨終。(三百五十四)御袖日記。(三百五十五)御夢想記。(三百五十六)御末。(三百五十七)御口傳。(三百五十八)御口說。(三百五十九)御自釋。(三百六十)御自筆。(三百六十一)御名帳。(三百六十二)御書。(三百六十三)御文。(三百六十四)御法語。(三百六十五)御和讚。(三百六十六)御傳鈔。(三百六十七)御臨終。(三百六十八)御袖日記。(三百六十九)御夢想記。(三百七十)御末。(三百七十一)御口傳。(三百七十二)御口說。(三百七十三)御自釋。(三百七十四)御自筆。(三百七十五)御名帳。(三百七十六)御書。(三百七十七)御文。(三百七十八)御一代聖敎。(三百七十九)御消息。(三百八十)御法語。(三百八十一)御和讚。(三百八十二)御傳鈔。(三百八十三)御臨終。(三百八十四)御袖日記。(三百八十五)御夢想記。(三百八十六)御末。(三百八十七)御口傳。(三百八十八)御口說。(三百八十九)御自釋。(三百九十)御自筆。(三百九十一)御名帳。(三百九十二)御書。(三百九十三)御文。(三百九十四)御法語。(三百九十五)御和讚。(三百九十六)御傳鈔。(三百九十七)御臨終。(三百九十八)御袖日記。(三百九十九)御夢想記。(四百)御末。(四百一)御口傳。(四百二)御口說。(四百三)御自釋。(四百四)御自筆。(四百五)御名帳。(四百六)御書。(四百七)御文。(四百八)御一代聖敎。(四百九)御消息。(四百十)御法語。(四百十一)御和讚。(四百十二)御傳鈔。(四百十三)御臨終。(四百十四)御袖日記。(四百十五)御夢想記。(四百十六)御末。(四百十七)御口傳。(四百十八)御口說。(四百十九)御自釋。(四百二十)御自筆。(四百二十一)御名帳。(四百二十二)御書。(四百二十三)御文。(四百二十四)御法語。(四百二十五)御和讚。(四百二十六)御傳鈔。(四百二十七)御臨終。(四百二十八)御袖日記。(四百二十九)御夢想記。(四百三十)御末。(四百三十一)御口傳。(四百三十二)御口說。(四百三十三)御自釋。(四百三十四)御自筆。(四百三十五)御名帳。(四百三十六)御書。(四百三十七)御文。(四百三十八)御一代聖敎。(四百三十九)御消息。(四百四十)御法語。(四百四十一)御和讚。(四百四十二)御傳鈔。(四百四十三)御臨終。(四百四十四)御袖日記。(四百四十五)御夢想記。(四百四十六)御末。(四百四十七)御口傳。(四百四十八)御口說。(四百四十九)御自釋。(四百五十)御自筆。(四百五十一)御名帳。(四百五十二)御書。(四百五十三)御文。(四百五十四)御法語。(四百五十五)御和讚。(四百五十六)御傳鈔。(四百五十七)御臨終。(四百五十八)御袖日記。(四百五十九)御夢想記。(四百六十)御末。(四百六十一)御口傳。(四百六十二)御口說。(四百六十三)御自釋。(四百六十四)御自筆。(四百六十五)御名帳。(四百六十六)御書。(四百六十七)御文。(四百六十八)御一代聖敎。(四百六十九)御消息。(四百七十)御法語。(四百七十一)御和讚。(四百七十二)御傳鈔。(四百七十三)御臨終。(四百七十四)御袖日記。(四百七十五)御夢想記。(四百七十六)御末。(四百七十七)御口傳。(四百七十八)御口說。(四百七十九)御自釋。(四百八十)御自筆。(四百八十一)御名帳。(四百八十二)御書。(四百八十三)御文。(四百八十四)御法語。(四百八十五)御和讚。(四百八十六)御傳鈔。(四百八十七)御臨終。(四百八十八)御袖日記。(四百八十九)御夢想記。(四百九十)御末。(四百九十一)御口傳。(四百九十二)御口說。(四百九十三)御自釋。(四百九十四)御自筆。(四百九十五)御名帳。(四百九十六)御書。(四百九十七)御文。(四百九十八)御一代聖敎。(四百九十九)御消息。(五百)御法語。(五百一)御和讚。(五百二)御傳鈔。(五百三)御臨終。(五百四)御袖日記。(五百五)御夢想記。(五百六)御末。(五百七)御口傳。(五百八)御口說。(五百九)御自釋。(五百十)御自筆。(五百十一)御名帳。(五百十二)御書。(五百十三)御文。(五百十四)御法語。(五百十五)御和讚。(五百十六)御傳鈔。(五百十七)御臨終。(五百十八)御袖日記。(五百十九)御夢想記。(五百二十)御末。(五百二十一)御口傳。(五百二十二)御口說。(五百二十三)御自釋。(五百二十四)御自筆。(五百二十五)御名帳。(五百二十六)御書。(五百二十七)御文。(五百二十八)御一代聖敎。(五百二十九)御消息。(五百三十)御法語。(五百三十一)御和讚。(五百三十二)御傳鈔。(五百三十三)御臨終。(五百三十四)御袖日記。(五百三十五)御夢想記。(五百三十六)御末。(五百三十七)御口傳。(五百三十八)御口說。(五百三十九)御自釋。(五百四十)御自筆。(五百四十一)御名帳。(五百四十二)御書。(五百四十三)御文。(五百四十四)御法語。(五百四十五)御和讚。(五百四十六)御傳鈔。(五百四十七)御臨終。(五百四十八)御袖日記。(五百四十九)御夢想記。(五百五十)御末。(五百五十一)御口傳。(五百五十二)御口說。(五百五十三)御自釋。(五百五十四)御自筆。(五百五十五)御名帳。(五百五十六)御書。(五百五十七)御文。(五百五十八)御一代聖敎。(五百五十九)御消息。(五百六十)御法語。(五百六十一)御和讚。(五百六十二)御傳鈔。(五百六十三)御臨終。(五百六十四)御袖日記。(五百六十五)御夢想記。(五百六十六)御末。(五百六十七)御口傳。(五百六十八)御口說。(五百六十九)御自釋。(五百七十)御自筆。(五百七十一)御名帳。(五百七十二)御書。(五百七十三)御文。(五百七十四)御法語。(五百七十五)御和讚。(五百七十六)御傳鈔。(五百七十七)御臨終。(五百七十八)御袖日記。(五百七十九)御夢想記。(五百八十)御末。(五百八十一)御口傳。(五百八十二)御口說。(五百八十三)御自釋。(五百八十四)御自筆。(五百八十五)御名帳。(五百八十六)御書。(五百八十七)御文。(五百八十八)御一代聖敎。(五百八十九)御消息。(五百九十)御法語。(五百九十一)御和讚。(五百九十二)御傳鈔。(五百九十三)御臨終。(五百九十四)御袖日記。(五百九十五)御夢想記。(五百九十六)御末。(五百九十七)御口傳。(五百九十八)御口說。(五百九十九)御自釋。(六百)御自筆。(六百一)御名帳。(六百二)御書。(六百三)御文。(六百四)御法語。(六百五)御和讚。(六百六)御傳鈔。(六百七)御臨終。(六百八)御袖日記。(六百九)御夢想記。(六百十)御末。(六百十一)御口傳。(六百十二)御口說。(六百十三)御自釋。(六百十四)御自筆。(六百十五)御名帳。(六百十六)御書。(六百十七)御文。(六百十八)御一代聖敎。(六百十九)御消息。(六百二十)御法語。(六百二十一)御和讚。(六百二十二)御傳鈔。(六百二十三)御臨終。(六百二十四)御袖日記。(六百二十五)御夢想記。(六百二十六)御末。(六百二十七)御口傳。(六百二十八)御口說。(六百二十九)御自釋。(六百三十)御自筆。(六百三十一)御名帳。(六百三十二)御書。(六百三十三)御文。(六百三十四)御法語。(六百三十五)御和讚。(六百三十六)御傳鈔。(六百三十七)御臨終。(六百三十八)御袖日記。(六百三十九)御夢想記。(六百四十)御末。(六百四十一)御口傳。(六百四十二)御口說。(六百四十三)御自釋。(六百四十四)御自筆。(六百四十五)御名帳。(六百四十六)御書。(六百四十七)御文。(六百四十八)御一代聖敎。(六百四十九)御消息。(六百五十)御法語。(六百五十一)御和讚。(六百五十二)御傳鈔。(六百五十三)御臨終。(六百五十四)御袖日記。(六百五十五)御夢想記。(六百五十六)御末。(六百五十七)御口傳。(六百五十八)御口說。(六百五十九)御自釋。(六百六十)御自筆。(六百六十一)御名帳。(六百六十二)御書。(六百六十三)御文。(六百六十四)御法語。(六百六十五)御和讚。(六百六十六)御傳鈔。(六百六十七)御臨終。(六百六十八)御袖日記。(六百六十九)御夢想記。(六百七十)御末。(六百七十一)御口傳。(六百七十二)御口說。(六百七十三)御自釋。(六百七十四)御自筆。(六百七十五)御名帳。(六百七十六)御書。(六百七十七)御文。(六百七十八)御一代聖敎。(六百七十九)御消息。(六百八十)御法語。(六百八十一)御和讚。(六百八十二)御傳鈔。(六百八十三)御臨終。(六百八十四)御袖日記。(六百八十五)御夢想記。(六百八十六)御末。(六百八十七)御口傳。(六百八十八)御口說。(六百八十九)御自釋。(六百九十)御自筆。(六百九十一)御名帳。(六百九十二)御書。(六百九十三)御文。(六百九十四)御法語。(六百九十五)御和讚。(六百九十六)御傳鈔。(六百九十七)御臨終。(六百九十八)御袖日記。(六百九十九)御夢想記。(七百)御末。(七百一)御口傳。(七百二)御口說。(七百三)御自釋。(七百四)御自筆。(七百五)御名帳。(七百六)御書。(七百七)御文。(七百八)御一代聖敎。(七百九)御消息。(七百十)御法語。(七百十一)御和讚。(七百十二)御傳鈔。(七百十三)御臨終。(七百十四)御袖日記。(七百十五)御夢想記。(七百十六)御末。(七百十七)御口傳。(七百十八)御口說。(七百十九)御自釋。(七百二十)御自筆。(七百二十一)御名帳。(七百二十二)御書。(七百二十三)御文。(七百二十四)御法語。(七百二十五)御和讚。(七百二十六)御傳鈔。(七百二十七)御臨終。(七百二十八)御袖日記。(七百二十九)御夢想記。(七百三十)御末。(七百三十一)御口傳。(七百三十二)御口說。(七百三十三)御自釋。(七百三十四)御自筆。(七百三十五)御名帳。(七百三十六)御書。(七百三十七)御文。(七百三十八)御一代聖敎。(七百三十九)御消息。(七百四十)御法語。(七百四十一)御和讚。(七百四十二)御傳鈔。(七百四十三)御臨終。(七百四十四)御袖日記。(七百四十五)御夢想記。(七百四十六)御末。(七百四十七)御口傳。(七百四十八)御口說。(七百四十九)御自釋。(七百五十)御自筆。(七百五十一)御名帳。(七百五十二)御書。(七百五十三)御文。(七百五十四)御法語。(七百五十五)御和讚。(七百五十六)御傳鈔。(七百五十七)御臨終。(七百五十八)御袖日記。(七百五十九)御夢想記。(七百六十)御末。(七百六十一)御口傳。(七百六十二)御口說。(七百六十三)御自釋。(七百六十四)御自筆。(七百六十五)御名帳。(七百六十六)御書。(七百六十七)御文。(七百六十八)御一代聖敎。(七百六十九)御消息。(七百七十)御法語。(七百七十一)御和讚。(七百七十二)御傳鈔。(七百七十三)御臨終。(七百七十四)御袖日記。(七百七十五)御夢想記。(七百七十六)御末。(七百七十七)御口傳。(七百七十八)御口說。(七百七十九)御自釋。(七百八十)御自筆。(七百八十一)御名帳。(七百八十二)御書。(七百八十三)御文。(七百八十四)御法語。(七百八十五)御和讚。(七百八十六)御傳鈔。(七百八十七)御臨終。(七百八十八)御袖日記。(七百八十九)御夢想記。(七百九十)御末。(七百九十一)御口傳。(七百九十二)御口說。(七百九十三)御自釋。(七百九十四)御自筆。(七百九十五)御名帳。(七百九十六)御書。(七百九十七)御文。(七百九十八)御一代聖敎。(七百九十九)御消息。(八百)御法語。(八百一)御和讚。(八百二)御傳鈔。(八百三)御臨終。(八百四)御袖日記。(八百五)御夢想記。(八百六)御末。(八百七)御口傳。(八百八)御口說。(八百九)御自釋。(八百十)御自筆。(八百十一)御名帳。(八百十二)御書。(八百十三)御文。(八百十四)御法語。(八百十五)御和讚。(八百十六)御傳鈔。(八百十七)御臨終。(八百十八)御袖日記。(八百十九)御夢想記。(八百二十)御末。(八百二十一)御口傳。(八百二十二)御口說。(八百二十三)御自釋。(八百二十四)御自筆。(八百二十五)御名帳。(八百二十六)御書。(八百二十七)御文。(八百二十八)御一代聖敎。(八百二十九)御消息。(八百三十)御法語。(八百三十一)御和讚。(八百三十二)御傳鈔。(八百三十三)御臨終。(八百三十四)御袖日記。(八百三十五)御夢想記。(八百三十六)御末。(八百三十七)御口傳。(八百三十八)御口說。(八百三十九)御自釋。(八百四十)御自筆。(八百四十一)御名帳。(八百四十二)御書。(八百四十三)御文。(八百四十四)御法語。(八百四十五)御和讚。(八百四十六)御傳鈔。(八百四十七)御臨終。(八百四十八)御袖日記。(八百四十九)御夢想記。(八百五十)御末。(八百五十一)御口傳。(八百五十二)御口說。(八百五十三)御自釋。(八百五十四)御自筆。(八百五十五)御名帳。(八百五十六)御書。(八百五十七)御文。(八百五十八)御一代聖敎。(八百五十九)御消息。(八百六十)御法語。(八百六十一)御和讚。(八百六十二)御傳鈔。(八百六十三)御臨終。(八百六十四)御袖日記。(八百六十五)御夢想記。(八百六十六)御末。(八百六十七)御口傳。(八百六十八)御口說。(八百六十九)御自釋。(八百七十)御自筆。(八百七十一)御名帳。(八百七十二)御書。(八百七十三)御文。(八百七十四)御法語。(八百七十五)御和讚。(八百七十六)御傳鈔。(八百七十七)御臨終。(八百七十八)御袖日記。(八百七十九)御夢想記。(八百八十)御末。(八百八十一)御口傳。(八百八十二)御口說。(八百八十三)御自釋。(八百八十四)御自筆。(八百八十五)御名帳。(八百八十六)御書。(八百八十七)御文。(八百八十八)御一代聖敎。(八百八十九)御消息。(八百九十)御法語。(八百九十一)御和讚。(八百九十二)御傳鈔。(八百九十三)御臨終。(八百九十四)御袖日記。(八百九十五)御夢想記。(八百九十六)御末。(八百九十七)御口傳。(八百九十八)御口說。(八百九十九)御自釋。(九百)御自筆。(九百一)御名帳。(九百二)御書。(九百三)御文。(九百四)御法語。(九百五)御和讚。(九百六)御傳鈔。(九百七)御臨終。(九百八)御袖日記。(九百九)御夢想記。(九百十)御末。(九百十一)御口傳。(九百十二)御口說。(九百十三)御自釋。(九百十四)御自筆。(九百十五)御名帳。(九百十六)御書。(九百十七)御文。(九百十八)御一代聖敎。(九百十九)御消息。(九百二十)御法語。(九百二十一)御和讚。(九百二十二)御傳鈔。(九百二十三)御臨終。(九百二十四)御袖日記。(九百二十五)御夢想記。(九百二十六)御末。(九百二十七)御口傳。(九百二十八)御口說。(九百二十九)御自釋。(九百三十)御自筆。(九百三十一)御名帳。(九百三十二)御書。(九百三十三)御文。(九百三十四)御法語。(九百三十五)御和讚。(九百三十六)御傳鈔。(九百三十七)御臨終。(九百三十八)御袖日記。(九百三十九)御夢想記。(九百四十)御末。(九百四十一)御口傳。(九百四十二)御口說。(九百四十三)御自釋。(九百四十四)御自筆。(九百四十五)御名帳。(九百四十六)御書。(九百四十七)御文。(九百四十八)御一代聖敎。(九百四十九)御消息。(九百五十)御法語。(九百五十一)御和讚。(九百五十二)御傳鈔。(九百五十三)御臨終。(九百五十四)御袖日記。(九百五十五)御夢想記。(九百五十六)御末。(九百五十七)御口傳。(九百五十八)御口說。(九百五十九)御自釋。(九百六十)御自筆。(九百六十一)御名帳。(九百六十二)御書。(九百六十三)御文。(九百六十四)御法語。(九百六十五)御和讚。(九百六十六)御傳鈔。(九百六十七)御臨終。(九百六十八)御袖日記。(九百六十九)御夢想記。(九百七十)御末。(九百七十一)御口傳。(九百七十二)御口說。(九百七十三)御自釋。(九百七十四)御自筆。(九百七十五)御名帳。(九百七十六)御書。(九百七十七)御文。(九百七十八)御一代聖敎。(九百七十九)御消息。(九百八十)御法語。(九百八十一)御和讚。(九百八十二)御傳鈔。(九百八十三)御臨終。(九百八十四)御袖日記。(九百八十五)御夢想記。(九百八十六)御末。(九百八十七)御口傳。(九百八十八)御口說。(九百八十九)御自釋。(九百九十)御自筆。(九百九十一)御名帳。(九百九十二)御書。(九百九十三)御文。(九百九十四)御法語。(九百九十五)御和讚。(九百九十六)御傳鈔。(九百九十七)御臨終。(九百九十八)御袖日記。(九百九十九)御夢想記。(一千)御末。(一千一)御口傳。(一千二)御口說。(一千三)御自釋。(一千四)御自筆。(一千五)御名帳。(一千六)御書。(一千七)御文。(一千八)御一代聖敎。(一千九)御消息。(一千十)御法語。(一千十一)御和讚。(一千十二)御傳鈔。(一千十三)御臨終。(一千十四)御袖日記。(一千十五)御夢想記。(一千十六)御末。(一千十七)御口傳。(一千十八)御口說。(一千十九)御自釋。(一千二十)御自筆。(一千二十一)御名帳。(一千二十二)御書。(一千二十三)御文。(一千二十四)御法語。(一千二十五)御和讚。(一千二十六)御傳鈔。(一千二十七)御臨終。(一千二十八)御袖日記。(一千二十九)御夢想記。(一千三十)御末。(一千三十一)御口傳。(一千三十二)御口說。(一千三十三)御自釋。(一千三十四)御自筆。(一千三十五)御名帳。(一千三十六)御書。(一千三十七)御文。(一千三十八)御一代聖敎。(一千三十九)御消息。(一千四十)御法語。(一千四十一)御和讚。(一千四十二)御傳鈔。(一千四十三)御臨終。(一千四十四)御袖日記。(一千四十五)御夢想記。(一千四十六)御末。(一千四十七)御口傳。(一千四十八)御口說。(一千四十九)御自釋。(一千五十)御自筆。(一千五十一)御名帳。(一千五十二)御書。(一千五十三)御文。(一千五十四)御法語。(一千五十五)御和讚。(一千五十六)御傳鈔。(一千五十七)御臨終。(一千五十八)御袖日記。(一千五十九)御夢想記。(一千六十)御末。(一千六十一)御口傳。(一千六十二)御口說。(一千六十三)御自釋。(一千六十四)御自筆。(一千六十五)御名帳。(一千六十六)御書。(一千六十七)御文。(一千六十八)御一代聖敎。(一千六十九)御消息。(一千七十)御法語。(一千七十一)御和讚。(一千七十二)御傳鈔。(一千七十三)御臨終。(一千七十四)御袖日記。(一千七十五)御夢想記。(一千七十六)御末。(一千七十七)御口傳。(一千七十八)御口說。(一千七十九)御自釋。(一千八十)御自筆。(一千八十一)御名帳。(一千八十二)御書。(一千八十三)御文。(一千八十四)御法語。(一千八十五)御和讚。(一千八十六)御傳鈔。(一千八十七)御臨終。(一千八十八)御袖日記。(一千八十九)御夢想記。(一千九十)御末。(一千九十一)御口傳。(一千九十二)御口說。(一千九十三)御自釋。(一千九十四)御自筆。(一千九十五)御名帳。(一千九十六)御書。(一千九十七)御文。(一千九十八)御一代聖敎。(一千九十九)御消息。(一千百)御法語。(一千百一)御和讚。(一千百二)御傳鈔。(一千百三)御臨終。(一千百四)御袖日記。(一千百五)御夢想記。(一千百六)御末。(一千百七)御口傳。(一千百八)御口說。(一千百九)御自釋。(一千百十)御自筆。(一千百十一)御名帳。(一千百十二)御書。(一千百十三)御文。(一千百十四)御法語。(一千百十五)御和讚。(一千百十六)御傳鈔。(一千百十七)御臨終。(一千百十八)御袖日記。(一千百十九)御夢想記。(一千百二十)御末。(一千百二十一)御口傳。(一千百二十二)御口說。(一千百二十三)御自釋。(一千百二十四)御自筆。(一千百二十五)御名帳。(一千百二十六)御書。(一千百二十七)御文。(一千百二十八)御一代聖敎。(一千百二十九)御消息。(一千百三十)御法語。(一千百三十一)御和讚。(一千百三十二)御傳鈔。(一千百三十三)御臨終。(一千百三十四)御袖日記。(一千百三十五)御夢想記。(一千百三十六)御末。(一千百三十七)御口傳。(一千百三十八)御口說。(一千百三十九)御自釋。(一千百四十)御自筆。(一千百四十一)御名帳。(一千百四十二)御書。(一千百四十三)御文。(一千百四十四)御法語。(一千百四十五)御和讚。(一千百四十六)御傳鈔。(一千百四十七)御臨終。(一千百四十八)御袖日記。(一千百四十九)御夢想記。(一千百五十)御末。(一千百五十一)御口傳。(一千百五十二)御口說。(一千百五十三)御自釋。(一千百五十四)御自筆。(一千百五十五)御名帳。(一千百五十六)御書。(一千百五十七)御文。(一千百五十八)御一代聖敎。(一千百五十九)御消息。(一千百六十)御法語。(一千百六十一)御和讚。(一千百六十二)御傳鈔。(一千百六十三)御臨終。(一千百六十四)御袖日記。(一千百六十五)御夢想記。(一千百六十六)御末。(一千百六十七)御口傳。(一千百六十八)御口說。(一千百六十九)御自釋。(一千百七十)御自筆。(一千百七十一)御名帳。(一千百七十二)御書。(一千百七十三)御文。(一千百七十四)御法語。(一千百七十五)御和讚。(一千百七十六)御傳鈔。(一千百七十七)御臨終。(一千百七十八)御袖日記。(一千百七十九)御夢想記。(一千百八十)御末。(一千百八十一)御口傳。(一千百八十二)御口說。(一千百八十三)御自釋。(一千百八十四)御自筆。(一千百八十五)御名帳。(一千百八十六)御書。(一千百八十七)御文。(一千百八十八)御一代聖敎。(一千百八十九)御消息。(一千百九十)御法語。(一千百九十一)御和讚。(一千百九十二)御傳鈔。(一千百九十三)御臨終。(一千百九十四)御袖日記。(一千百九十五)御夢想記。(一千百九十六)御末。(一千百九十七)御口傳。(一千百九十八)御口說。(一千百九十九)御自釋。(一千二百)御自筆。(一千二百一)御名帳。(一千二百二)御書。(一千二百三)御文。(一千二百四)御法語。(一千二百五)御和讚。(一千二百六)御傳鈔。(一千二百七)御臨終。(一千二百八)御袖日記。(一千二百九)御夢想記。(一千二百十)御末。(一千二百十一)御口傳。(一千二百十二)御口說。(一千二百十三)御自釋。(一千二百十四)御自筆。(一千二百十五)御名帳。(一千二百十六)御書。(一千二百十七)御文。(一千二百十八)御一代聖敎。(一千二百十九)御消息。(一千二百二十)御法語。(一千二百二十一)御和讚。(一千二百二十二)御傳鈔。(一千二百二十三)御臨終。(一千二百二十四)御袖日記。(一千二百二十五)御夢想記。(一千二百二十六)御末。(一千二百二十七)御口傳。(一千二百二十八)御口說。(一千二百二十九)御自釋。(一千二百三十)御自筆。(一千二百三十一)御名帳。(一千二百三十二)御書。(一千二百三十三)御文。(一千二百三十四)御法語。(一千二百三十五)御和讚。(一千二百三十六)御傳鈔。(一千二百三十七)御臨終。(一千二百三十八)御袖日記。(一千二百三十九)御夢想記。(一千二百四十)御末。(一千二百四十一)御口傳。(一千二百四十二)御口說。(一千二百四十三)御自釋。(一千二百四十四)御自筆。(一千二百四十五)御名帳。(一千二百四十六)御書。(一千二百四十七)御文。(一千二百四十八)御一代聖敎。(一千二百四十九)御消息。(一千二百五十)御法語。(一千二百五十一)御和讚。(一千二百五十二)御傳鈔。(一千二百五十三)御臨終。(一千二百五十四)御袖日記。(一千二百五十五)御夢想記。(一千二百五十六)御末。(一千二百五十七)御口傳。(一千二百五十八)御口說。(一千二百五十九)御自釋。(一千二百六十)御自筆。(一千二百六十一)御名帳。(一千二百六十二)御書。(一千二百六十三)御文。(一千二百六十四)御法語。(一千二百六十五)御和讚。(一千二百六十六)御傳鈔。(一千二百六十七)御臨終。(一千二百六十八)御袖日記。(一千二百六十九)御夢想記。(一千二百七十)御末。(一千二百七十一)御口傳。(一千二百七十二)

名所行器● (名産)名産所産● 月々の行賦● (寄々参詣往)詣来● 産業● 名産● 農業● (名産)名品● 物名字類

新大仏寺 (しんだいぶつじ) ● (固有) 京都府京都市東山区にある寺。

新大仏寺焼 (しんだいぶつじやき) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器。

新大仏寺焼窯元 (しんだいぶつじやきかまもと) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元。

新大仏寺焼窯元組合 (しんだいぶつじやきかまもとくみあい) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合。

新大仏寺焼窯元組合員 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員。

新大仏寺焼窯元組合員証 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証。

新大仏寺焼窯元組合員証明書 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがく) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場。

名所行器● (名産)名産所産● 月々の行賦● (寄々参詣往)詣来● 産業● 名産● 農業● (名産)名品● 物名字類

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょいちらん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょいちらんひょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょいちらんひょうじ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示板 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょいちらんひょうじばん) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示板。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示板掲示 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょいちらんひょうじばんけいじ) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示板掲示。

新大仏寺焼窯元組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示板掲示場 (しんだいぶつじやきかまもとくみあいいんしょうめいしょはっこうじょちょういんかんしょうめいしょはっこうてすうりょうきんがくひょうじばんけいじじょうしょいちらんひょうじばんけいじじょう) ● (名物) 京都府京都市東山区新大仏寺で焼かれる陶器の窯元の組合員証明書発行所長印鑑証明書発行手数料金額表示板掲示場所一覧表示板掲示場。

新修大蔵経 (書名) ❶ Shin-shū-dai-zō-kyō. (中) 新修大藏經 (朝) 신수대장경 (日) 新修大蔵経 (越) Tân tu đại tạng kinh. (泰) พระไตรปิฎกฉบับใหม่ (蒙) Шинэ судар. (満) ᡤᡝᠰᡳᠨ ᡳᠯᡠᠨ ᡩᡝᡵᡤᡳ ᡩᡝᠪᡳᠰᡝᡵᡳ ᡴᡡᠸᠠᠨ ᡳ ᡩᡝᡵᡤᡳ ᡩᡝᡵᡤ

（二一一一・一四五）。❺鎌倉幕府—一二四一年（仁治二）。❻鎌倉幕府—一二四一年（仁治二）。❼鎌倉幕府—一二四一年（仁治二）。❽鎌倉幕府—一二四一年（仁治二）。

将軍塚 京都市東山区の清水寺の北東、阿弥陀ヶ峰の山頂にある古墳。延暦一三年（七九四）桓武天皇が平安遷都の際、この地に登って四方を眺望し、ここに将軍を葬って鎮護とせよと命じたという伝説から、この名がある。

将軍塚青嵐 京都名所。東山の将軍塚に吹く青葉の頃の風。

将軍塚大日堂舞台 京都名所。清水寺の本堂の南にある舞台。

将軍地蔵 京都名所。清水寺の境内にある地蔵。

将軍地蔵山 京都名所。清水寺の北東にある山。

将軍堂 京都名所。清水寺の境内にある堂。

将軍塔 京都名所。清水寺の境内にある塔。

将軍宿禰 人名。

将軍の滝 京都名所。清水寺の境内にある滝。

将軍の塚 京都名所。清水寺の境内にある塚。

将軍の森 京都名所。清水寺の境内にある森。

将軍橋 京都名所。清水寺の境内にある橋。

将軍山 京都名所。清水寺の境内にある山。

将軍山観音堂 京都名所。清水寺の境内にある観音堂。

将軍山本堂 京都名所。清水寺の境内にある本堂。

将軍山門 京都名所。清水寺の境内にある山門。

将軍山麓 京都名所。清水寺の境内にある山麓。

将軍山麓観音堂 京都名所。清水寺の境内にある観音堂。

将軍山麓本堂 京都名所。清水寺の境内にある本堂。

将軍山麓門 京都名所。清水寺の境内にある門。

将軍山麓鐘楼 京都名所。清水寺の境内にある鐘楼。

将軍山麓経蔵 京都名所。清水寺の境内にある経蔵。

将軍山麓鎮守社 京都名所。清水寺の境内にある鎮守社。

将軍山麓鎮守堂 京都名所。清水寺の境内にある鎮守堂。

将軍山麓鎮守本殿 京都名所。清水寺の境内にある鎮守本殿。

将軍山麓鎮守門 京都名所。清水寺の境内にある鎮守門。

将軍山麓鎮守拝殿 京都名所。清水寺の境内にある鎮守拝殿。

将軍山麓鎮守楼門 京都名所。清水寺の境内にある鎮守楼門。

将軍山麓鎮守回廊 京都名所。清水寺の境内にある鎮守回廊。

将軍山麓鎮守廻廊 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊。

将軍山麓鎮守廻廊門 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門。

将軍山麓鎮守廻廊門楼 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目。

将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録 京都名所。清水寺の境内にある鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録。

**将軍山麓鎮守廻廊門楼門扉金具飾金物師職人名簿帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録帳面数枚目録

眞宗叢林集 ❶(日) Shim-pon-sō-rin-shū. ❷六巻 ❸存 ❹潮音(正保元—享保六A. D. 1644—1721)編 ❺明治十四刊 ❻(安永「日次未・六九九」)(正六「一六五・三一」)(谷「宗天・六九九」)(文政「一三八・一六五・一〇七」)(安六「一・一三六・九一」)

眞秘抄 ❶(日)Shin-myō-shō. ❷一巻 ❸存 ❹成賀記 ❺未正六跋 ❻(成賀記)

眞門宗要集 ❶(日) Shim-mon-shō-chū-shū. ❷五巻 ❸存 ❹玄侍 ❺(参考) 最勝寺巻上」最勝日録

眞門流儀 ❶(日) Shim-mon-hi-ya-ku. ❷一巻 ❸存 ❹慈雲(正徳三—明和元A. D. 1713—1764) ❺真宗佛名同称」大字訓義」往生要集」不生戒経」安楽集正義を載む。 ❻(文政「一五〇・八〇」)

眞門流正義顯要 ❶(日)Shim-mon-ryū-shō-gi-kō-yō. ❷存 ❸日蓮宗 ❹(文政「一〇〇・三一」)

眞門異安心公 ❶(日) Shim-mon-shin-i-kō-shō. ❷一巻 ❸存 ❹(参考下巻) ❺明和(慶安五—寛喜三 A. D. 1253—1340)

❻門弟各個にて眞宗の安心を述ぶ。初めに出家上人御四十五箇条人御問答法語と題して十三ケ条の問答を設け、しかしてこれ悪平に会して諸業善人が法給上人より「眞に入つて御往生被れんことに」相承したるものとすべき事、眞宗にこれを法義的に顯したる名、平生とは臨終とよりも出でゝ何個しの意によつて他の宗旨に改宗するところである。要するに日蓮中興の英傑であるこの書文を轉じその立義を明にしたるもの、この書の唯一の書と称せらる。日蓮(真本六巻)の書はこの書である。

❻(注釋) 日蓮の弘解 ❼正本(京都本庄寺) (室月最房)

眞諦傳來圖 ❶(日) Shin-ryō-toku-gō-zu. (支)Chên—ling-tê-yeh-t'u. ❷存 ❸非眞諦傳來 ❹一四三 ❺東陽弘泉 ❻(谷「宗天・三一」)

眞聞上人遺稿集 ❶(日) Shin-rō-shō-nin-i-kō-shū. ❷一巻 ❸存 ❹村上上人(名著一一一頁參照) ❺明治四一寫(谷「宗天・三一一」)大正三寫(谷「宗天・三一四一五」)昭本(龍大「佛遺」)

(注本龍大)

眞聞集 ❶(日)Shin-mon-shū. ❷一帖 ❸存 ❹明遍(寛喜三參、六巻 ❺存 ❻明遍高弟(安三—貞和元A. D. 1173—1232)ロ、佐佛記 ❼師命法命の口訣を記したもの ❽寫本(龍大「佛遺」)

眞俗十帖 ❶(日)Shin-yū-jū-jō. 眞俗十帖鈔 ❷十巻 ❸存 ❹眞俗 ❺寫本三刊 ❻(谷「宗天・一一・一〇」)(龍大「三六五・一九」)

眞俗十帖鈔 ❶(日) Shin-yū-jū-jō-shō. 眞俗十帖 ❷十巻 ❸存 ❹眞俗鈔 ❺寫文四刊 ❻(谷「宗天・一七五」)

眞俗識事錯業 ❶(日)Shin-yui-shiki-ryō-ryaku-ge. (支) Chên-wei-shih-liao-liao-chieh. 眞宗初期眞俗雜雜 ❷一巻 ❸存、卍續「一・八七・」 ❹明朝鏡(眞寂)著三七—寛永四年A. D. 1599—1655)述解

❺世俗の男女三種差天の答時、ある時、中印度文献において釈迦王と善勝大尊を問答き、彼ら五天竺の外法邪義外、修羅門、並に小乗外道の我を眞俗として十八日同信論師するも、ただ一人として彼を答斥せ。さりながら一人として彼を答斥せざるものはなかつたのである。その答三種差別は「眞俗識事」なる一比喩を立てて眞俗に分析し、明かに其差を説明して解説せ。

❻(原田正文)

眞俗識事錯業 ❶(日)Shin-yui-shiki-ryō-ryaku-ge. (支) Chên-wei-shih-liao-liao-chieh. 眞宗初期眞俗雜雜 ❷一巻 ❸存、卍續「一・八七・」 ❹明朝鏡(眞寂)著三七—寛永四年A. D. 1599—1655)述解

❺世俗の男女三種差天の答時、ある時、中印度文献において釈迦王と善勝大尊を問答き、彼ら五天竺の外法邪義外、修羅門、並に小乗外道の我を眞俗として十八日同信論師するも、ただ一人として彼を答斥せざるものはなかつたのである。その答三種差別は「眞俗識事」なる一比喩を立てて眞俗に分析し、明かに其差を説明して解説せ。

❻(原田正文)

眞宗 ❶(日)Shinn-yō. ❷一帖 ❸存 ❹蓮合時代寫 ❺(蓮華往院)

眞宗參》 ❶(日)Shinn-yō-shō. 浄土眞參》 ❷二巻 ❸存、大正八三・七五八No. 2667、眞宗聖教名目歌」、眞宗法要名目」、眞宗法要歌」、眞宗名目歌八首」、眞宗法要全部和文歌」 ❹存覺(正應三—觀應元A. D. 1290—1373)述 ❺完本四(A. D. 1324)正月 ❻浄土眞宗參の下を見よ ❼刊本(龍大「一一二・一」)寫本(龍大「原寫眞版」)

眞宗參己卯錄 ❶(日)Shinn-yō-shō-ki-bō-roku. 浄土眞宗參己卯錄 ❷三巻 ❸存、眞宗大系第三六 ❹東京(安永四—嘉永二)文宗」」 A. D. 1746—1828)述 ❺文政二(A. D. 1819)

❻浄土眞宗參己卯錄の下を見よ。

眞宗參問聞記 ❶(日)Shinn-yō-shō-zui-mon-ki. 浄土眞宗參問聞記 ❷存、眞宗全書第四六 ❸寶暦(安永四—嘉永四 A. D. 1775—1851)述

❹浄土眞宗參問聞記の下を見よ。

眞宗參錄略述 ❶(日) Shinn-yō-shō-ryaku-jutsu. 浄土眞宗參錄略述 ❷一巻 ❸存 ❹古谷孝雲(天保一三—大正三 A. D. 1842—1914)述 ❺明治三九刊 ❻(龍大「佛遺」)

眞理會計 ❶(日) Shin-ri-kin-shin. ❷存 ❸井上圓了(一大正六 A. D. 1919)著 ❹明治一九・一〇刊 ❺(龍大「三八一四・一六一七四六」)

眞理燈 ❶(日)Shin-ri-shō. ❷三巻 ❸存、日本大藏經法利宗教部第二 ❹(龍大「佛遺」)

眞理くの思夢 ❶(日)Shin-ri-e-no

(大善二—一建保元 A. D. 1155—1213)、實源(一天承元 A. D. 1144)、成就(一建仁二 A. D. 1202—)

❸本書は第一巻は宗義解義上人の御書、第二巻は中川實義上人御書法語にて、宗義に要領を得たる小品を編めたもので、第三巻は實上人御書を加したもので、宗義は實上人御書を中心として、何れも上人御書の分類は實は實一類、實は實一類、實は實一類、

清規私鈔 ❶(日) Shin-gi-shi-shō. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(龍大"1|六七六・八) 會目"禪籍目錄

清規要錄 ❶(日)Shin-gi-yō-kō. ❷存 ❹寫本1冊(室町三—寶正三 A. D. 1386—1462) ❺(參考) 日本佛林撰述書目"禪籍目錄

清規略要 ❶(日)Shin-gi-ryaku-yō. ❷存 ❺(參考) 日本佛林撰述書目"禪籍目錄

清澤百律 ❶(日) Shin-tan-hyaku-ritsu. ❷1卷 ❸存 ❹抄寫 ❺明治11|五刊 ❻(未見和尚著述書)

新書 ❶(日)Shin-sho. ❷寫經(治安三—寶治1| A. D. 1023—1088) ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進學記 ❶(日) Shin-gak-kyō. (支) Chin-hsüeh-ching. ❷1卷 ❸存"大正1|七四四No. 798"續法八"卍二四・1|〇"北797安"南810安"定803安"明北686普"南686普"鹿802普"天797安"增760普"法785存"至1032京"明至679入" Nj. 690 ❹出經文庫(一大明八 A. D. 464)譯 ❺翻天竺書目(A. D. 455)以後

❻唐貞觀四年(六三〇)太宗所參の四重奏行(一奏事文書"二行禮不敬"三更進表文"四年號重複)修改譯經"增潤舊譯"僧尼の二法"合法の三處を設いて出家出世間の度となす。(宋高僧傳)

進學記 ❶(日) Shin-gak-kyō. (支) Chin-hsüeh-ching. ❷1卷 ❸缺 ❹大唐貞觀十四年(六四〇)太宗が皇太子の爲に撰述した學制。(舊唐書)

進學校中法門往復書 ❶(日)Shin-gak-kō-chū-hō-mon-ō-fuku-sho. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(谷大"谷大・1|八七六)

進具衆名錄 ❶(日) Shin-gu-shū-myō-roku ❸存"續宗教者全集收錄

進官請來錄 ❶(日) Shin-kwan-shō-rai-roku. 圓珍等和尚將來法門道具等目錄 ❷1卷 ❸存"大正五五・1|〇七七 No. 2164" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹開行(延曆1|八—仁壽三| A. D. 799—852)撰 ❻圓珍和尚將來法門道具等目錄の下を見よ" ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進官請來錄 ❶(日)Shin-kwan-shō-rai-roku. 圓珍請將來教法目錄 ❷1卷 ❸存"大正五五・1|〇八七 No. 2163A" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹圓珍(延曆1|七—貞觀1|1 A. D. 798—869)撰 ❻圓珍和尚將來法目錄の下を見よ" ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進官錄 ❶(日) Shin-kwan-roku. ❷1卷 ❸存"大正五五No. 2159—2160" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹空海(延曆23|一弘仁1|三 A. D. 767—822)撰 ❺(參考) 本朝台目撰述部書目"山家目錄撰述目錄卷上

進官錄 ❶(日) Shin-kwan-roku. ❷1卷 ❸存"大正五五No. 2165・2166・2167" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹圓仁(延曆1|三—貞觀14 A. D. 794—864)撰 ❻(參考) 出三藏記錄卷三"法經錄卷三"仁壽錄卷三"武周錄卷1|1

〔參考〕 本朝台目撰述部書目

進撃的宗教 ❶(日)Shin-geki-teki-shū-kyō. ❷1卷 ❸存"佛教教理實踐書第三 ❹柏花壇正著 ❺大正五刊 ❻(龍大"1|〇九・1|四九)(谷大)

進度主簿房消息 ❶(日) Shin-za-su-go-bō-shō-soku. ❷1通 ❸寫經(寶積三|一讀法1| A. D. 1095—1143) ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進士事修集 ❶(日) Shin-shi-shō-kai-shū. (支) Chin-shih-chang-chieh-chi. ❷1卷 ❺(參考) 入唐新求聖教目錄

進旨 ❶(日)Shin-ji. (支) Chin-chih. ❷1卷 ❸存" 大正八五・1|三1|四No. 2364

進修法要 ❶(日) Shin-shū-hō-yō. (支)Chin-hsiu-fa-yao. 慈山大師撰修法要 ❷1卷 ❸存 ❹刊本(支大"藏・1|1|ン・五)

進新書藏經表 ❶(日)Shin-shin-ke-gon-gyō-hyō. (支) Chin-hsin-hua-yen-ching-piao. ❷1卷 ❸知恩寺藏 ❺(參考) 北宋崇寧萬壽大藏目錄

進須知門 ❶(日)Shin-dō-sho-mon. 內教名文 ❷1卷 ❸存 ❹明治六刊 ❺(龍大"1|〇九九・1|七〇)

進定記 ❶(日) Shin-jō-ki. ❺(參考) 本朝台目撰述部書目"山家目錄撰述目錄卷上

進定寺大佐佛私記 ❶(日)Shin-jō-sō-moku-jō-butsu-shi-ki. 寺木佐佛私記

新學初問 ❶(日)Shin-gaku-sho-mon. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(龍大"1|〇九・1|七〇)

新學一乘北丘行要鈔 ❶(日)Shin-gaku-ichi-jō-bi-ku-gyō-yō-shō. 圓補新學一乘北丘行要鈔 ❷三卷 ❸存 ❹寫光明本(完文文五—寶文七 A. D. 1740—1795) ❺寫本(天"1|八四・四三)

新學行要抄 ❶(日)Shin-gaku-gyō-yō-shō. 新學學處行要抄 ❷1卷 ❸存"大正七四・七七九No. 2382 ❹七刻(延曆三|一寶慶三| A. D. 1309—1388)撰

❻本書は三結令旨の圓戒を置持するに就いて初學者に必要なるもの十門を設け"その要文を集記したもの。卷末に上記十門の內の要事を八條列記し"最後に「就定學者略問答」を添へてある。十門とは六念法條一。(これは山門受學受戒の時に授けられるもので佛前作法に出づ。又行儀抄にも出づ。學問・光祭儀・大僧令の六念とは相違する六念である)。衣鉢法條二。(これは四分律・十誦律による)。說淨法條三。(これは善見・地持・善生經等に出づ。山門の說戒には說淨前後を調ずるから數首法となるが"但し戒儀說令を得た時は數首法をしないの。ここに注目すべきことは「近來に至つて諸仁止戒が圓仁に承つたもの」と記してある點である。(近來とは圓仁の入唐求法時代を指すこと明瞭である)。時食法條四。(これは食堂で食すべきことである)。時食法條五。(これは現在所用のもの少異)。藥法條六。(これは藥を說いて出家出世間の三種を說いて出家出世間の三法"食法の三種を說いて出家出世間の度となす。(宋高僧傳)

新學一乘北丘行要鈔 ❶(日)Shin-gaku-ichi-jō-bi-ku-gyō-yō-shō. 圓補新學一乘北丘行要鈔 ❷三卷 ❸存 ❹寫光明本(完文文五—寶文七 A. D. 1740—1795) ❺寫本(天"1|八四・四三)

新學行要抄 ❶(日)Shin-gaku-gyō-yō-shō. 新學學處行要抄 ❷1卷 ❸存"大正七四・七七九No. 2382 ❹七刻(延曆三|一寶慶三| A. D. 1309—1388)撰

❻本書は三結令旨の圓戒を置持するに就いて初學者に必要なるもの十門を設け"その要文を集記したもの。卷末に上記十門の內の要事を八條列記し"最後に「就定學者略問答」を添へてある。十門とは六念法條一。(これは山門受學受戒の時に授けられるもので佛前作法に出づ。又行儀抄にも出づ。學問・光祭儀・大僧令の六念とは相違する六念である)。衣鉢法條二。(これは四分律・十誦律による)。說淨法條三。(これは善見・地持・善生經等に出づ。山門の說戒には說淨前後を調ずるから數首法となるが"但し戒儀說令を得た時は數首法をしないの。ここに注目すべきことは「近來に至つて諸仁止戒が圓仁に承つたもの」と記してある點である。(近來とは圓仁の入唐求法時代を指すこと明瞭である)。時食法條四。(これは食堂で食すべきことである)。時食法條五。(これは現在所用のもの少異)。藥法條六。(これは藥を說いて出家出世間の三種を說いて出家出世間の度となす。(宋高僧傳)

進學記 ❶(日) Shin-gak-kyō. (支) Chin-hsüeh-ching. ❷1卷 ❸缺 ❹大唐貞觀十四年(六四〇)太宗が皇太子の爲に撰述した學制。(舊唐書)

進學校中法門往復書 ❶(日)Shin-gak-kō-chū-hō-mon-ō-fuku-sho. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(谷大"谷大・1|八七六)

進具衆名錄 ❶(日) Shin-gu-shū-myō-roku ❸存"續宗教者全集收錄

進官請來錄 ❶(日) Shin-kwan-shō-rai-roku. 圓珍等和尚將來法門道具等目錄 ❷1卷 ❸存"大正五五・1|〇七七 No. 2164" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹開行(延曆1|八—仁壽三| A. D. 799—852)撰 ❻圓珍和尚將來法門道具等目錄の下を見よ" ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進官請來錄 ❶(日)Shin-kwan-shō-rai-roku. 圓珍請將來教法目錄 ❷1卷 ❸存"大正五五・1|〇八七 No. 2163A" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹圓珍(延曆1|七—貞觀1|1 A. D. 798—869)撰 ❻圓珍和尚將來法目錄の下を見よ" ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進官錄 ❶(日) Shin-kwan-roku. ❷1卷 ❸存"大正五五No. 2159—2160" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹空海(延曆23|一弘仁1|三 A. D. 767—822)撰 ❺(參考) 本朝台目撰述部書目"山家目錄撰述目錄卷上

進官錄 ❶(日) Shin-kwan-roku. ❷1卷 ❸存"大正五五No. 2165・2166・2167" 大日本佛教全書佛教書籍目錄卷1| ❹圓仁(延曆1|三—貞觀14 A. D. 794—864)撰 ❻(參考) 出三藏記錄卷三"法經錄卷三"仁壽錄卷三"武周錄卷1|1

〔參考〕 本朝台目撰述部書目

進撃的宗教 ❶(日)Shin-geki-teki-shū-kyō. ❷1卷 ❸存"佛教教理實踐書第三 ❹柏花壇正著 ❺大正五刊 ❻(龍大"1|〇九・1|四九)(谷大)

進度主簿房消息 ❶(日) Shin-za-su-go-bō-shō-soku. ❷1通 ❸寫經(寶積三|一讀法1| A. D. 1095—1143) ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三

進士事修集 ❶(日) Shin-shi-shō-kai-shū. (支) Chin-shih-chang-chieh-chi. ❷1卷 ❺(參考) 入唐新求聖教目錄

進旨 ❶(日)Shin-ji. (支) Chin-chih. ❷1卷 ❸存" 大正八五・1|三1|四No. 2364

進修法要 ❶(日) Shin-shū-hō-yō. (支)Chin-hsiu-fa-yao. 慈山大師撰修法要 ❷1卷 ❸存 ❹刊本(支大"藏・1|1|ン・五)

進新書藏經表 ❶(日)Shin-shin-ke-gon-gyō-hyō. (支) Chin-hsin-hua-yen-ching-piao. ❷1卷 ❸知恩寺藏 ❺(參考) 北宋崇寧萬壽大藏目錄

進須知門 ❶(日)Shin-dō-sho-mon. 內教名文 ❷1卷 ❸存 ❹明治六刊 ❺(龍大"1|〇九九・1|七〇)

進定記 ❶(日) Shin-jō-ki. ❺(參考) 本朝台目撰述部書目"山家目錄撰述目錄卷上

進定寺大佐佛私記 ❶(日)Shin-jō-sō-moku-jō-butsu-shi-ki. 寺木佐佛私記

新學初問 ❶(日)Shin-gaku-sho-mon. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(龍大"1|〇九・1|七〇)

新學一乘北丘行要鈔 ❶(日)Shin-gaku-ichi-jō-bi-ku-gyō-yō-shō. 圓補新學一乘北丘行要鈔 ❷三卷 ❸存 ❹寫光明本(完文文五—寶文七 A. D. 1740—1795) ❺寫本(天"1|八四・四三)

新學行要抄 ❶(日)Shin-gaku-gyō-yō-shō. 新學學處行要抄 ❷1卷 ❸存"大正七四・七七九No. 2382 ❹七刻(延曆三|一寶慶三| A. D. 1309—1388)撰

❻本書は三結令旨の圓戒を置持するに就いて初學者に必要なるもの十門を設け"その要文を集記したもの。卷末に上記十門の內の要事を八條列記し"最後に「就定學者略問答」を添へてある。十門とは六念法條一。(これは山門受學受戒の時に授けられるもので佛前作法に出づ。又行儀抄にも出づ。學問・光祭儀・大僧令の六念とは相違する六念である)。衣鉢法條二。(これは四分律・十誦律による)。說淨法條三。(これは善見・地持・善生經等に出づ。山門の說戒には說淨前後を調ずるから數首法となるが"但し戒儀說令を得た時は數首法をしないの。ここに注目すべきことは「近來に至つて諸仁止戒が圓仁に承つたもの」と記してある點である。(近來とは圓仁の入唐求法時代を指すこと明瞭である)。時食法條四。(これは食堂で食すべきことである)。時食法條五。(これは現在所用のもの少異)。藥法條六。(これは藥を說いて出家出世間の三種を說いて出家出世間の度となす。(宋高僧傳)

新學一乘北丘行要鈔 ❶(日)Shin-gaku-ichi-jō-bi-ku-gyō-yō-shō. 圓補新學一乘北丘行要鈔 ❷三卷 ❸存 ❹寫光明本(完文文五—寶文七 A. D. 1740—1795) ❺寫本(天"1|八四・四三)

新學行要抄 ❶(日)Shin-gaku-gyō-yō-shō. 新學學處行要抄 ❷1卷 ❸存"大正七四・七七九No. 2382 ❹七刻(延曆三|一寶慶三| A. D. 1309—1388)撰

❻本書は三結令旨の圓戒を置持するに就いて初學者に必要なるもの十門を設け"その要文を集記したもの。卷末に上記十門の內の要事を八條列記し"最後に「就定學者略問答」を添へてある。十門とは六念法條一。(これは山門受學受戒の時に授けられるもので佛前作法に出づ。又行儀抄にも出づ。學問・光祭儀・大僧令の六念とは相違する六念である)。衣鉢法條二。(これは四分律・十誦律による)。說淨法條三。(これは善見・地持・善生經等に出づ。山門の說戒には說淨前後を調ずるから數首法となるが"但し戒儀說令を得た時は數首法をしないの。ここに注目すべきことは「近來に至つて諸仁止戒が圓仁に承つたもの」と記してある點である。(近來とは圓仁の入唐求法時代を指すこと明瞭である)。時食法條四。(これは食堂で食すべきことである)。時食法條五。(これは現在所用のもの少異)。藥法條六。(これは藥を說いて出家出世間の三種を說いて出家出世間の度となす。(宋高僧傳)

新學一乘北丘行要鈔 ❶(日)Shin-gaku-ichi-jō-bi-ku-gyō-yō-shō. 圓補新學一乘北丘行要鈔 ❷三卷 ❸存 ❹寫光明本(完文文五—寶文七 A. D. 1740—1795) ❺寫本(天"1|八四・四三)

新學行要抄 ❶(日)Shin-gaku-gyō-yō-shō. 新學學處行要抄 ❷1卷 ❸存"大正七四・七七九No. 2382 ❹七刻(延曆三|一寶慶三| A. D. 1309—1388)撰

❻本書は三結令旨の圓戒を置持するに就いて初學者に必要なるもの十門を設け"その要文を集記したもの。卷末に上記十門の內の要事を八條列記し"最後に「就定學者略問答」を添へてある。十門とは六念法條一。(これは山門受學受戒の時に授けられるもので佛前作法に出づ。又行儀抄にも出づ。學問・光祭儀・大僧令の六念とは相違する六念である)。衣鉢法條二。(これは四分律・十誦律による)。說淨法條三。(これは善見・地持・善生經等に出づ。山門の說戒には說淨前後を調ずるから數首法となるが"但し戒儀說令を得た時は數首法をしないの。ここに注目すべきことは「近來に至つて諸仁止戒が圓仁に承つたもの」と記してある點である。(近來とは圓仁の入唐求法時代を指すこと明瞭である)。時食法條四。(これは食堂で食すべきことである)。時食法條五。(これは現在所用のもの少異)。藥法條六。(これは藥を說いて出家出世間の三種を說いて出家出世間の度となす。(宋高僧傳)

ron-ki. (支) Hsin-ch'i-hsin-lun-chi. ❷1巻 ❻(参考) 奈良朝現在1切経疏 日錄2460

新撰古義表顕貴記 ❶(日) Shin-gi-ko-gi-sai-dan-jik-ki. 新撰古義表顕貴記 ❷1巻 ❸存 ❹高尾惟人著 ❺明治17年刊 ❻(参照)1八三・七

新撰聖明大典 ❶(日) Shin-gi-shō-myō-dai-ten. 大正新脩新撰聖明大典 ❷1巻 ❸存 ❹望月信亨(弘化四—昭和三A. D. 1847—1928)ロ・内山正如編 ❺大正六年刊 ❻(参考)

新撰聖明傳來記 ❶(日) Shin-gi-shō-myō-den-rai-ki. ❷1巻 ❸存 ❹内山正如述 ❺刊本(正六)1〇八・1二四)

新撰護書宗史 ❶(日) Shin-gi-shin-gon-shū-shi. ❷1巻 ❸存 ❹富田隆紀著 ❺明治三四刊 ❻(参照)三1八・1二六)

新撰護書宗大觀 ❶(日) Shin-gi-shin-gon-shū-tai-kwan. ❷1巻 ❸存 ❹伊豆智法編 ❺大正1〇刊 ❻(参考)1二九五四・1)又(支大)乾隆D・六・1三)

新撰護書宗智山派宗典 ❶(日) Shin-gi-shin-gon-shū-chi-zan-ha-shū-ten. ❷1巻 ❸存 ❹安貞智證編 ❺明治三九刊 ❻(参照)三1三五・三)

新撰護書宗智山派密嚴教會聯合會誌 ❶(日) Shin-gi-shin-gon-shū-chi-zan-ha-mitsu-gon-kyō-kwai-hen-jō-kō-ei-ka-wa-san-shū. ❷1巻 ❸存 ❹昭和七刊 ❺京都新義教會聯合會 ❻(参照)大會

新撰本山正統林泣ノ大系 ❶(日) Shin-gi-shin-gon-shuk-ke-sei-ritsu-sai-sho-yo-ri-ryō-hon-zan-e-ten-shō-made-no-shi-dai. ❷1巻 ❸存 ❹英智(文体1五—文化元 A. D. 1730—1804) ❺寫本(正大・1四1・三八)

新撰護書語寺院本末牒 ❶(日) Shin-gi-shin-gon-sho-ji-in-hom-matsu-chō. ❷四巻 ❸存 ❹寫本(帝國・1〇七・11〇)

新撰書品鈔 ❶(日) Shin-kyū-e-hon-shō. ❷1巻 ❸活字版 ❹(参考) 續宗教叢書二1

新撰思想の調和 ❶(日) Shin-kyū-shi-sō-no-chō-wa. ❷11巻 ❸存 (文考)

新撰大方廣佛華嚴經校記 ❶(日) Shin-kyū-dai-hō-kō-butsu-ke-gon-gyō-bak-ki. ❷1巻 ❸存 ❹寫本(龍大・11・四・五)

新撰俱舍論記 ❶(日) Shin-ku-sha-ron-ki. (支) Hsin-chū-shē-lun-chi. 新俱舍論記 新俱舍論記 俱舍光記 光記 ❷三十卷 ❸存 大正四1・1 No. 1821 卍續1・八四・1一五 佛教大系第1〇 俱舍光(一譯總元A. D. 654—)續 ❹新俱舍論記の下を見よ。 ❻(参考) 奈良朝現在1切經疏 日錄2567

新熊野山嶽校文集 ❶(日) Shin-kuma-no-san-ken-gyō-shi-dai. 新熊野山嶽校文集 ❷1巻 ❸存 日本大藏經 寫本 ❹熊野三山史 續類

新熊野山別當大系 ❶(日) Shin-kuma-no-san-bet-tō-shi-dai. 新熊野山別當大系 ❷1巻 ❸存 日本大藏經 寫本 ❹熊野三山史 續類

新黑谷光明寺誌要 ❶(日) Shin-kuro-tani-kō-myō-ji-shi-yō. 新黑谷光明寺誌要 ❷1巻 ❸存 浄土宗全書 續10〇 ❹淨華院誌 ❺新黑谷光明寺誌要の下を見よ。

新慨抄 ❶(日) Shin-kwai-shō. ❻(参考) 本朝古圖 寫 續群書

新卷葉語 ❶(日) Shin-kwan-yō-go. ❷三卷 ❸存 ❹新撰葉集(一文化元文政元A. D. 1804—1829—) ❻(参考) 書樓目錄

新觀音經 ❶(日) Shin-kwann-on-gyō. (支) Hsin-kuan-yin-ching. 新觀音經 ❷1卷 ❸存 ❹(参考) 奈良朝現在1切經疏 日錄1875

新華嚴經 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō. (支) Hsin-hua-yen-ching. 大方廣佛華嚴經 新華嚴經 新譯華嚴經 新譯大方廣佛華嚴經 新華嚴經 新華嚴經 新華嚴經 新華嚴經 ❷八十卷 ❸存 大正1〇・1 No. 279 天1—1四 卍七・六一九 北82續至四 82續至四 元79續至四 明北84續至四 81續至四 明南79續至四 字. 88 三十續 梵字續1—四 ❹實叉難陀(一大唐三—李唐初 A. D. 652—710)譯 ❺新華嚴經の下を見よ。 (A. D. 695—699)

新華嚴經音義 ❶(日) Shin-ke-gon-on-gi. (支) Hsin-hua-yen-yin-i. 新譯大方廣佛華嚴經音義 新華嚴經音義 新華嚴經音義 新華嚴經音義 新華嚴經音義 ❷11卷 ❸存 續續1〇 北1067續 南1083續 元1078續 1078續 明北1509井 1071續 天1066續 智1026續 法1053續 守山聞書寫本卷九四 ❹法藏述(一譯新撰切 A. D. 684—704—) ❺新譯大方廣佛華嚴經音義の下を見よ。 ❻(参考) 奈良朝現在1切經疏 日錄1875

新華嚴經 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō. (支) Hsin-hua-yen-ching. 大方廣佛華嚴經 新譯大方廣佛華嚴經 新譯華嚴經 ❷八十卷 ❸存 大正1〇・1 No. 279 天1—1四 卍七・六一九 北82續至四 82續至四 元79續至四 明北84續至四 81續至四 明南79續至四 字. 88 三十續 梵字續1—四 ❹實叉難陀(一大唐三—李唐初 A. D. 652—710)譯 ❺新華嚴經の下を見よ。 (A. D. 695—699)

新華嚴經音義 ❶(日) Shin-ke-gon-on-gi. (支) Hsin-hua-yen-yin-i. 新譯大方廣佛華嚴經音義 新華嚴經音義 新華嚴經音義 新華嚴經音義 新華嚴經音義 ❷11卷 ❸存 續續1〇 北1067續 南1083續 元1078續 1078續 明北1509井 1071續 天1066續 智1026續 法1053續 守山聞書寫本卷九四 ❹法藏述(一譯新撰切 A. D. 684—704—) ❺新譯大方廣佛華嚴經音義の下を見よ。 ❻(参考) 奈良朝現在1切經疏 日錄1875

新華嚴經疏 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō-sho. (支) Hsin-hua-yen-ching-su. 華嚴經疏 大方廣佛華嚴經疏 華嚴大疏 ❷六十卷 ❸存 大正三五・五〇三No. 1735 續續1—四 卍三三・1〇一三四・三 明北1583周至續 明南1573周至續 Nj. 1589 ❹唐澄觀(一云一行俗姓張 A. D. 737—838)述 ❺唐貞元(一貞元 A. D. 784—787)修 ❻華嚴經疏鈔の下を見よ。 ❼(参考) 花嚴宗經論章疏目錄

新華嚴經疏演義鈔 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō-sho-en-gi-shō. (支) Hsin-hua-yen-ching-su-yen-i-ch'ao. 華嚴經疏演義鈔 大方廣佛華嚴經疏演義鈔 華嚴大疏演義鈔 演義鈔 ❷九十卷 ❸存 大正三六・1 No. 1735 續續五—一〇 卍三四・四一九 明北1583必至續 明南1574續至井 Nj. 1590 ❹唐澄觀(一云一行俗姓張 A. D. 737—838)述 ❺唐貞元二十一年(A. D. 805)修 ❻華嚴經疏演義鈔の下を見よ。 ❼(参考) 花嚴宗經論章疏目錄

新華嚴經普賢行願品 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō-fu-gen-gyō-gwam-bon. (支) Hsin-hua-yen-ching-p'u-hsien-hsing yüan-p'in. 華嚴經普賢行願品 大方廣佛華嚴經普賢行願品 ❷1卷 ❸存 大方廣佛華嚴經(大正1〇・六六1 No. 293)之內 ❹唐 般若(一貞元1—1四 A. D. 795—793—)譯 ❺(参考) 淨土依憑經論章疏目錄

新華嚴經略疏 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō-ryaku-sho. (支) Hsin-hua-yen-ching-liao-su. ❷十1卷 ❸唐法藏(貞觀1七一北天元 A. D. 643—712)述 ❹「疏」六已前及十定中前九定、也云云。 ❺(参考) 花嚴宗經論章疏目錄

新華嚴經論 ❶(日) Shin-ke-gon-gyō-ron. (支) Hsin-hua-yen-ching-lun. 華嚴經論 ❷四十卷 ❸存 大正三六・七三1 No. 1739 續作六一八 卍續1・五・五 國1289續至續 ❹唐李通玄(貞觀九一開元一八 A. D. 635—730)述

Hsin-sui-ching.(梵) Pravāraṇa (唐譯)〃(巴)S. 8. 7. Pavāraṇā. ❷1卷 ❸存〃大正880 1・八五九No. 62〃縮刻八〃卍1 五・三〃北京〃帝893号〃天888号〃明北759号〃洛758号〃麗879号〃天880号〃推825号〃法867正〃至1114和〃明治763号〃 Nj. 763 ❹後漢安世高譯 ❺異本天文六—一二〇 (A. D. 331—395) ❻解夏經の下を見よ。 ❼寫本 (文大〃藏・1ン・六)

新撰字鏡抄中陰經法事之記

❶(日)Shin-saku-hei-mon-in-go-chū-in-go-hō-ji-no-ki. ❷1卷 ❸存 ❹寫本 (帝室〃1 1四・二三)

新三百帖 ❶(日)Shin-sam-byaku-jō. ❷性愛經 ❸(參考) 本朝古傳祕法秘術書目〃山家三部祕經傳法灌頂日錄卷下

新四國八十八ケ所順拜記 ❶(日) Shin-shi-koku-hachi-jū-hak-ka-sho-jum-pai-ki. ❷1卷 ❸存 ❹昭和七刊 ❺愛知〃竹倉龍天如

新時代の宗教 ❶(日) Shin-ji-dai-no-shū-kyō. ❷1卷 ❸存 ❹姉崎正治著 ❺大正七刊 ❻(文大〃B 1二・二七)

新時代の親鸞教 ❶(日) Shin-ji-dai-no-shin-ran-kyō. ❷1卷 ❸存 ❹新親鸞教著 ❺大正二五刊 ❻東京文文社

新時代の人格 ❶(日) Shin-ji-dai-no-jin-kaku. ❷1卷 ❸存 ❹尼崎修業著 ❺大正五刊 ❻京都興教書院

新時代の佛教 ❶(日) Shin-ji-dai-no-buk-kyō. ❷1卷 ❸存 ❹松原泰文著 ❺明治四二刊 ❻(龍大〃三五九・1〇)(正大〃1〇九・四九)

新時代の佛教 ❶(日) Shin-ji-dai-no-buk-kyō. ❷1卷 ❸存 ❹友松圓諦著 ❺大正1 五刊 ❻東京中子社

新沙石集 ❶(日)Shin-sha-seki-shū. ❷五冊 ❸存 ❹(宮〃ヤ・七・石・二四)

新譯觀音經講話 ❶(日)Shin-sha-ku-kwann-on-gyō-kō-wa. ❷1卷 ❸存 ❹佐木谷恭圓著 ❺昭和四刊 ❻(龍大)

新譯仁王經抄 ❶(日) Shin-shaku-ninn-ō-gyō-shō. ❷二卷 ❸存 ❹寫本 (山門天海藏)

新譯般若心經講話 ❶(日) Shin-shaku-han-nya-shin-gyō-kō-wa. ❷1卷 ❸存 ❹佐木谷恭圓著 ❺昭和七刊 ❻(龍谷令藏)

新受菩比丘尼大令五觀法 ❶(日) Shin-ju-kai-bi-ku-roku-nen-go-kwam-bō. (支)Hsin-shou-chieh-pi-ch'iu-liu-nien wu-kuan-fa. 六令五觀法 ❷1卷 ❸存〃卍續二・1〇・三 ❹宋元祿 (東福二一喜祐六 A. D. 1005—1061)述 ❺比丘の日日の行事としての應供六令法と令時五觀法とを南山の行事抄に依りて記したもの。新受菩比丘というは〃新學の二種たる女行者の法との一般のために律藏の二種たる女行者の法を說くの意で、必ずしも新受のみが行ふとも限らない。戒儀に「分門雜集抄鈔」とあり。應供六令は(一)日中を令知す。(二)食堂を令知す。(三)受菩令受五觀を令知す。(四)衣鉢有無受持を令知す。(五)同房同座を令知す。(六)道場を令知す。(七)食時五觀法は(一)功の多少を計り、彼の來處を量る。(二)自ら己れの修行全缺多減を付る。(三)心を防ぎ過を離れしむは三毒に過ぎず。(四)正しく良藥を服とするに形苦を療ふことを取る。(五)道業を成ぜんが爲にして世報は貪らず。(六)道業に於て、すべて行ふ事に依りて配く。附錄に出家生食法あり。四分律行事鈔卷上三。卷中三。(宋受食篇)卷下二(資持記)卷上三。卷中三。(宋受食篇)卷下二(資持記)卷上三。卷中三。(宋受食篇)卷下二(資持記)

三、家　序 ｛弘法篇十一之二十四　支提林以下百二十四人
　　護教篇十五之二十六　伴僧以下四十七人
四、惡等序 ｛稱讚淨土篇十七之二十八　善導以下百九人
　　勸信序篇十九之二十一　支孝贇以下百二十七人
五、結勸序 ｛感應道交篇二十二之二十三　手法師以下百九十九人
　　流通分篇二十四之二十六　安養眞因以下百四十七人
六、定　序 ｛靈佑法師二十七之二十八　善導師以下七十六人
　　神化無方二十九之三十　善導以下四十四人

若干は宋人を加へたれどもその大部分は唐以前の人である。

❹宋本(宋版)　(染木煥徳)

新修淨土文　❶(日)Shin-shū-jō-do-mon.　❷(參考)　淨土眞宗教典志書三

新修佛像記　❶(日) Shin-shū-butsu-zō-ki.　新修佛像記　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正元年(一九一二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集古教序　❶(日) Shin-shū-shō-gyō-jo.　❷三卷　❸(著者)　❹(年代)弘仁十三年(八二二) A. D. 767—822)　❺(參考)　眞蹟現存　佛書解説大辭典十下

新集定性二乘論　❶(日) Shin-shū-jō-shō-ni-jō-jo.　❷一卷　❸(著者)　❹(年代)弘仁十三年(八二二) A. D. 767—822)　❺(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新集撰集抄　❶(日)Shin-shū-sō-ji-shō.　弘仁新撰　❷六卷或十卷　十二卷　❸(著者)　❹(年代)弘仁十三年(八二二) A. D. 767—822)頃　❺(參考)　山城國一切經並疏目錄卷上

新集淨土教往生傳　❶(日) Shin-shū-jō-do-kyō-ō-jō-den.　❷三卷　❸(著者)　❹(年代)弘仁十三年(八二二) A. D. 767—822)　❺(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新集淨土法門源流章　❶(日) Shin-shū-jō-do-hō-mon-gen-ryū-shō.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正五年(一九一六)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi.　❷三卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義私記　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-shi-ki.　❷三卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義集　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-shū.　❷三卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki.　❷三卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記畫圖　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-e-zu.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記畫圖目錄　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-e-zu-mo-ku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記目錄　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-mo-ku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記目錄　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-mo-ku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義目錄　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-mo-ku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki.　❷三卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記畫圖　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-e-zu.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記畫圖目錄　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-e-zu-mo-ku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新集淨土三部經音義隨聽記目錄　❶(日) Shin-shū-jō-do-san-bu-kyō-on-gi-zui-chō-ki-mo-ku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十一年(一九二二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新十題　❶(日) Shin-jū-dai.　❷一卷　❸存　❹(著者)大正元年(一九一二)　❺(年代)大正元年(一九一二)　❻(著作)　❼(參考)　淨土眞宗教典志書三

新疏　❶(日)Shin-sho.　❷四卷或五卷　❸(著者)　❹(年代)貞觀十三年 A. D. 814—891)頃　❺(參考)　山城國一切經並疏目錄卷上

新書寫請來法門等目錄　❶(日) Shin-sho-sha-sho-rai-hō-mon-tō-moku-roku.　書寫請來法門等目錄　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正五年(一九一六)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新請來經目錄　❶(日) Shin-shō-rai-kyō-moku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十三年(一九二四)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新請來經目錄　❶(日) Shin-shō-rai-kyō-moku-roku.　❷一卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十三年(一九二四)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新請來教学四十二論　❶(日)Shin-shō-rai-bon-ji-shi-jū-ni-in.　❷一卷　❸存　❹(著者)大正十三年(一九二四)　❺(年代)大正十三年(一九二四)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新請來目錄　❶(日) Shin-shō-rai-moku-roku.　❷一帖　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十三年(一九二四)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新定一切經類音　❶(日)Shin-jō-is-sai-kyō-rui-on.　❷人卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十三年(一九二四)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新撰往生傳　❶(日) Shin-sen-ō-jō-den.　❷人卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)大正十三年(一九二四)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新撰字鏡　❶(日)Shin-sen-ji-kyō　❷十卷　❸存　❹(著者)　❺(年代)昌泰年間(八九八—九〇一)　❻(著作)　❼(參考)　日本國現在書目・日本國見在書目・山城國正法寺常住一切經目錄・山城國一切經並疏目錄・東域傳燈目錄・大日本國法華經驗記卷上

新撰字鏡序　❶(日) Shin-sen-ji-kyō-jo.　❷一

新律綱領 Shin-ritsu-kōryō (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令。→律令

新律綱領決疑鈔 Shin-ritsu-kōryō-ketsugi-shō (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の注釈書。

新律綱領附例 Shin-ritsu-kōryō-fuchūreisetsu (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の附則。

新律綱領例言 Shin-ritsu-kōryō-reigen (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例言。

新律綱領例図 Shin-ritsu-kōryō-reizu (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図。

新律綱領例図附例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-fuchūrei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の附則。

新律綱領例図例言 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言。

新律綱領例図例言附例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則。

新律綱領例図例言附例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例。

新律綱領例図例言附例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei-rei (日) ❶ 明治 ❷ 律 ❸ 一八七〇(明三)年に頒布された新律令の例図の例言の附則の例の例の例の例の例の例の例の例の例。

新律綱領例図例言附例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例例 Shin-ritsu-kōryō-reizu-reigen-fuchūrei-r

名所行器（名束）**酒盛所様**　**月々の内並**（年々定例日）**表文**　**諸家内**　**代官所**　**文箱**　**鼻紙**　**熨斗**　（名書）**名前**　**筆跡**　**第四十二條**

（名束）酒盛所様の月々の内並（年々定例日）表文、諸家内、代官所、文箱、鼻紙、熨斗、（名書）名前、筆跡、第四十二條

（名束）酒盛所様の月々の内並（年々定例日）表文、諸家内、代官所、文箱、鼻紙、熨斗、（名書）名前、筆跡、第四十二條

名所行器（名束）**酒盛所様**　**月々の内並**（年々定例日）**表文**　**諸家内**　**代官所**　**文箱**　**鼻紙**　**熨斗**　（名書）**名前**　**筆跡**　**第四十二條**

新撰姓氏録 ❶(書) Shin-sen-shō-ji-roku. (呉) Hsin-pien-chu-tsung-chiao-ta'ang-tsung-lu. 嵯峨天皇の勅命により、弘仁六年(八一五)に編纂された、日本古代の氏族の系譜集。三十巻。現存するのは、第一・第二・第四・第五・第六・第八・第十・第十一・第十二・第十三・第十四・第十五・第十六・第十七・第十八・第十九・第二十・第二十一・第二十二・第二十三・第二十四・第二十五・第二十六・第二十七・第二十八・第二十九・第三十の各巻。

新撰字鏡 ❶(書) Shin-sen-ji-kyō. (呉) Hsin-pien-tzu-ching. 昌泰年間(八九八―九〇一)頃に、僧昌住が編纂した、日本最古の漢和辞書。十二巻。

新撰集 ❶(書) 勅撰和歌集の一。第八番目の勅撰和歌集。後鳥羽院の勅命により、藤原(飛鳥井)雅経・藤原(宇都宮)頼綱らが撰進。建仁二年(一二〇二)成立。

新撰集抄 ❶(書) Shin-sen-shū-shō. 鎌倉時代の仏教説話集。六巻。西行の作と伝えられるが、確証はない。

新撰集抄本事 ❶(書) Shin-sen-shū-shō-hon-ji. 鎌倉時代の仏教説話集。六巻。西行の作と伝えられるが、確証はない。

新撰字鏡 ❶(書) Shin-sen-ji-kyō. 昌泰年間(八九八―九〇一)頃に、僧昌住が編纂した、日本最古の漢和辞書。十二巻。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

新撰姓氏録 ❶(書) Shin-sen-shō-ji-roku. (呉) Hsin-pien-chu-tsung-chiao-ta'ang-tsung-lu. 嵯峨天皇の勅命により、弘仁六年(八一五)に編纂された、日本古代の氏族の系譜集。三十巻。現存するのは、第一・第二・第四・第五・第六・第八・第十・第十一・第十二・第十三・第十四・第十五・第十六・第十七・第十八・第十九・第二十・第二十一・第二十二・第二十三・第二十四・第二十五・第二十六・第二十七・第二十八・第二十九・第三十の各巻。

新撰字鏡 ❶(書) Shin-sen-ji-kyō. 昌泰年間(八九八―九〇一)頃に、僧昌住が編纂した、日本最古の漢和辞書。十二巻。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

新撰集 ❶(書) 勅撰和歌集の一。第八番目の勅撰和歌集。後鳥羽院の勅命により、藤原(飛鳥井)雅経・藤原(宇都宮)頼綱らが撰進。建仁二年(一二〇二)成立。

新撰集抄本事 ❶(書) Shin-sen-shū-shō-hon-ji. 鎌倉時代の仏教説話集。六巻。西行の作と伝えられるが、確証はない。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

新撰字鏡 ❶(書) Shin-sen-ji-kyō. 昌泰年間(八九八―九〇一)頃に、僧昌住が編纂した、日本最古の漢和辞書。十二巻。

新撰集 ❶(書) 勅撰和歌集の一。第八番目の勅撰和歌集。後鳥羽院の勅命により、藤原(飛鳥井)雅経・藤原(宇都宮)頼綱らが撰進。建仁二年(一二〇二)成立。

新撰集抄本事 ❶(書) Shin-sen-shū-shō-hon-ji. 鎌倉時代の仏教説話集。六巻。西行の作と伝えられるが、確証はない。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

新撰字鏡 ❶(書) Shin-sen-ji-kyō. 昌泰年間(八九八―九〇一)頃に、僧昌住が編纂した、日本最古の漢和辞書。十二巻。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

新撰集 ❶(書) 勅撰和歌集の一。第八番目の勅撰和歌集。後鳥羽院の勅命により、藤原(飛鳥井)雅経・藤原(宇都宮)頼綱らが撰進。建仁二年(一二〇二)成立。

新撰集抄本事 ❶(書) Shin-sen-shū-shō-hon-ji. 鎌倉時代の仏教説話集。六巻。西行の作と伝えられるが、確証はない。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

新撰字鏡 ❶(書) Shin-sen-ji-kyō. 昌泰年間(八九八―九〇一)頃に、僧昌住が編纂した、日本最古の漢和辞書。十二巻。

新撰集 ❶(書) 勅撰和歌集の一。第八番目の勅撰和歌集。後鳥羽院の勅命により、藤原(飛鳥井)雅経・藤原(宇都宮)頼綱らが撰進。建仁二年(一二〇二)成立。

新撰集抄本事 ❶(書) Shin-sen-shū-shō-hon-ji. 鎌倉時代の仏教説話集。六巻。西行の作と伝えられるが、確証はない。

新撰式 ❶(書) Shin-sen-shiki. 弘仁十一年(八二〇)に藤原冬嗣らが撰進した、弘仁格の施行細則。

名所行旅◎（名所案）名所記◎（名所案）名所図会◎（名所案）名所絵◎（名所案）名所絵図◎（名所案）名所絵巻◎（名所案）名所絵本◎（名所案）名所絵尽◎（名所案）名所絵入◎（名所案）名所絵入本◎（名所案）名所絵入本◎（名所案）名所絵入本

新羅人参業組合 朝 ❶ 大正14年(1925)に設立された人参業者の組合。

新羅人参業者 朝 ❶ 人参業を営む者。

新羅人参業組合 朝 ❶ 新羅人参業者の組合。

新羅人参業者 朝 ❶ 新羅

続浦島 ❶(Shin-ran-Ⅲ)(名)(名)(名

親鸞聖人上洛絵巻 ❶(書)Shin-ran-shō-nin-jō-raku-e-maki ❷(絵巻)Shin-ran-shō-nin-jō-raku-e-maki ❸(絵巻)Shin-ran-shō-nin-jō-raku-e-maki 親鸞聖人の上洛を描いた絵巻物。

親鸞聖人真蹟集 ❶(書)Shin-ran-shō-nin-shin-seki-shū ❷(書)Shin-ran-shō-nin-shin-seki-shū ❸(書)Shin-ran-shō-nin-shin-seki-shū 親鸞聖人の真筆を集めたもの

晋代の人 晋代の人。

晋代の仏 晋代の仏。

晋代の仏教 晋代の仏教。

晋代の仏教美術 晋代の仏教美術。

晋代の仏教美術史 晋代の仏教美術史。

晋代の仏教美術史料 晋代の仏教美術史料。

晋代の仏教美術史料集 晋代の仏教美術史料集。

晋代の仏教美術史料集成 晋代の仏教美術史料集成。

晋代の仏教美術史料集成図 晋代の仏教美術史料集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説。

晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書 晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書。

**晋代の仏教美術史料集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則集成図録解説書目録索引表示法規則

神皇正統記 ❶(日) Jin-nō-shō-tō-ki. ❷1帖 ❸北畠親房 ❹寫本(宮内省圖書寮)

大般若経 대반야경 ❶ 仏 ❸ 経 ❹ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 仏教の根本思想である空の理を説いた経典。唐の玄奘訳。六百巻。(大般若)

大仏殿 대불전 ❶ 仏 ❸ 殿 ❹ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 大仏を安置する堂。

大仏殿万灯会 대불전만등회 ❶ 仏 ❸ 殿 ❹ 万 ❺ 会 ❻ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 陰暦七月十五日の夜、大仏殿で行なう万灯会。

大仏殿万灯籠 대불전만등롱 ❶ 仏 ❸ 殿 ❹ 万 ❺ 灯 ❻ 籠 ❼ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 大仏殿万灯会に用いる灯籠。

大仏殿万灯籠 대불전만등롱 ❶ 仏 ❸ 殿 ❹ 万 ❺ 灯 ❻ 籠 ❼ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 大仏殿万灯会に用いる灯籠。

大仏餅 대불떡 ❶ 仏 ❸ 餅 ❹ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 大仏の形をした餅菓子。

大仏餅 대불떡 ❶ 仏 ❸ 餅 ❹ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 大仏の形をした餅菓子。

大仏様 대불양 ❶ 仏 ❸ 様 ❹ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 鎌倉時代に中国の宋から伝来した建築様式。

大仏様 대불양 ❶ 仏 ❸ 様 ❹ (Jim-bea)(日)(名) ❶ 鎌倉時代に中国の宋から伝来した建築様式。

大分 대분 ❶ 多い ❸ (Jim-bun)(日)(名) ❶ 多いこと

晉書 ❶(日)Shin-sho. ❷130巻 ❸存 ❹(支)唐の房玄齢等撰 ❺明治三三刊 ❻(支)大・七四三)(續大・二九六六・一四・二九六五・三五六)

晉魏大若蘆篠略式 ❶(日)Jim-ben-dai-bo-satsu-hō-on-shiki. ❷1帖 ❸存 ❹訓点 ❺刊 ❻(参照・一四四・一一九)

晉坊陰會釋抄 ❶(日)Jim-bō-shi-e-shaku-shō. ❷1巻 ❸散逸(詳細を全く知らず) ❹(参考)

晉名謚攷 ❶(日) Jim-myō-shō-gi. ❸存 ❹清代の著者未詳 ❺10冊 ❻嘉慶元—弘仁14 A. D. 767—822) ❼(参考)

晉和寺勝願 ❶(日) Jin-roku-ji-ji-seki. (支) Shên-lu-ssŭ-shih-chi. ❷1巻 ❸存 ❹(参考) 朗詠集歌題等所引集定書目

晉坂御談聞書 ❶(日) Jin-shi-go-dan-kiki-gaki. ❷1巻 ❸存 ❹日蓮宗宗学全書所収 ❺日蓮記

❻法華宗(真跡本成令寺)の日隆が大聖(法華經)及び文に關し本門迹劣の立場に於て問答往復したものを全下の日蓮が聞書整理せるもの。

「1」 問云、三類之中初日五字設雖二信受一可レ申。等、難也。といふ如く先づ初問目より始めて末門の三大論法を述べて、次に問目より本尊等の文について本門迹劣の義を述べてある。 (島田行恭)

晉坂和尚行狀 ❶(日) Jin-zan-o-shō-gyō-jō. ❸存 ❹本書には大泰源生寺開山歴山和尚行狀とあり、題書前題記狀九葉半二一九 ❻本書には大泰源生寺開山歴山和尚行狀とあり、題書前題記狀九葉半二一九

❻

名所行器●（名産業）産物発明●人中の付属●（食事●食物●飲物●（名酒）酒類●

本。（ニ）同じ種類のもの。（ホ）（ニ）の数詞。（ヘ）（ホ）の数詞。（ト）（ヘ）の数詞。（チ）（ト）の数詞。（リ）（チ）の数詞。（ヌ）（リ）の数詞。（ル）（ヌ）の数詞。（ヲ）（ル）の数詞。（ワ）（ヲ）の数詞。（カ）（ワ）の数詞。（ヨ）（カ）の数詞。（タ）（ヨ）の数詞。（レ）（タ）の数詞。（ソ）（レ）の数詞。（ツ）（ソ）の数詞。（ネ）（ツ）の数詞。（ナ）（ネ）の数詞。（ラ）（ナ）の数詞。（ム）（ラ）の数詞。（ウ）（ム）の数詞。（ヰ）（ウ）の数詞。（ノ）（ヰ）の数詞。（オ）（ノ）の数詞。（ク）（オ）の数詞。（ヤ）（ク）の数詞。（マ）（ヤ）の数詞。（ケ）（マ）の数詞。（フ）（ケ）の数詞。（コ）（フ）の数詞。（エ）（コ）の数詞。（テ）（エ）の数詞。（ア）（テ）の数詞。（サ）（ア）の数詞。（キ）（サ）の数詞。（ユ）（キ）の数詞。（メ）（ユ）の数詞。（ミ）（メ）の数詞。（シ）（ミ）の数詞。（ヱ）（シ）の数詞。（ヒ）（ヱ）の数詞。（モ）（ヒ）の数詞。（セ）（モ）の数詞。（ス）（セ）の数詞。（ン）（ス）の数詞。

人数（ニンズウ）

人の数。人間の数。

人数（ニンズ）

人の数。人間の数。

人数（ニンズ）

人の数。人間の数。

人数（ニンズ

三種記事四

類聚外集 ❶(日) Jin-yo-gwai-shō. (支)Chin-yü-wai-chi. ❷若 ❸現代成書

晉土五河審音 ❶(日) Jin-do-ke-ka-hi-yu-kyō. (支) Ch'ên-t'u-hui-ho-p'i-yü-ching. ❷1巻 ❸宋雲 ❹(参考) 田〔中舎差雲〕

晉書 ❶(日) Shin-jo ❷(支) Chin-shu ❸唐 ❹房玄齢 ❺(参考) 晉・唐

晉書音義 ❶(日) Shin-jo-on-gi ❷(支) Chin-shu-yin-i ❸3巻 ❹徐邈 ❺(参考) 晉

晉書音義 ❶(日) Shin-jo-on-gi ❷(支) Chin-shu-yin-i ❸3巻 ❹李軌

ス

宗鏡撮要　❶(日) Su-gyō-satsu-yō. (支)Tsung-ching-ts'o-yao.　❷一巻　❸存　❹宋代念宗撰　❺刊本(高大・蓮・一七ン・九)(京大・蓮・一七ン・一一五)

宗鏡録鈔　❶(日) Su-gyō-shō-roku.　❷十三巻　❸存　❹石会居士撰　❺写本(京大・蓮・一七ン・一〇)

宗鏡録因縁　❶(日) Su-gyō-roku-in-den.　❸存　❹撰時著者未詳

❺本書は鎌倉末京都建仁寺僧の撰である。勅諡宗鏡禅師(A. D. 1291—1374)、諱は周佐、字は明叟、蜂谷北條氏の裔である。幼少出家、初め仁和寺慶助に従い真言を学び密教に傾倒したが、元弘の乱に際して参賀国師の旅下に投ずるに及び、遂に禅密兼修し、嗣法国師に侍して参禅ようやく大悟に至り、国師の没後は諸国を遍歴して諸師に歴参し、晩年京都に帰って建仁寺に住し、後建仁寺の塔頭両足院を開いて同山の主となり、自ら第二世と称する。応安七年正月五日示寂、諡八十四歳。宗門と称ばれる。(紀氏雄彦)

宗鏡録　❶(日) Su-gyō-roku. (支) Tsung-ching-lu.　❷百巻　❸存、大正四八・四一五No. 2016、縮蔵一一四、卍三九・五一九、元1430宋至盛、明北1482宋至崇、清1594宋至冷、天1426宋至盛、明南1502阿Nj. 1489　❹延寿撰(天祐元—開寶八 A. D. 904—975)述　❺宋太祖建立(A. D. 961)

❻教義三門の要旨を説べたもの。題宗、即ち名、引証の三章に分ち大乗教典六十部、印度及び支那の聖賢三百餘家の言を集め、仏語格非常非無即四句の絶待と圓和融会して心外無法を説く。自序に「いま仏語の大意綱宗の正宗を述ぶ。自序に「いま仏語の大意綱宗の正宗を述ぶ。自序に「いま仏語の大意綱宗の正宗を述ぶ

yao-chi. ❷11巻 ❸新羅僧惠業(一説開元A. D. 681—)撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴記 ❶(日)Su-yō-ki. ❷11巻 ❸新羅 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴記 ❶(日)Su-yō-ki. ❷11巻 ❸李通玄(天平11—一説仁大A. D. 740—815)撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴記 ❶(日)Su-yō-ki. ❷11巻 ❸宋智通了悟(一説慶人A. D. 1138—) ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴義 ❶(日)Su-yō-gi. ❷1巻 ❸行賀(天平元—延曆11)11A. D. 729—803)撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴義記 ❶(日)Su-yō-gi-ki. ❷1巻 ❸行賀(天平元—延曆11)11 A. D. 729—803)撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴祕記 ❶(日) Su-yō-ge-setsu-ki. ❷十七卷 ❸圓令(天平勝寶11—一永保元 A. D. 750—834)撰 ❹(参考) 實叉難陀譯華嚴目錄卷下、諸宗章疏錄卷11

華嚴私記 ❶(日)Su-yō-shi-ki. (支) Shu-yao-ssŭ-chi. 華嚴經疏私記 ❷1巻 ❸元代宗賾撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11、奈良朝現在1切經疏目錄2383

華嚴妙記 ❶(日) Su-yō-shō-ki. ❷11巻 ❸圓超撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴大綱 ❶(日)Su-yō-hō-shi. (支) Shu-yao-fang-chih. 華嚴經綱要中華嚴記、華嚴經綱要方誌、華嚴記 ❷11巻之內卷上現存、卍續1・七八・1 ❸法順(杜順)(慶雲三—開元11 A. D. 678—733)撰 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

華嚴經傳記 ❶(日) Su-yō-kyō-den. ❷1巻 ❸存、大日本佛教全書第五〇寺誌叢書之內 ❹慧皎(廣法11—延興二A. D. 497—554)撰

華嚴經論 ❶(日) Su-yō-yō-setsu. ❷11巻 ❸存 ❹(参考) 諸宗章疏錄卷11

すみれ亭 ❶(日)Su-mi-re-sō. 菫亭叢書 ❷1巻 ❸存 ❹東京歌舞伎座 ❺明治11(五刊 ❻帝國1・1・三五)

須菩提盧毋明超越本三摩耶等之毋壇 ❶(日) Zu-kō-bo-satsu-im-myō-ketsu-tō-hon-sam-ma-ya-tō-no-in-no-okto. ❷1帖 ❸存 ❹空海 ❺德川時代寫 ❻(東寺現在)

須菩提 ❶(日) Zu-dok-ko. 圖の異體 ❷1卷 ❸存 ❹圓珍(唐僧)寫 ❺明治四五刊 ❻(舊大)

須菩提 ❶(日) Zu-dok-ko. ❷1卷 ❸存 ❹藤田文藏舊藏 ❺東京帝國大學圖書館藏 ❻(舊大)(參考) 諸宗章疏錄卷11、奈良朝現在1切經疏目錄2383、大正五年11刊 ❻(舊大)(帝大・1・1・三)

圖毋集 ❶(日) Zu-in-shū. ❷五卷 ❸存 ❹刊本(舊大)(帝大・三1101(舊大)1・七1)(正大)1四八・大・11三三)慧日寺古代寫(東寺現在)

圖毋抄 ❶(日) Zu-in-shō. ❷五卷 ❸存 ❹永超 ❺(參考) 諸宗章疏錄卷11

圖象幽顯密異學兼通合讚 ❶(日) Zu-gwa-tai-shō-sei-kai-man-da-ra-gas-san. ❷1扇 ❸存 ❹正德11刊 ❺(舊大)(帝・1・1・八)

圖像集 ❶(日) Zu-zō-shū. ❷永嚴(一永保元A. D. 1120—) ❸(參考) 諸宗章疏錄卷三

圖像集 ❶(日) Zu-zō-shū. ❷1卷 ❸存 ❹(舊大)(圖書)

圖像十六羅漢頌 ❶(日) Zu-zō-jū-roku-ra-kan-ju. ❷1冊 ❸存 ❹刊本(舊大)(帝・1・1・四)

圖像抄 ❶(日) Zu-zō-shō. 十卷鈔、十卷圖像抄、卷抄鈔、圖像抄 ❷十卷 ❸存、大正大藏經圖像部三、大日本佛教全書第二一1〇 ❹覺禪(一永保元A. D. 1135—)撰 ❺十卷鈔のこと見よ。大藏經索引11參照。

頭陀羅 ❶(日)Zu-da-kyō. (支) T'ou-t'o-ching. ❷11卷 ❸失譯 ❹(參考) 法經錄卷四、仁壽錄卷四、開元錄卷11八

頭陀毋食法明毋食入門法 ❶(日) Zu-da-kotsu-jiki-hō-narabini-myō-ketsu-jiki-hachi-mon-hō. (支) T'ou-t'o ch'i-shih-fa & ming-ch'i-shih-pa-mên-fa. ❷各1卷 ❸所錄行(大同七—同四A. D. 541—594)撰 ❹(參考) 實叉難陀目錄卷下

頭陀集 ❶(日) Zu-da-shū. ❷三卷 ❸失譯(舊事錄元—弘七11三 A. D. 767—822) ❹(參考) 大唐令百錄寫經目錄、山家三聚祕決目錄卷上

頭那經 ❶(日)Zu-na-kyō. (支)T'ou-na-ching. (巴) A. V. 192 Dona. ❸存、中阿含經卷四〇(大正1・六八〇 No. 26. 158)

素性法師文集 ❶(日) Sū-jō-an-mon-shū. 素性集、素性法人文集 ❷1卷 ❸存、續群書類從卷三 ❹安土桃山(天文五 A. D. 1536)撰 ❺天文頃(A. D. 1532—1555) ❻素性法人文集の下を見よ。

素德開邪集 ❶(日) Sū-toku-kan-ja-ben. ❷1卷 ❸存 ❹實事錄 ❺寫本(舊大)(帝大・11五四四)

蘇山和尚語錄 ❶(日) Sū-zan-o-shō-go-roku. ❷1卷 ❸存 ❹蘇山居中(建治三—貞和元 A. D. 1277—1345 1記貞和元年六11寂) ❺(參考) 諸宗章疏錄

蘇悉地經疏 ❶(日) Sū-gyō-kan-gen. 11悉地疏 ❷11卷 ❸存、新撰目錄十四卷三家作者錄名內、諸寺出門錄卷上 ❹立空撰之誤 ❺明和三(A. D. 1766)

❻素華1名11悉地疏ともいふ、明和年間に發せる、江戶の諸寺出門の內容を述べたもの、同人素華經に就しても諸家の立義を論ず。同じものは江戶に於けるこの種研究の一般の立義を知り得べし。(大屋德城氏)

蘇悉地羯羅 ❶(日)Sū-gyō-shū. ❷七卷 ❸存 ❹日本目錄(安祥11—明和11 A. D. 1729—1765)撰 ❺寶永七刊 ❻(舊大)(帝・1・1・六一1・1七1(舊)(正大)1八四・三五)

水雲問答 ❶(日)Sui-un-shū. 大中日本和尚水雲問答 ❷11卷 ❸存 ❹日心圓 ❺享保九刊 ❻(立大)八〇八・四1)

水鑑洗和尚六會錄 ❶(日) Sui-kan-kai-o-shō-roku-e-roku. (支) Shui-chien-hai-ho-shang-liu-hui-lu. ❷11卷 ❸存 ❹唐代水鑑撰錄 ❺(參考) 諸錄目錄

水鏡抄 ❶(日)Sui-kyō-shō. ❷11卷 ❸存 ❹安土桃山(一寶永七 A. D. 1795—)建 ❺明曆三刊 ❻(舊大)1・1・五ム・1)

水月毫語錄 ❶(日)Sui-gwatsu-an-go-roku. ❷十五卷 ❸存 ❹無學祖元(宋咸淳10刊)撰 ❺(參考) 諸錄目錄

水月香令 ❶(日)Sui-gwatsu-on-yō. ❷1卷 ❸存 ❹唐本全書錄 ❺昭和11刊 ❻(舊大)

水月惑圖辨 ❶(日) Sui-gatsu-kann-ō-ben. ❷存、的門上人全錄卷1

水月觀音 ❶(日)Sui-gwatsu-kwann-on. ❷1帖 ❸存 ❹圓北朝時代寫 ❺(東寺現在)

水月觀音法 ❶(日) Sui-gwatsu-kwann-on-hō. ❷1帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東寺現在)

水鏡幸口傳 ❶(日) Sui-kwan-gi-ku-den. ❷1卷 ❸存、大日本佛教全書第五〇寺誌叢書之內 ❹慶滋(廣治11—一延慶11後A. D. 1143—1212—)撰

水鏡幸天 ❶(日) Sui-kwan-gi-ten. ❷1卷 ❸存、大日本佛教全書第四〇歷史地理部之內 ❹大宅(定久11—弘安五 A. D. 1205—1282)撰

水鏡幸天 ❶(日) Sui-kwan-gi-ten. 水鏡幸天小鈔 ❷1帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東寺現在)

水鏡幸天 ❶(日) Sui-kwan-gi-ten. ❷1卷 ❸存 ❹和漢合記

水鏡幸天供次第 ❶(日) Sui-kwan-gi-ten-gu-shi-dai. ❷1帖 ❸存 ❹南北朝時代寫 ❺(東寺現在)

水鏡幸天次第 ❶(日) Sui-kwan-gi-ten-shi-dai. ❷1卷 ❸觀音院(仁治三—延應三 A. D. 853—925) ❹(參考) 木部令百錄寫經目錄、諸宗章疏錄卷三

水鏡幸天次第 ❶(日) Sui-kwan-gi-ten-shi-dai. ❷1帖 ❸存 ❹鎌倉初期寫 ❺(舊大)(帝・1・六六)

水現氣起 ❶(日) Sui-gei-ko-ki. ❷1帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東寺現在)

水牛王經 ❶Sui-go-ō-kyō. (支)Shui-niu-wang-ching. ❷1卷 ❸失譯 ❹走馬三刊 ❺(舊大)(帝・1・1・八)

水牛經 ❶(日)Sui-go-kyō. (支)Shui-niu-ching. ❸存、生經卷四(大正三・九三 No. 154. 30)

水光龍彩 ❶(日)Sui-kō-ryū-sai. 龍圖龍彩 ❷1卷 ❸存 ❹東田家舊藏 ❺(參考) 諸錄目錄

水雪抄 ❶(日) Sui-gon-shō. 江雪抄 ❸存、古典保存會叢書之內 ❹大正1四刊 ❺(舊大)頭註

水井修經 ❶(日) Sui-sho-yu-kyō. (支)Shui-ch'u-yū-ching. ❷1卷 ❸(參考) 貞元錄卷11六

水生太子經 ❶(日)Sui-shō-tai-shi-kyō. (支)Shui-shêng-t'ai-tzŭ-ching. ❷1卷 ❸現本說1切有部百法明門論卷十九卷の抄出 ❹(參考) 開元錄卷1六、祐1七 貞元錄卷11六

水土泡經 ❶(日)Sui-jō-hō-kyō.(支) Shui-shang-p'ao-ching. ❷1卷 ❸失譯 ❹出三藏記抄卷四、法經錄卷五、仁壽錄卷三、開元錄卷1六、貞元錄卷11六

水流疾志經 ❶(日)Sui-jō-hon-ji-kyō.(支)Shui-ching-fan-chih-ching. (巴) M. 7 Vatthûpama S. ❸存、中阿含經卷11三(大正1・五七五No. 26. 93)

水拙手抄 ❶(日)Sui-setsu-shu-kan. ❷1卷 ❸存、語錄卷頭寫卷1三 ❹三流僧(一文明1七 A. D. 1485—)

水拙抄 ❶(日) Sui-setsu-shō. ❷1卷 ❸圓悟語錄(一文明1七 A. D. 1485—) ❹(參考) 日本圖書館綜合目錄、禪林僧寶傳目錄

水雲母書流 ❶(日) Sui-sen-shin-gi-sho. (支)Shui-ch'an-shên-i-su. ❷11冊 ❸存 ❹民國1四刊 ❺(舊大)

水雲叙略 ❶(日)Sui-sen-su-ryaku. (支)Shui-ch'an-shu-liao. ❷三卷 ❸存 ❹寫本(舊大)1五刊 ❺(舊大)1・八ス・1)

水雲總科 ❶(日) Sui-sen-sō-kwa. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(舊大)1・八ス・11)

水丁記 ❶(日) Sui-tei-ki. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(帝室)四11〇・三五)

水天 ❶(日)Sui-ten. 水天供 ❷1卷 ❸存、大日本佛教全書第四〇歷史地理部之內 ❹永慶(定久11—弘安五 A. D. 1205—1282)撰 ❺(參考) 諸宗章疏錄卷三 ❻德治元年北朝時代寫(東寺現在)德川時代寫(東寺現在)

水天行法要 ❶(日) Sui-ten-gyō-bō-yō. ❷1卷 ❸存 ❹(舊大)1・三六・小冊)

水天供 ❶(日) Sui-ten-ku. 水天 ❷1卷 ❸存、大日本佛教全書第五〇寺誌叢書之內 ❹寶鏡(廣治11—一建曆11後A. D. 1143—1212—)撰 ❺寫本(舊大)(帝・1・六四(舊大)(帝・1・六六)(舊大)(帝)(舊大)(舊大)(舊大

水天供口博伝 ❶(日) Sui-ten-ku-ku-den. ❷1帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天供次第 ❶(日) Sui-ten-ku-shi-dai. ❷1巻 ❸存 ❹写本(谷大・鈴小・三六) ❺徳川時代写(書籍記)

水天供次第信日所修法 ❶(日) Sui-ten-ku-shi-dai-shin-nichi-sho-shū-hō. ❷1帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天供次第表白等 ❶(日) Sui-ten-ku-shi-dai-hyō-byaku-tō. ❷四帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天供日記 ❶(日) Sui-ten-ku-nik-ki. ❷11帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天供日記差図 ❶(日) Sui-ten-ku-nik-ki-narabini-dan-zu. ❷1帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天供八帖次第 ❶(日) Sui-ten-ku-hachi-jō-shi-dai. ❷八帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天供秘博欽 ❶(日) Sui-ten-ku-hi-den-shō. ❷1巻 ❸存 ❹室元(天文五—慶長17 A. D. 1536—1612) ❺(参考) 諸宗教義綱要三

水天供表白支度等 ❶(日) Sui-ten-ku-hyō-byaku-shi-taku-tō. ❷1帖 ❸存 ❹浄北院(書写奥書) ❺(書写奥書)

水天供用意 ❶(日) Sui-ten-ku-yō-i. ❷1帖 ❸存 ❹足利時代写 ❺(書籍記)

水天供表表白 ❶(日) Sui-ten-ku-hyō-hyō-byaku. ❷1帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天次第 ❶(日) Sui-ten-shi-dai. ❷1巻 ❸存 ❹鎌土作

水天法 ❶(日) Sui-ten-hō. ❷1帖 ❸存 ❹浄北院 ❺徳川時代写 ❻(書写奥書記)

水天法次第 ❶(日) Sui-ten-hō-shi-dai. ❷1帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天法要鈔 ❶(日) Sui-ten-hō-yō-shō. ❷1帖 ❸存 ❹徳川時代写 ❺(書籍記)

水天摩利支天 ❶(日) Sui-tem-ma-ri-shi-ten. ❷1巻 ❸存 ❹大日本仏教全書遊方五〇摩利支天之内 ❺寛喜(鎌倉三—建暦1 後 A. D. 1143—1212—)抄

水乳鞭 ❶(日) Sui-nyū-hen. ❷1巻 ❸存 ❹写本(慶大・鎌古)

水波喰況回嚢拿 ❶(日) Sui-ha-yu-kyō-dō-i-shō. 水波喰況回嚢拿 ❷1冊 ❸存 ❹(序)・四・中・11 1)

水府排仏之記 ❶(日) Sui-fu-hai-butsu-no-ki. ❷1冊 ❸存 ❹天保1 四 写 ❺(谷大・1・11〇ゝ・1)

水浜所産経 ❶(日) Sui-matsu-sho-hyō-gyō. (支) Shui-mo-so-p'iao-ching. ❷1巻 ❸別生譯 ❹(参考) 法苑珠林四・七音義巻三・経論音義巻三・巻四

水浜所産経 ❶(日) Sui-matsu-sho-hyō-gyō. (支) Shui-mo-so-p'iao-chiug. (巳) S. 22. 95. phena 河中大浜法経・浜法学経 ❷1巻 ❸存・大正11・五〇1 No. 101・鎌古大・卍1四・11・北751・青765・元757・明北650・清650・国740・青・天750・朝709・法740・青987・明清633・Nj. 654 ❹法華系圏書 ❺東晋大元(一11〇(A. D. 381—395) ❻中華各方面仏教圏(Ayyojjhā)の都水の側に在りし時、五百の大出生者を前令衆として以て何の大事業に属ふ衆法を以て色性に等く、ついで又雨の池を指性(衆性)と、前事を想性に、思用を行性に、刃業を識性に置く、五性は然にして所有衆生ことを明したまふたものである。本経の成本については元性序経の項を見よ。 (岡尾浜雲)

水浜所産経 ❶(日) Sui-matsu-sho-hyō-gyō. 現代訳書 水浜所産経 ❷大巻 ❸存・現代訳書 水浜所産経 ❹浜雲 ❺(参考) 浜雲阿含経抄 ❻浜雲浜雲書

水像経 ❶(日) Sui-yu-gyō. (支) Shui-yū-ching. ❷1巻 ❸天書 ❹存・1阿含経の抄出 ❺(参考) 出三蔵記集四・法苑珠林四・七音義巻三・経論音義巻三・開元釈教録1 大・貞元釈教録11 大

水像経 ❶(日) Sui-yu-gyō. (支) Shui-yū-ching. ❸存・中阿含経巻五(大正1・四11四No. 26. 4)

水像経 ❶(日) Sui-yu-gyō. (支) Shui-yū-ching. ❸存・中阿含経巻五(大正1・四五四No. 26. 25)

水像経 ❶(日) Sui-yu-gyō. 現代訳書 水浜所産経 ❷大巻 ❸存・現代訳書 水浜所産経 ❹浜雲 ❺(参考) 浜雲阿含経抄 ❻浜雲浜雲書

水陸無遮大会儀軌 ❶(日) Sui-riku-mu-sha-dai-e-gi-ki. ❷1巻 ❸存 ❹(題大・諸経)

水陸無遮平等資福斎会 ❶(日) Sui-riku-mu-sha-byō-dō-sai-gi-satsu-yō. ❷1巻 ❸存 ❹寛喜11刊(谷大・1・11大ス・三)明正徳九刊 朝鮮大蔵寺開版 (書写奥書記)

吹綿譚語諺語 ❶(日) Sui-man-zen-ji-go-roku. (支) Ch'ui-wan-ch'an-shih-yū-lu. ❷1巻 ❸存 ❹明代成書 ❺来題 ❻(参考) 禅籍目録

垂誡註解 ❶(日) Sui-kai-chū-ge. ❷1冊 ❸存 ❹(谷大・ふ・三・中・11)

垂釣卵 ❶(日) Sui-kin-ran. ❷十11巻 ❸存・鎌浜全書浜大1 ❹享和(享和六—天保1 11 A. D. 1769—1841)頃 ❺文化九(A. D. 1812)

❻曾根崎大尽訪大会なるもの、平田篤胤、富永仲基等の説風をうけて、安藤、儒教の力面を往来し、官令之説として医説し三世因果を頑無し、前後1 輪説を排斥し、前に記び難説する者日にあく、剰く学者諸説を集成するの志しをもつあり、成にこの記に説話録雑せるものであつて、初(七巻)後(十巻)共に大いに痛憤しその医家法しもことを

水像経 ❶(日) Sui-yu-gyō. 現代訳書 水浜所産経 ❷大巻 ❸存・現代訳書 水浜所産経 ❹浜雲 ❺(参考) 浜雲阿含経抄 ❻別冊浜雲 ❼甲斐宝行共書

名所行図会(名古屋市)の図会(名)・浜雲(浜雲経)・代中(代中行事)・浜雲(浜雲経)・浜雲(浜雲経)・浜雲(浜雲経

瑞巌初會錄 ❶(日) Sui-an-sho-e-roku. ❷四卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿十一 A. D. 1630—1698) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌語話 ❶(日)Sui-an-sen-go. ❷二卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿十一 A. D. 1630—1698) ❺寫寶九刊 ❻(國大)(訪史)(國大)

瑞巌會集 ❶(日) Sui-an-so-kō. ❷一卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿十一 A. D. 1630—1698) ❺寫寶五刊 ❻(國大)(書・一・二五)

瑞巌開堂錄 ❶(日)Sui-ō-kam-mu-roku. ❷一卷 ❸存 ❹五嶽玄鈴(一安政三 A. D. 1856—)記 ❺大正一四寫 ❻(國大)

瑞雲錄 ❶(日) Sui-yo-kō. 圓山圓雲第 ❷一卷 ❸存 ❹石鼎(一貫文政以A. D. 1661—1672—) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌了意禪師語要 ❶(日) Sui-an-ryō-en-zen-ji-go-yō. (支) Shui-an-liao-yen-ch'an-shih-yü-yao. ❸存 卍續二一・二四・一 ❹近代禪家了意

❹禪家了意禪師は、肥山の大龍寺巖頭に嗣ぎ、福岡下十六寺の法席として盛名於是に在り、圓に肥山にて示寂せるを以て世に肥山と稱せらる。其の上堂語要十數卷、之を刊行せずして、肥山に於ける門人の手に依て保存せられたるものがある。

(大谷保彥)

瑞巌錄 ❶(日)Sui-shi-roku. 臨濟宗

瑞巌初會錄 ❶(日) Sui-an-sho-e-roku. ❷四卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿一二 A. D. 1630—1698) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌語話 ❶(日)Sui-an-sen-go. ❷二卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿一二 A. D. 1630—1698) ❺寫寶九刊 ❻(國大)(訪史)(國大)

瑞巌會集 ❶(日) Sui-an-so-kō. ❷一卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿一二 A. D. 1630—1698) ❺寫寶五刊 ❻(國大)(書・一・二五)

瑞鈴開堂錄 ❶(日)Sui-ō-kam-mu-roku. ❷一卷 ❸存 ❹五嶽玄鈴(一安政三 A. D. 1856—)記 ❺大正一四寫 ❻(國大)

瑞雲錄 ❶(日) Sui-yo-kō. 圓山圓雲第 ❷一卷 ❸存 ❹石鼎(一貫文政以A. D. 1661—1672—) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌了意禪師語要 ❶(日) Sui-an-ryō-en-zen-ji-go-yō. (支) Shui-an-liao-yen-ch'an-shih-yü-yao. ❸存 卍續二一・二四・一 ❹近代禪家了意

❹禪家了意禪師は、肥山の大龍寺巖頭に嗣ぎ、福岡下十六寺の法席として盛名於是に在り、圓に肥山にて示寂せるを以て世に肥山と稱せらる。其の上堂語要十數卷、之を刊行せずして、肥山に於ける門人の手に依て保存せられたるものがある。

(大谷保彥)

瑞巌錄 ❶(日)Sui-shi-roku. 臨濟宗

人(國大)

瑞巌初會錄 ❶(日) Sui-an-sho-e-roku. ❷四卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿一二 A. D. 1630—1698) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌語話 ❶(日)Sui-an-sen-go. ❷二卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿一二 A. D. 1630—1698) ❺寫寶九刊 ❻(國大)(訪史)(國大)

瑞巌會集 ❶(日) Sui-an-so-kō. ❷一卷 ❸存 ❹風叟玄采(貫休七一元祿一二 A. D. 1630—1698) ❺寫寶五刊 ❻(國大)(書・一・二五)

瑞鈴開堂錄 ❶(日)Sui-ō-kam-mu-roku. ❷一卷 ❸存 ❹五嶽玄鈴(一安政三 A. D. 1856—)記 ❺大正一四寫 ❻(國大)

瑞雲錄 ❶(日) Sui-yo-kō. 圓山圓雲第 ❷一卷 ❸存 ❹石鼎(一貫文政以A. D. 1661—1672—) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌了意禪師語要 ❶(日) Sui-an-ryō-en-zen-ji-go-yō. (支) Shui-an-liao-yen-ch'an-shih-yü-yao. ❸存 卍續二一・二四・一 ❹近代禪家了意

❹禪家了意禪師は、肥山の大龍寺巖頭に嗣ぎ、福岡下十六寺の法席として盛名於是に在り、圓に肥山にて示寂せるを以て世に肥山と稱せらる。其の上堂語要十數卷、之を刊行せずして、肥山に於ける門人の手に依て保存せられたるものがある。

(大谷保彥)

瑞巌錄 ❶(日)Sui-shi-roku. 臨濟宗

瑞巌錄 ❶(日) Zui-ō-shū-roku. (支)Jui-ying-chi-lu. 貞和頃臨濟僧 ❷二卷 ❸存 ❹明末僧元賢(貫休六一永曆一二 A. D. 1578—1657) ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌錄錄集 ❶(日) Zui-ō-jin-ro-shū. ❷六卷 ❸存 ❹圓滿無礙(一享保一五 A. D. 1730—) ❺享保一八刊 ❻(國大)(二・九九・一〇一)(國大)(書・一・二四)(國大)(訪史・一〇)(國大)(書・一・二四六)

瑞巌開堂如幻正覺禪師 ❶(日)Zui-ō-ha-ku-nyo-sō-jō-den. ❷一冊 ❸存 ❹(國大)(書・三)

瑞巌開堂如幻正覺禪師 ❶(日) Zui-ō-ha-ku-nyo-sō-jō-nem-pu. 瑞巌寺正伯如幻和尚年譜 ❷一卷 ❸存 ❹德韶(一元祿頃 A. D. 1688—1703—)撰 ❺寶永四刊

瑞巌寺和尚語錄 ❶(日) Zui-gan-o-shō-go-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷一卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠和尚(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕北禪僧目

瑞巌寺山高源淨和尚之行實 ❶(日) Zui-gan-zan-kō-gen-ji-on-kei-o-shō-no-gyō-jitsu. ❸存 ❹卷末缺 ❺三師辻善(國大)

瑞巌寺錄 ❶(日)Zui-gan-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷一卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠和尚(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌龍眠和尚語錄 ❶(日)Zui-gan-ryū-shō-o-shō-go-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷三卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞華叟錄 ❶(日)Zui-ke-sō-dan. ❷一卷 ❸存 ❹曾我部叟(一文化頃 A. D. 1804—1829—)撰 ❺明治一五刊 ❻(國大)(訪史・一九)(國大)(書・一・二五)

瑞嶽集 ❶(日) Zui-kei-shū. ❸存 ❹卽空 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞溪和尚語錄 ❶(日) Zui-kei-o-shō-go-roku. ❷二卷 ❸存 ❹瑞溪周鳳(明德二—文明五 A. D. 1391—1473)語 ❺〔參考〕北禪僧目錄 臨濟日錄

瑞源記正文 ❶(日) Zui-gen-ki-shō-mon. 因明論疏瑞源記正文 ❷一卷 ❸存 ❹眞盛撰錄

瑞光慶之和尚語錄 ❶(日) Zui-kō-on-shi-o-shō-go-roku. ❸存 ❹慶之宣(貫文三—享保一四 A. D. 1663—1729)語 心宗禪日錄 ❺寬延三刊 ❻(國大)

瑞光慶之和尚年譜幷受子錄共 辨 ❶(日) Zui-kō-on-shi-o-shō-nem-pu-tsuketari-ju-shi-roku-jo-ben. ❷一卷 ❸存 ❹崔來輝 ❺明和四刊 ❻(國大)

瑞岡珍牛禪師 ❶(日)Zui-kō-chin-gyū-zen-ji. ❷一卷 ❸存 ❹國戶完來輯 ❺大正一〇刊 ❻(國大)

瑞巌開山真介禪師語錄 ❶(日) Zui-gan-kai-san-shin-kai-zen-ji-go-roku. (支) Jui-yen-shu-chung-ho-shang-yü-lu. 瑞巌開山真介禪師語錄、瑞巌中和尚語錄、瑞巌中興開山真介和尚語錄 ❷六卷 ❸存、卍續二一・二八・五 ❹開寶寺(瑞巌中興開山真介和尚)(至德元—永德 A. D. 1384—1387)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

❹瑞巌中興開山真介和尚語錄の下を見よ。 ❺寬延二刊 ❻(國大)

瑞巌語錄和尚語錄 ❶(日)Zui-gan-shō-rin-o-shō-go-roku. ❸存 ❹臨濟龍眠 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌禪師行狀記 ❶(日) Zui-gan-zen-ji-gyō-dō-ki. ❷一卷 ❸存、續群書類從九 ❹龍眠記 ❺至德四 (A. D. 1460)

❹室町幕府六代の將、龍泉令淬の行狀記であつて、幼年時代の法侶四もなく認めたものである。其の大要を記せば瑞巌は至德元年癸酉に生る、龍泉に從じて出家し、其の後に大いて法兄なる一華に參ずること數年、一華寂後、少林宗雅等に見ゝ、年五十餘にして建仁寺の塔頭靈泉院の住職に任じ、次で瑞巌和尚の遺命に遵ひ、永享四年瑞巌寺に入り、其の後も五山の上位たる南禪寺に入らんことを乞ふも辛くして辭して可ふず、京都に於て寂す、門弟等相謀りて、之を瑞巌寺の一主に埋葬せりと、後に嘉吉二年十七回忌に當り、龍泉令淬の門弟等相謀りて、之を記して法孫に傳へたものである。

瑞巌龍眠和尚語錄 ❶(日)Zui-gan-ryū-shō-o-shō-go-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷三卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

❹瑞巌中興開山真介和尚語錄の下を見よ。 ❺寬延二刊 ❻(國大)

瑞華叟錄 ❶(日)Zui-ke-sō-dan. ❷一卷 ❸存 ❹曾我部叟(一文化頃 A. D. 1804—1829—)撰 ❺明治一五刊 ❻(國大)(訪史・一九)(國大)(書・一・二五)

瑞嶽集 ❶(日) Zui-kei-shū. ❸存 ❹卽空 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞溪和尚語錄 ❶(日) Zui-kei-o-shō-go-roku. ❷二卷 ❸存 ❹瑞溪周鳳(明德二—文明五 A. D. 1391—1473)語 ❺〔參考〕北禪僧目錄 臨濟日錄

瑞源記正文 ❶(日) Zui-gen-ki-shō-mon. 因明論疏瑞源記正文 ❷一卷 ❸存 ❹眞盛撰錄

瑞光慶之和尚語錄 ❶(日) Zui-kō-on-shi-o-shō-go-roku. ❸存 ❹慶之宣(貫文三—享保一四 A. D. 1663—1729)語 心宗禪日錄 ❺寬延三刊 ❻(國大)

瑞光慶之和尚年譜幷受子錄共 辨 ❶(日) Zui-kō-on-shi-o-shō-nem-pu-tsuketari-ju-shi-roku-jo-ben. ❷一卷 ❸存 ❹崔來輝 ❺明和四刊 ❻(國大)

瑞岡珍牛禪師 ❶(日)Zui-kō-chin-gyū-zen-ji. ❷一卷 ❸存 ❹國戶完來輯 ❺大正一〇刊 ❻(國大)

瑞巌開山真介禪師語錄 ❶(日) Zui-gan-kai-san-shin-kai-zen-ji-go-roku. (支) Jui-yen-shu-chung-ho-shang-yü-lu. 瑞巌開山真介禪師語錄、瑞巌中和尚語錄、瑞巌中興開山真介和尚語錄 ❷六卷 ❸存、卍續二一・二八・五 ❹開寶寺(瑞巌中興開山真介和尚)(至德元—永德 A. D. 1384—1387)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

❹瑞巌中興開山真介和尚語錄の下を見よ。 ❺寬延二刊 ❻(國大)

瑞巌語錄和尚語錄 ❶(日)Zui-gan-shō-rin-o-shō-go-roku. ❸存 ❹臨濟龍眠 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌禪師行狀記 ❶(日) Zui-gan-zen-ji-gyō-dō-ki. ❷一卷 ❸存、續群書類從九 ❹龍眠記 ❺至德四 (A. D. 1460)

❹室町幕府六代の將、龍泉令淬の行狀記であつて、幼年時代の法侶四もなく認めたものである。其の大要を記せば瑞巌は至德元年癸酉に生る、龍泉に從じて出家し、其の後に大いて法兄なる一華に參ずること數年、一華寂後、少林宗雅等に見ゝ、年五十餘にして建仁寺の塔頭靈泉院の住職に任じ、次で瑞巌和尚の遺命に遵ひ、永享四年瑞巌寺に入り、其の後も五山の上位たる南禪寺に入らんことを乞ふも辛くして辭して可ふず、京都に於て寂す、門弟等相謀りて、之を瑞巌寺の一主に埋葬せりと、後に嘉吉二年十七回忌に當り、龍泉令淬の門弟等相謀りて、之を記して法孫に傳へたものである。

瑞巌龍眠和尚語錄 ❶(日)Zui-gan-ryū-shō-o-shō-go-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷三卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞華叟錄 ❶(日)Zui-ke-sō-dan. ❷一卷 ❸存 ❹曾我部叟(一文化頃 A. D. 1804—1829—)撰 ❺明治一五刊 ❻(國大)(訪史・一九)(國大)(書・一・二五)

瑞嶽集 ❶(日) Zui-kei-shū. ❸存 ❹卽空 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞溪和尚語錄 ❶(日) Zui-kei-o-shō-go-roku. ❷二卷 ❸存 ❹瑞溪周鳳(明德二—文明五 A. D. 1391—1473)語 ❺〔參考〕北禪僧目錄 臨濟日錄

瑞源記正文 ❶(日) Zui-gen-ki-shō-mon. 因明論疏瑞源記正文 ❷一卷 ❸存 ❹眞盛撰錄

瑞光慶之和尚語錄 ❶(日) Zui-kō-on-shi-o-shō-go-roku. ❸存 ❹慶之宣(貫文三—享保一四 A. D. 1663—1729)語 心宗禪日錄 ❺寬延三刊 ❻(國大)

瑞光慶之和尚年譜幷受子錄共 辨 ❶(日) Zui-kō-on-shi-o-shō-nem-pu-tsuketari-ju-shi-roku-jo-ben. ❷一卷 ❸存 ❹崔來輝 ❺明和四刊 ❻(國大)

瑞岡珍牛禪師 ❶(日)Zui-kō-chin-gyū-zen-ji. ❷一卷 ❸存 ❹國戶完來輯 ❺大正一〇刊 ❻(國大)

瑞巌開山真介禪師語錄 ❶(日) Zui-gan-kai-san-shin-kai-zen-ji-go-roku. (支) Jui-yen-shu-chung-ho-shang-yü-lu. 瑞巌開山真介禪師語錄、瑞巌中和尚語錄、瑞巌中興開山真介和尚語錄 ❷六卷 ❸存、卍續二一・二八・五 ❹開寶寺(瑞巌中興開山真介和尚)(至德元—永德 A. D. 1384—1387)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

❹瑞巌中興開山真介和尚語錄の下を見よ。 ❺寬延二刊 ❻(國大)

瑞巌語錄和尚語錄 ❶(日)Zui-gan-shō-rin-o-shō-go-roku. ❸存 ❹臨濟龍眠 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌禪師行狀記 ❶(日) Zui-gan-zen-ji-gyō-dō-ki. ❷一卷 ❸存、續群書類從九 ❹龍眠記 ❺至德四 (A. D. 1460)

❹室町幕府六代の將、龍泉令淬の行狀記であつて、幼年時代の法侶四もなく認めたものである。其の大要を記せば瑞巌は至德元年癸酉に生る、龍泉に從じて出家し、其の後に大いて法兄なる一華に參ずること數年、一華寂後、少林宗雅等に見ゝ、年五十餘にして建仁寺の塔頭靈泉院の住職に任じ、次で瑞巌和尚の遺命に遵ひ、永享四年瑞巌寺に入り、其の後も五山の上位たる南禪寺に入らんことを乞ふも辛くして辭して可ふず、京都に於て寂す、門弟等相謀りて、之を瑞巌寺の一主に埋葬せりと、後に嘉吉二年十七回忌に當り、龍泉令淬の門弟等相謀りて、之を記して法孫に傳へたものである。

瑞巌寺錄 ❶(日)Zui-gan-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷一卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

瑞巌寺山高源淨和尚之行實 ❶(日) Zui-gan-zan-kō-gen-ji-on-kei-o-shō-no-gyō-jitsu. ❸存 ❹卷末缺 ❺三師辻善(國大)

瑞巌寺錄 ❶(日)Zui-gan-roku. 瑞巌龍眠和尚語錄 ❷一卷 ❸存 ❹瑞巌龍眠(至德元—享祿四 A. D. 1384—1460)語 ❺〔參考〕臨濟日錄

隨意觀法集 ❶(日) Zui-i-kwam-bō-shū. 隨意觀法抄 ❷1卷 ❸存 ❹國仁(延應1三一貞觀六 A. D. 794—864)撰 ❺〔參考〕 山家三祖遺跡顯露目錄卷上 ❻文久11刊 ❼(華藏院)

隨意觀法集 ❶(日)Zui-i-kwam-bō-shū. ❷最澄(天應九一弘仁六 A. D. 955—1037)撰 ❸〔參考〕 山家三祖遺跡顯露目錄卷下

隨意觀法抄 ❶(日) Zui-i-kwam-bō-shō. 隨意觀法鈔 ❷1卷 ❸存 ❹國仁(延應1三一貞觀六 A. D. 794—864)撰 ❺〔參考〕 本朝台三祖遺跡目錄

隨意入願文 ❶(日) Zui-i-hachi-gwam-mon. ❷1卷 ❸最澄(天應五一貞元十七 A. D. 942—1017)撰 ❹〔參考〕 淨土依憑經論章疏目錄

隨意別行文 ❶(日)Zui-i-betsu-gyō-mon. ❷1卷 ❸明實 ❹〔參考〕 淨土依憑經論章疏目錄

隨意別願文 ❶(日) Zui-i-betsu-gwam-mon. ❷1卷 ❸存 ❹高辨(承安三一貞永元 A. D. 1173—1232)撰 ❺〔參考〕 諸宗章疏錄卷廿二、大日本佛教全書遊刊書史部目

隨緣集 ❶(日)Zui-en-shaku. 御天合座主抄 法門主宰遍大僧正行實記、遍寶大僧正行實記 ❷三卷 ❸存 ❹貞舜(寬永四一寬永五 A. D. 1627—1628)撰 ❺明治三八刊 ❻(續大一二九六五•一三六)(帝國一八七•三五九六)(續山文遺)

隨緣集 ❶(日)Zui-en-shū. (支) Sui-yüan-chi. ❷四卷 ❸存、卍續二•六•五

隨緣所生觀門 ❶(日) Zui-en-sho-shō-kwam-mon. ❷1帖 ❸存 ❹證川尊代寫 ❺(東叡院)

隨緣法話集 ❶(日) Zui-en-hō-wa-shū. ❸存、的門上人全集卷一

隨緣問答集 ❶(日)Zui-em-mon-dō-shū. ❷八卷 ❸存 ❹刊本(谷大、宗大•二九四八)

隨意上人傳 ❶(日) Zui-ō-shō-nin-den. ❸存、隨舊鈔大師初學諸師傳附錄 ❹大正六刊 ❺(續大、昧庵)

隨園書流 ❶(日) Zui-kan-on-sho. (支)Sui-han-yin-su. ❷九十九卷 ❸〔參考〕 真言學經目錄卷上

隨園錄攷 ❶(日)Zui-kan-roku-kō. ❸存、況齋叢書卷八〇 ❹阿部秦(寬政一明治一一 A. D. 1797—1878)著 ❺大藏經の音義に關する叙述。 ❻刊本(帝國一八九•二四三)

隨園錄前序書義 ❶(日) Zui-kan-roku-zen-jo-on-gi. (支)Sui-han-lu-ch'ien-hsü-yin-i. 新撰隨園帝鑑圖說前序音義 ❷1卷 ❸存 ❹寫本(宮大、讀•二四ス•1)

隨意聲請名成佛決義三昧儀 ❶(日)Zui-ki-shō-myō-jō-butsu-ketsu-gi-sam-mai-gi. 宥誌圓意聲請名成佛決義三昧儀 ❷1卷 ❸存 ❹增川宮旭註 ❺明治九刊 ❻(帝國、1四三•1二九)

隨意聲請名成佛決義三昧儀疏 ❶(日)Zui-ki-shō-myō-jō-butsu-ketsu-gi-sam-mai-gi-sho. ❷1卷 ❸存 ❹增川興旭述、鈴野勝超(白金)校 ❺明治1三刊 ❻(龍大、三六七•七九、1三)(谷大、傳大•11五九三(帝國、七•九〇(續大)

隨意聲請名成佛決義三昧儀要抜幸 ❶(日)Zui-ki-shō-myō-jō-butsu-ketsu-gi-rann-yō-bas-sui. ❷1帖 ❸存 ❹增川興旭撰 ❺(帝國、1四四•三11六)

隨意他事義 ❶(日) Zui-ki-ta-zen-gi. ❷1卷 ❸存 ❹行誉(文化三一明治11 A. D. 1806—1888)述 ❺寫本三刊 ❻(龍大、1五五七•四〇、四三、四七、四九五1)(龍大、昧庵)

隨行一尊供養法 ❶(日) Zui-gyō-is-son-ku-yō-hō. ❷二帖 ❸存 ❹寫本(高大、等•1•六六)

隨行一尊法 ❶(日)Zui-gyō-is-son-hō. ❷1帖 ❸存 ❹寫本(金剛三昧院)

隨行口訣 ❶(日)Zui-gyō-ku-ketsu. ❷三帖 ❸存 ❹證川尊代寫 ❺(東叡院)

隨行三摩地儀軌 ❶(日)Zui-gyō-sam-ma-ji-ryō-gi-ki. ❷1卷 ❸存 ❹刊本(續大)

隨行次第 ❶(日) Zui-gyō-shi-dai. ❷圓仁(延應1三一貞觀六 A. D. 794—864)撰 ❸本朝台三祖遺跡顯露目錄 ❹「由阿闍行、故云、大遍教、高大云、次第也」

隨行私記 ❶(日)Zui-gyō-shi-ki. ❷圓仁(延應1三一貞觀六 A. D. 794—864)述 ❸〔參考〕 本朝台三祖遺跡顯露目錄

隨行私記 ❶(日)Zui-gyō-shi-ki. ❷良源(貞元11—永祚四 A. D. 977—1049)述 ❸本朝台三祖遺跡顯露目錄 ❹「由アニ云。以三昧大阿闍梨、高大云、之次第。而發心所依?弘記此發心、高大云、故。」

隨行私記 ❶(日)Zui-gyō-shi-ki. ❸本朝台三祖遺跡顯露目錄 ❹「發心ノアヤマチ云。隨行私記高大云、故、抄之。其行ス。用不ン委。仍用今記、文。池上發心記ヲ考ルニ、云々」

隨行私記 ❶(日)Zui-gyō-shi-ki. ❷三卷 ❸存、大日本佛教全書第三五冊發揮鈔之內 ❹宋慶(元久11—弘安五 A. D. 1205—1282)抄

隨行法私記 ❶(日)Zui-gyō-hō-shi-ki. ❷1卷 ❸存 ❹孝俊(元寫 ❺(東叡院)

隨行事軌 ❶(日)Zui-gyō-yō-ki. ❷六卷 ❸存 ❹(汉寫)

隨求經 ❶(日)Zui-gu-kyō. (支) Sui-ch'iu-ching. 普遍光明清淨熾盛如意寶印心無垢廣大明王大陀羅尼經、普遍光明大陀羅尼經、隨求經 ❷三卷 ❸存 ❹(帝國、1四三•111九)

隨求如意經 ❶(日) Zui-gu-nyo-i-kyō. (支)Sui-ch'iu-ju-i-ching. 普遍一切因大陀羅尼經、普遍光明清淨熾盛如意寶印心無垢廣大明王陀羅尼經、隨求如意陀羅尼經、普遍光明大陀羅尼經 ❷1卷 ❸存、大正二1•九1八No. 1402、續成八、卍1五•二、北1119、南1136、宋1129、明北793、南793、麗1116、天1225、法1231、西758、明南801、Nj. 798 ❹遍智譯 ❺宋太平興國五癸(A. D. 980—) ❻普遍一切因大陀羅尼經の下を見よ。

隨求若薩愍憊憧 ❶(日)Zui-gu-bo-satsu-kann-ō-den. ❷三卷 ❸存 ❹超海 ❺寶保三刊 ❻(谷大、傳大•三四二八)(正大、1〇三三•七二)(高大、等•1•三四)(宮大、讀•1九ス•1)(續、ヤ•七•左•1)

隨求法 ❶(日) Zui-gu-hō. ❷1卷 ❸存、大日本佛教全書第四八卷續抄之內 ❹慶賀(寬治二一建暦二後 A. D. 1143—1212—)抄 ❺建仁時代寫 ❻(東叡院)

隨願往生經 ❶(日)Zui-gwan-ō-jō-kyō. (支)Sui-yüan-wang-shêng-ching. ❷1卷 ❸(續藏經1) ❹(參考) 法藏碎金11、十諸經卷四

隨願往生經 ❶(日)Zui-gwan-ō-jō-kyō. (支) Sui-yüan-wang-shêng-ching. 淨頂普願往生十方佛土經、淨土普願往生十方佛土經、普願淨土經 ❷1卷 ❸存、淨頂普願經(大正一二•五二八 No. 1331, 11) ❹東京帝大寫(參照一永寶元

隨求經 ❶(日)Zui-gu-kyō. (支) Sui-ch'iu-ching. 普遍光明清淨熾盛如意寶印心無垢廣大明王大陀羅尼經、普遍光明大陀羅尼經、隨求經 ❷1卷 ❸存、大正二〇•六三七No. 1154、續成五、卍二1•五、北458、南471、宋465、明北493行、南493行、麗461、天464、朝410、法446、西646、明南463行、Nj. 497 ❹寶思惟譯 ❺唐宋音11(A. D. 693)

隨求護摩次第 ❶(日) Zui-gu-go-ma-shi-dai. ❷一帖 ❸存 ❹足利時代寫 ❺(東叡院)

隨求即得最高勝儀軌 ❶(日) Zui-gu-soku-toku-shin-gon-gi-ki. (支) Sui-ch'iu-chi-tê-chên-yen-i-kuei. 金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌、隨求即得大自在陀羅尼成佛儀軌、隨求即得持誦觀門持成就陀羅尼儀軌 ❷一卷 ❸存、大正二〇•六四四No. 1155 ❹不空(唐開元一天寶九A. D. 705—774)譯 ❺唐天寶五一大曆九年(A. D. 746—774) ❻金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌の下を見よ。

隨求即得大自在陀羅尼神呪經 ❶(日)Zui-gu-soku-toku-dai-ji-zai-da-ra-ni-jin-shu-kyō. (支)Sui-ch'iu-chi-tê-ta-tzŭ-tsai-t'o-lo-ni-shên-chou-ching. 隨求即得大自在呪、隨求經 ❷1卷 ❸存、大正二〇•六三七No. 1154、續成五、卍二1•五、北458、南471、宋465、明北493行、南493行、麗461、天464、朝410、法446、西646、明南463行、Nj. 497 ❹寶思惟譯 ❺唐宋音11(A. D. 693)

隨求即得最高勝儀軌 ❶(日) Zui-gu-soku-toku-shin-gon-gi-ki. (支) Sui-ch'iu-chi-tê-chên-yen-i-kuei. 金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌、隨求即得大自在陀羅尼成佛儀軌、隨求即得持誦觀門持成就陀羅尼儀軌 ❷一卷 ❸存、大正二〇•六四四No. 1155 ❹不空(唐開元一天寶九A. D. 705—774)譯 ❺唐天寶五一大曆九年(A. D. 746—774) ❻金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌の下を見よ。

隨求即得持誦觀門 ❶(日) Zui-gu-soku-toku-jim-ben-da-ra-ni-gi-ki. (支) Sui-ch'iu-chi-tê-shên-pien-t'o-lo-ni-i-kuei. 金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌、隨求即得大自在陀羅尼成佛儀軌、隨求即得持誦觀門持成就陀羅尼儀軌 ❷一卷 ❸存、大正二〇•六四四No. 1155 ❹不空(唐開元一天寶九A. D. 705—774)譯 ❺唐天寶五一大曆九年(A. D. 746—774) ❻金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌の下を見よ。 ❼元本二冠 ❽(東叡院)

隨求即得大自在陀羅尼神呪經 ❶(日)Zui-gu-soku-toku-dai-ji-zai-da-ra-ni-jin-shu-kyō. (支)Sui-ch'iu-chi-tê-ta-tzŭ-tsai-t'o-lo-ni-shên-chou-ching. 隨求即得大自在呪、隨求經 ❷一卷 ❸存、大正二〇•六三七No. 1154、續成五、卍二1•五、北458、南471、宋465、明北493行、南493行、麗461、天464、朝410、法446、西646、明南463行、Nj. 497 ❹寶思惟譯 ❺唐宋音11(A. D. 693)

隨求即得最高勝儀軌 ❶(日) Zui-gu-soku-toku-shin-gon-gi-ki. (支) Sui-ch'iu-chi-tê-chên-yen-i-kuei. 金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌、隨求即得大自在陀羅尼成佛儀軌、隨求即得持誦觀門持成就陀羅尼儀軌 ❷一卷 ❸存、大正二〇•六四四No. 1155 ❹不空(唐開元一天寶九A. D. 705—774)譯 ❺唐天寶五一大曆九年(A. D. 746—774) ❻金剛頂瑜伽最勝秘密成佛儀軌の下を見よ。

隨求陀羅尼 ❶(日) Zui-gu-da-ra-ni. (支) Sui-ch'iu-t'o-lo-ni. ❷1卷 ❸〔參考〕 真言陀羅尼部諸家敎法目錄

隨求陀羅尼經 ❶(日) Zui-gu-da-ra-ni-kyō. (支) Sui-ch'iu-t'o-lo-ni-ching. 普遍光明清淨熾盛如意寶印心無垢廣大明王大陀羅尼經、普遍光明大陀羅尼經、隨求經 ❷1卷或二卷 ❸存、大正二〇•六1六No. 1153、續成九、卍1六•七、麗1375、朝1037、明北1037、明南1050、Nj. 1042 ❹唐不空(唐開元一天寶九A. D. 705—774)譯 ❺普遍光明清淨熾盛如意寶印心無垢廣大明王陀羅尼經の下を見よ。

隨求陀羅尼經抄 ❶(日)Zui-gu-da-ra-ni-kyō-shō. 金剛頂隨求陀羅尼經抄 ❷三卷 ❸存 ❹俊芿(宋建久八—嘉定一〇 A. D. 1197—1217)撰 ❺〔參考〕 諸宗章疏錄卷廿三

隨求陀羅尼科註 ❶(日)Zui-gu-da-ra-ni-kwa-chū. 隨求陀羅尼經抄 ❷三卷 ❸存 ❹俊芿(宋建久八—嘉定一〇 A. D. 1197—1217)撰

隨求陀羅尼經疏 ❶(日)Zui-gu-da-ra-ni-kyō-sho. 金剛頂隨求陀羅尼經疏 ❷三卷 ❸存 ❹慧琳(唐貞元一元和八 A. D. 785—820)撰 ❺元和三刊 ❻(龍大、昧庵)

一未譯完 A. D. 307—322—)譯 ❹(參考) 開元釋教錄一六〝一七〟貞元續錄三六〝序土 續宗教全書卷一 ❺存 ❻(宋大〝藏・一四ノ・七)(南〝く・一・お・一七)

隨願往生淨土記 ❶(日) Zui-gwan-ō-jō-kyō-ki. (支) Sui-yüan-wang-shêng-ching-chi. 隨願往生淨土記 ❷一卷 ❸新撰本一緒 ❹(參考) 念佛證據 ❺一切經通用目錄2226

隨願往生集 ❶(日) Zui-gwan-ō-jō-shū. (支)Sui-yüan-wang-shêng-chi. ❷二十卷 ❸佚書 ❹(參考) 新編諸宗教藏總錄卷三

隨軍護法軌 ❶(日)Zui-gun-go-hō-ki. (支)Sui-chün-hu-fa-kuei. 北方毘沙門天王隨軍護法儀軌〝毘沙門天王隨軍護法儀言 ❷一卷 ❸存〝大正二一・二二四 No. 1247〝續藏二一・卍續一・三・三 ❹唐不空(譯 定一大曆元 A. D. 705—774)譯 ❺北方毘沙門天王隨軍護法儀軌の下を見よ。 ❻(宗通)

隨見書記 ❶(日) Zui-ken-sho-ki. ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東福院)

隨見聞記 ❶(日) Zui-kem-mon-ki. ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東福院)

隨筆雜記 ❶(日) Zui-gō-zak-ki. ❷一冊 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東福院)

隨求女經 ❶(日) Zui-gon-nyo-kyō. (支)Sui-ch'üan-nü-ching. ❷二卷 ❸缺 ❹(參考) 仁壽續開元釋教錄卷五〝靜泰續開元釋教錄卷五

隨自意觀法 ❶(日) Zui-ji-i-kwam-bō. ❷三卷 ❸存 ❹鈴口觀

隨自意三昧 ❶(日) Zui-ji-i-sam-mai. (支)Sui-tzŭ-i-san-mei. ❷一卷 ❸存〝卍續二・三・四 ❹所謂隨自意三昧(東晉 西曆一三六年 A. D. 515—577)造

❺隨自意三昧とは華嚴經に明す四種三昧の第四普行三昧と異名同體である。今この三昧の名は修習の意によつてつけたもの。天台大師は大品般若經の意によつてこの三昧の名を普賢三昧と名づけ〝華嚴三昧といふ著作をなし〝法華經は大師は首楞嚴經の意によつて本書を作つた。故に本書は同一。今經はこの三書をその依經に相違がある。本書は人師(西晉竺法護)を以つて學說としてゐるが〝これ學說思想を明確にしてゐることを示したもの〝本書は大乘に於て初心の學徒が大乘經典を學ぶには最も必要な一書である。本書は大乘の四種三昧と大乘の行位とを一對一に配當し〝大乘の行位を明かにするには行住坐臥の四威儀と言語との三業に〝亦く體空觀に大乘の行位ありとし〝又大乘經典の大部分は此の三昧の何れかに屬してゐるから〝本書は大乘經典を讀むための入門書として大乘佛教學徒必讀の書である。但し注意を要するは〝本書が首楞嚴經によつたために其の記述は始んど三昧全部ではなく〝本書の大品般若經の大品から成つてゐる。

隨自意三昧行儀撰品 ❶(日) Zui-ji-i-sam-mai-gyō-i-gi-hon. ❷一卷 ❸存 ❹(宋大〝藏・一・中・一一)

隨自意別願 ❶(日) Zui-ji-i-betsu-gwan. ❷一卷 ❸佚書(天慶五—貞仁元定 A. D. 942—1017)撰 ❹(參考) 山家三祖撰述目錄卷下

隨承祕 ❶(日)Zui-shō-shō. ❷二卷 ❸(參考) 本朝台祖撰述都會目

隨修記 ❶(日) Zui-jō-ki. 隨修勤記 ❷一卷 ❸同七(延曆一三—貞觀六 A. D. 794—864) ❹(參考) 本朝台祖撰述都會目

隨修勤記 ❶(日)Zui-jō-chi-ki. 隨修勤記 ❷一卷 ❸同七(延曆一三—貞觀六 A. D. 794—864)撰 ❹(參考) 山家三祖撰述都會目錄卷上

隨心陀三部神傳 ❶(日) Zui-shin-a-sam-bu-sō-den. ❷一帖 ❸存 ❹慶長(寫本)(東福院)

隨心陀流印信 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-in-jin. ❷存 ❸德川時代寫 ❹(東福院)

隨心陀流印信口傳表白博表傳受目錄 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-in-jin-ku-den-o-yobi-den-ju-moku-roku. ❷二帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東福院)

隨心陀流傳受目錄 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-den-ju-moku-roku. ❷五卷 ❸(參考) 大乘院寺社雜事記目錄〝實隆公記目錄卷下〝諸流傳受歷名目錄卷上 ❹元德七刊 ❺(正大〝一三四・一)(日會通寫)

隨心陀流傳受目錄(一大正三 A. D. 1914)撰 ❷五卷 ❸存 ❹諸流通寫 ❺隨心陀流傳受目錄の記錄にして〝初に作者〝未に四度・許可・傳法・五部三昧耶・初二三重許印信の口決をのせ〝後に師資一人不共大事(觀四智・普賢菩薩)の口決を記したものの。

隨心陀流傳授目錄裡閒 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-den-ju-moku-roku-fu-ketsu. ❷二卷 ❸存 ❹諸流通寫(一大正三 A. D. 1914)撰 ❺隨心陀流傳受目錄の裡閒にして〝上卷に四度・初度・許可・傳法・二重・四重許印・印口・學位傳・水下部。下卷に水下・結緣水下・息災護摩供・本尊護摩軌・護摩・其次第下・金剛水下の各項を記す。

隨心金剛 ❶(日) Zui-shin-kon-gō. ❷一帖 ❸存 ❹足利時代寫 ❺(東寺寶菩提院)

隨心金剛次第 ❶(日)Zui-shin-kon-gō-shi-dai. 隨心金剛次第 ❷一帖 ❸存〝日本大藏經續帖四四四所收言寺相承隨筆一 ❹天德法(寶龜五—承和二 A. D. 774—835)口〝結緣(寶龜二〇—元慶三 A. D. 801—879)記 ❺天德八寺 ❻(金剛三昧院)

隨心金剛寺 ❶(日) Zui-shin-kon-gō-tō. ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東寺寶菩提院)

隨心金剛次第 ❶(日) zui-shin-kon-gō-shi-dai. 如意寶法 ❷一卷 ❸存〝日本大藏經續言宗相承隨筆一 ❹天德法(寶龜五—承和二 A. D. 774—835)記〝結緣(寶龜二〇—元慶三 A. D. 801—879)記

❺(參考) 大乘院寺社雜事記目錄〝實隆公記目錄卷下〝諸流傳受歷名目錄卷上 ❻元德七刊 ❼(正大〝一三四・一)(日會通寫)

隨自意三昧行儀撰品 ❶(日) Zui-ji-i-sam-mai-gyō-i-gi-hon. ❷一卷 ❸存 ❹(宋〝ま・一・中・一一)

隨自意別願 ❶(日) Zui-ji-i-betsu-gwan. ❷一卷 ❸佚書(天慶五—貞仁元定 A. D. 942—1017)撰 ❹(參考) 山家三祖撰述目錄卷下

隨承祕 ❶(日)Zui-shō-shō. ❷二卷 ❸(參考) 本朝台祖撰述都會目

隨修記 ❶(日) Zui-jō-ki. 隨修勤記 ❷一卷 ❸同七(延曆一三—貞觀六 A. D. 794—864) ❹(參考) 本朝台祖撰述都會目

隨修勤記 ❶(日)Zui-jō-chi-ki. 隨修勤記 ❷一卷 ❸同七(延曆一三—貞觀六 A. D. 794—864)撰 ❹(參考) 山家三祖撰述都會目錄卷上

隨心陀三部神傳 ❶(日) Zui-shin-a-sam-bu-sō-den. ❷一帖 ❸存 ❹慶長(寫本)(東福院)

隨心陀流印信 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-in-jin. ❷存 ❸德川時代寫 ❹(東福院)

隨心陀流印信口傳表白博表傳受目錄 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-in-jin-ku-den-o-yobi-den-ju-moku-roku. ❷二帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東福院)

隨心陀流傳受目錄 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-den-ju-moku-roku. ❷五卷 ❸(參考) 大乘院寺社雜事記目錄〝實隆公記目錄卷下〝諸流傳受歷名目錄卷上 ❹元德七刊 ❺(正大〝一三四・一)(日會通寫)

隨心陀流傳授目錄裡閒 ❶(日) Zui-shin-in-ryū-den-ju-moku-roku-fu-ketsu. ❷二卷 ❸存 ❹諸流通寫(一大正三 A. D. 1914)撰 ❺隨心陀流傳受目錄の裡閒にして〝上卷に四度・初度・許可・傳法・二重・四重許印・印口・學位傳・水下部。下卷に水下・結緣水下・息災護摩供・本尊護摩軌・護摩・其次第下・金剛水下の各項を記す。

隨心金剛 ❶(日) Zui-shin-kon-gō. ❷一帖 ❸存 ❹足利時代寫 ❺(東寺寶菩提院)

隨心金剛次第 ❶(日)Zui-shin-kon-gō-shi-dai. 隨心金剛次第 ❷一帖 ❸存〝日本大藏經續帖四四四所收言寺相承隨筆一 ❹天德法(寶龜五—承和二 A. D. 774—835)口〝結緣(寶龜二〇—元慶三 A. D. 801—879)記 ❺天德八寺 ❻(金剛三昧院)

隨心金剛寺 ❶(日) Zui-shin-kon-gō-tō. ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東寺寶菩提院)

隨心金剛次第 ❶(日) zui-shin-kon-gō-shi-dai. 如意寶法 ❷一卷 ❸存〝日本大藏經續言宗相承隨筆一 ❹天德法(寶龜五—承和二 A. D. 774—835)記〝結緣(寶龜二〇—元慶三 A. D. 801—879)記

隨得集 ❶(日)Zui-toku-shū. ❷一卷 ❸存〝五山文學全集卷二 ❹龍泉周澤(延德二—永正五 A. D. 1309—1388)撰 ❺この集は天龍寺僧侶間最高尚周信の詩文集である〝周信平生の詩文を門人等が編集したもの。

隨筆譜 ❶(日)Zui-hitsu-zen. ❷一卷 ❸存 ❹鈴木大拙著 ❺昭和二刊 ❻東京大東閣

隨分讀經 ❶(日) Zui-bun-san-kyō. ❷一卷(寶龜五—承和二 A. D. 774—835) ❸(參考) 本朝台祖撰述都會目〝山家三祖撰述目錄卷上

隨文其語集 ❶(日) Zui-mom-bon-go-shū. ❷一卷 ❸安樂(承和八—延喜十 A. D. 841—901—)撰 ❹(參考) 安樂隨文其語目錄〝延曆寺安樂院歷代略傳〝山家三祖撰述目錄卷上〝本朝台祖撰述都會目

隨問試答 ❶(日) Zui-mon-shi-tō. ❷存〝續小部集卷五 ❸寬文(龍大〝許可)

隨問雜答論 ❶(日) Zui-mom-ben-waku-hen. ❷二卷 ❸存 ❹光啓(文德二—寬政九 A. D. 1720—1797)述 ❺安永二刊 ❻(龍大〝一五二〇・一八)

隨

隨相論 ❶(日) Zui-sō-ron. (支) Sui-hsiang-lun. 隨相論 隨相論 ❷一卷 ❸存〝大正三二・一五八 No. 1641〝續藏三〝卍二五・三〝北964〝南980〝宋976〝明北1273〝南1273〝麗959〝天969〝精926〝法953〝西1412〝明南1418〝Nj. 1280 ❹陳眞諦(承元元—太建元 A. D. 499—569)譯

❺梵語僧佉(Guṇamati) 即ち勝慧造の隨相論は佛令論の註釋である。西曆六百年中に佛令論の註釋隨相論及び此の論を更に簡單にした同名の論がアールヤアルダナ(Pūrṇavardhana) の造としてゐる。眞諦とは此の論を隨相論と譯し〝玄奘は隨相論と譯してゐる。

隨相論疏 ❶(日) Zui-sō-ron-sho. (支)Sui-hsiang-lun-su. ❷一卷 ❸(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2599

隨相論中偈十六頌 ❶(日) Zui-sō-ron-chū-ge-jū-roku-tai. (支) Sui-hsiang-lun-chung-chieh-shih-liu-ti. 隨相論中偈十六頌 ❷一卷 ❸梵本無著造 ❹隨相論の下參照 ❺(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2595〝2598

隨相論々中偈十六頌 ❶(日)Zui-sō-ron-ron-chū-ge-jū-roku-tai. (支) Sui-hsiang-lun-lun-chung-chieh-shih-liu-ti. 隨相論中偈十六頌 ❷一卷 ❸梵本無著造 ❹隨相論の下參照 ❺(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2597

隨智記 ❶(日) Zui-chi-ki. ❷一卷 ❸同七(延曆一三—貞觀六 A. D. 794—864) ❹(參考) 本朝台祖撰述都會目〝山家三祖撰述目錄卷上

❺梵本無著造(Guṇamati) 即ち勝慧造の隨相論は佛令論の註釋である。西曆六百年中に佛令論の註釋隨相論及び此の論を更に簡單にした同名の論がアールヤアルダナ(Pūrṇavardhana) の造としてゐる。眞諦とは此の論を隨相論と譯し〝玄奘は隨相論と譯してゐる。

佛令論(梵本)は十六頌から成つてゐる。此の論は十六頌の意味を解釋したもので〝初頌に十六行相の意義を擧げ〝次に十六行相の解釋(佛令論では初頌)の解と名も佛に十六行相の解と名づけてゐる。

隨智論 ❶(日) Zui-chi-ron. (支) Sui-chih-lun. 隨智論 ❷一卷 ❸存〝大正三二・一五八 No. 1642〝續藏三〝卍二五・三〝北965〝南981〝宋977〝明北1274〝南1274〝麗960〝天970〝精927〝法954〝西1413〝明南1419 ❹陳眞諦(承元元—太建元 A. D. 499—569)譯

❺梵本無著造(Guṇamati) 即ち勝慧造の隨相論は佛令論の註釋である。西曆六百年中に佛令論の註釋隨相論及び此の論を更に簡單にした同名の論がアールヤアルダナ(Pūrṇavardhana) の造としてゐる。眞諦とは此の論を隨相論と譯し〝玄奘は隨相論と譯してゐる。

佛令論(梵本)は十六頌から成つてゐる。此の論は十六頌の意味を解釋したもので〝初頌に十六行相の意義を擧げ〝次に十六行相の解釋(佛令論では初頌)の解と名も佛に十六行相の解と名づけてゐる。

隨智論疏 ❶(日) Zui-chi-ron-sho. (支)Sui-chih-lun-su. ❷一卷 ❸(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2597

隨智論中偈十六頌 ❶(日) Zui-chi-ron-chū-ge-jū-roku-tai. (支) Sui-chih-lun-chung-chieh-shih-liu-ti. 隨智論中偈十六頌 ❷一卷 ❸梵本無著造 ❹隨智論の下參照 ❺(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2597

隨智論々中偈十六頌 ❶(日)Zui-chi-ron-ron-chū-ge-jū-roku-tai. (支) Sui-chih-lun-lun-chung-chieh-shih-liu-ti. 隨智論中偈十六頌 ❷一卷 ❸梵本無著造 ❹隨智論の下參照 ❺(參考) 奈良朝現在一切經疏目錄2597

隨得集 ❶(日)Zui-toku-shū. ❷一卷 ❸存〝五山文學全集卷二 ❹龍泉周澤(延德二—永正五 A. D. 1309—1388)撰 ❺この集は天龍寺僧侶間最高尚周信の詩文集である〝周信平生の詩文を門人等が編集したもの。

隨筆譜 ❶(日)Zui-hitsu-zen. ❷一卷 ❸存 ❹鈴木大拙著 ❺昭和二刊 ❻東京大東閣

隨分讀經 ❶(日) Zui-bun-san-kyō. ❷一卷(寶龜五—承和二 A. D. 774—835) ❸(參考) 本朝台祖撰述都會目〝山家三祖撰述目錄卷上

隨文其語集 ❶(日) Zui-mom-bon-go-shū. ❷一卷 ❸安樂(承和八—延喜十 A. D. 841—901—)撰 ❹(參考) 安樂隨文其語目錄〝延曆寺安樂院歷代略傳〝山家三祖撰述目錄卷上〝本朝台祖撰述都會目

隨問試答 ❶(日) Zui-mon-shi-tō. ❷存〝續小部集卷五 ❸寬文(龍大〝許可)

隨問雜答論 ❶(日) Zui-mom-ben-waku-hen. ❷二卷 ❸存 ❹光啓(文德二—寬政九 A. D. 1720—1797)述 ❺安永二刊 ❻(龍大〝一五二〇・一八)

隨聞漫荅 ❶(日) Zui-mom-man-tō. ❷三卷 ❸存 ❹天保(寶政)三—慶應元 A. D. 1791—1865)錄 ❺寫本(龍大)

隨聞往生記 ❶(日) Zui-mon-ō-jō-ki. ❷三卷 ❸存 ❹圓通(元祿九—明和七 A. D. 1696—1770)錄 ❺寫本(龍大・宗大・七七三)安政四刊(正大・一〇三六・五六五—五六六)(京大・一・三六ス・一)

隨聞記 ❶(日) Zui-mon-ki. ❷一卷 ❸圓會(弘七五—宝永三 A. D. 814—891) ❹〔參考〕本朝古圖書結集部著目・山家圖書類纂結篇目錄卷上

隨聞記 ❶(日) Zui-mon-ki. ❷十一帖 ❸定慶(一天七—元 A. D. 1108—) ❹〔參考〕諸宗章疏錄卷三・本朝古圖書結集部著目

隨聞記 ❶(日) Zui-mon-ki. ❷寬印(承應元—享寶二 A. D. 1097—1164) ❸〔參考〕諸宗章疏錄卷三

隨聞記 ❶(日) Zui-mon-ki. ❷一卷 ❸存 ❹良定(天文三—寬永十六 A. D. 1552—1639) ❺安藤七刊(龍大)正保五刊(正大・一五五四・一五五八・一三八)

隨聞記 ❶(日) Zui-mon-ki. ❷三帖 ❸〔參考〕本朝古圖書結集部著目

隨聞記 ❶(日) Zui-mon-ki. ❷十五卷 ❸存 ❹七里恭助の內上五冊の合冊寫本(京大・宗大・一九六九) ❺圓通寺(京大・宗大・一九六九)

隨聞見記 ❶(日) Zui-mon-ken-ki. ❷一卷 ❸存 ❹足利時代寫 ❺(實泰寺蔵院)

隨聞私記 ❶(日) Zui-mon-shi-ki. ❷一卷 ❸存 ❹寫本(帝國・ひ・一四)

隨聞拾集抄 ❶(日) Zui-mon-shū-shū-shō. ❸存 ❹寫本(金剛三昧院)

隨聞集 ❶(日)Zui-mon-shū. 圓明撰 大前錄事 ❷一帖 ❸存 ❹鎌倉(元祿元—正嘉元 A. D. 1184—1252 一說建保四年七五歲) ❺勝川舊代寫 ❻(實泰寺蔵院)

隨聞書 ❶(日)Zui-mon-sho. ❷一卷 ❸存 ❹鳥養集(了詮)(初本)鈔五 ❺傳 存疑(正嘉三—應安六 A. D. 1290—1373)寫

❹此の書は、卷初に「夫等參會佛ノ根源ノ卽起立也。國王ノ食ヲカ目足也。然ニ頭面不等禮ト記シテ、諸宗教法についての不等を裏々迄提示して、それが解答をなし、問答體に記された構成である。その不等の條々を抄出列記すれば次のごとく。(一)諸宗に於て化儀實作等止のこと。(二)一向專修の人は實際成見の勸進乞食非人に結緣助成は實行でありながら、停止すれば心なりとの書を受ける恐れがあるが如何にすべきであるか。(四)一念發起平生業成と云ふことは如何なることか。(五)一向專修の人は十惡五逆もたすかり一念の稱名によりて無效の罪を滅して淨土往生する故に、罪も惡も共に往生する故に、何ぞ造惡を恐れざるや、佛は、その時我の勸誡の勸めを讀上すべきや、佛は、その時我の勸誡の勸めを讀上すべきや、佛は、その時我の勸誡の勸めを讀上すべき

川時代篇　❹〔美術建築〕

隨流別傳　❶(日)Zui-ryū-betsu-den.　❷1帖　❸存　❹寫眞(一冊和)　A. D. 1802)寫　❺日蓮宗(信心派)

隨類得度伊呂波歌　❶(日)Zui-rui-toku-narabini-i-ro-ha-mon.　❷1卷　❸存　❹古寫　❺〔參考〕　國語日錄

隨錄　❶(日) Zui-roku.　(支) Sui-lu.　❹雜考古書　❺〔參考〕　諸宗教理雜錄部1

菅原寺起文事緣狀　❶(日) Suga-wara-dera-ki-mon-yui-kai-jō.　❷1卷　❸存　大日本佛教全書卷一一九寺誌叢書卷三　❹行基(天智天皇七年1天平1)1　A. D. 668—749)　❺天平1(A. D. 749)

❻本書は天平二十一年二月二日「行基菩薩臨終に弟子等に遺誡教示したまへるのであつて、勿論後世菩薩僞託の書である。內容は菩薩の出身地和泉國大鳥郡の地理風俗山谷等に關ならず、阿閦如來出現の後、文殊敎化の地なりとし、菩提寺を本寺とし、發武天皇の和銅元年に菩提寺を本寺とし、發武天皇の和銅元年に菩提寺を本寺とし、一生の發願利衆は多生輪廻のくることを記し、一生の發願利衆は多生輪廻の法なり、守護經文の志願は安樂菩薩三昧を得ひ觀世音三會を依ぶべきものであることを說くたまひ、衆後に菩薩の體相等を說くに至つて、小乘佛法と大乘佛法とを混淆したまへるものである。內容は菩薩の出身地和泉國大鳥郡の地理風俗山谷等に關ならず、阿閦如來出現の後、文殊敎化の地なりとし、菩提寺を本寺とし、發武天皇の和銅元年に菩提寺を本寺とし

セ

世界鏡立口決 ❶(日) Se-kai-kon-ryū-ku-ketsu. ❷1巻 ❸存 ❹室大(室町)・五・中・1七)

世界三宝論 ❶(日) Se-kai-san-sei-ron. ❷1巻 ❸存 ❹高橋五郎著 ❺明治三六刊 ❻(令国)七四・三五丸)(次大)1・〇〇七・1)

世界宗教史上に於ける真言宗の位置 ❶(日) Se-kai-shū-kyō-shi-jō-ni-o-ke-ru-shin-gon-shū-no-i-chi. ❷1巻 ❸存 ❹友枝真人著 ❺昭和四刊 ❻(高大)1・五五)

世界大地図 ❶(日) Se-kai-dai-sō-zu. ❷1幅 ❸存 ❹存疑(一天保三A. D. 1832)頃 ❻(参考) 大日本帝国全国鉄道開通紀念日

世界統一の天業 ❶(日) Se-kai-tō-itsu-no-ten-gyō. ❷1巻 ❸存 ❹田中智学著 ❺明治三七刊 ❻(正大)1八丸・11)

世界に於ける仏教徒 ❶(日) Se-kai-ni-o-ke-ru-buk-kyō-to. ❷1巻 ❸存 ❹藤島亥治郎著 ❺明治三六刊 ❻(令大)(綜説・1六11)(最大)11〇九九・1八七)(令国)1八・三七1)

世界平和と仏教 ❶(日) Se-kai-hei-wa-to-buk-kyō. ❷1巻 ❸存 ❹仏教文化協会編 ❺大正11刊 ❻(大最大)1三〇九九・九六)

世界会議史 ❶(日) Se-kai-yō-ki. ❷〔参考〕 修士院宗教部会編

世界歴史譚第一編 ❶(日)Se-kai-reki-shi-dan-dai-ip-pen. ❷11巻 ❸存 ❹高山林次郎(一斯治三五 A. D. 1902)著 ❺歴史に関する談話。 ❻明治三三刊 ❼(最大)11九六1・11)

世界論 ❶(日) Se-kai-ron. ❷1巻 ❸存 ❹十峰山人著 ❺大正11刊 ❻(正大)1〇九・11九)

世記経 ❶(日)Sei-ki-kyō. (支) Shih-chi-ching. ❸存 ❹長阿含経第一八—11三(大正1・11四No. I. 30)

世喜寺供養記 ❶(日) Se-ki-dera-ku-yō-ki. ❷1巻 ❸存 ❹大日本仏教全書寺誌叢書第11〇寺誌叢書第四 ❺貴志四(A. D. 1090)六月三十11日 ❻旧世喜寺(園寺)の住僧静賀が慕ひその成仏得脱のために五智如来像及び出釈迦尊像各一面を図絵し供養せる時の、彼の自叙文である。平安寺門派に属れ、鳥羽院に於ては法勝寺執行職に補せられたる化導を開業するうち、参中に此の房が死せる自分のなきことを知り、生々世々を用ひて業苦してゐたが、房舎他の地に出中に寺の衆方塔婆に属れ死したれば、其皮を剥ぐしめて、片面には五智如来を画し、片面には法勝寺尊容を描き、古日良辰吉日を以て此日図絵供養をなせる由来を記したものである。仏教全書所用の底本には、「天正三年11月二十四日考霊宇招請了」の跋記があるが、此の跋記は仏教全書此書の前〇九九・九六)

世界宗記 ❶(日) Se-kai-yō-ki. ❷〔参考〕 修士院宗教部会編

世界歴史譚第一編 ❶(日)Se-kai-reki-shi-dan-dai-ip-pen. ❷11巻 ❸存 ❹高山林次郎(一斯治三五 A. D. 1902)著 ❺歴史に関する談話。 ❻明治三三刊 ❼(最大)11九六1・11)

世界論 ❶(日) Se-kai-ron. ❷1巻 ❸存 ❹十峰山人著 ❺大正11刊 ❻(正大)1〇九・11九)

世記経 ❶(日)Sei-ki-kyō. (支) Shih-chi-ching. ❸存 ❹長阿含経第一八—11三(大正1・11四No. I. 30)

世喜寺供養記 ❶(日) Se-ki-dera-ku-yō-ki. ❷1巻 ❸存 ❹大日本仏教全書寺誌叢書第11〇寺誌叢書第四 ❺貴志四(A. D. 1090)六月三十11日 ❻旧世喜寺(園寺)の住僧静賀が慕ひその成仏得脱のために五智如来像及び出釈迦尊像各一面を図絵し供養せる時の、彼の自叙文である。平安寺門派に属れ、鳥羽院に於ては法勝寺執行職に補せられたる化導を開業するうち、参中に此の房が死せる自分のなきことを知り、生々世々を用ひて業苦してゐたが、房舎他の地に出中に寺の衆方塔婆に属れ死したれば、其皮を剥ぐしめて、片面には五智如来を画し、片面には法勝寺尊容を描き、古日良辰吉日を以て此日図絵供養をなせる由来を記したものである。仏教全書所用の底本には、「天正三年11月二十四日考霊宇招請了」の跋記があるが、此の跋記は仏教全書此書の前〇九九・九六)

世界会議史 ❶(日) Se-kai-yō-ki. ❷〔参考〕 修士院宗教部会編

世界歴史譚第一編 ❶(日)Se-kai-reki-shi-dan-dai-ip-pen. ❷11巻 ❸存 ❹高山林次郎(一斯治三五 A. D. 1902)著 ❺歴史に関する談話。 ❻明治三三刊 ❼(最大)11九六1・11)

世界論 ❶(日) Se-kai-ron. ❷1巻 ❸存 ❹十峰山人著 ❺大正11刊 ❻(正大)1〇九・11九)

世記経 ❶(日)Sei-ki-kyō. (支) Shih-chi-ching. ❸存 ❹長阿含経第一八—11三(大正1・11四No. I. 30)

世喜寺供養記 ❶(日) Se-ki-dera-ku-yō-ki. ❷1巻 ❸存 ❹大日本仏教全書寺誌叢書第11〇寺誌叢書第四 ❺貴志四(A. D. 1090)六月三十11日 ❻旧世喜寺(園寺)の住僧静賀が慕ひその成仏得脱のために五智如来像及び出釈迦尊像各一面を図絵し供養せる時の、彼の自叙文である。平安寺門派に属れ、鳥羽院に於ては法勝寺執行職に補せられたる化導を開業するうち、参中に此の房が死せる自分のなきことを知り、生々世々を用ひて業苦してゐたが、房舎他の地に出中に寺の衆方塔婆に属れ死したれば、其皮を剥ぐしめて、片面には五智如来を画し、片面には法勝寺尊容を描き、古日良辰吉日を以て此日図絵供養をなせる由来を記したものである。仏教全書所用の底本には、「天正三年11月二十四日考霊宇招請了」の跋記があるが、此の跋記は仏教全書此書の前〇九九・九六)

世界書芸色経 ❶(日) Se-ken-gom-mi-shiki-kyō. (支) Shih-chien-yen-mei-sē-ching. ❷1巻 ❸欠 ❹梵語の経題名の抄出 ❺(参考) 出三蔵記集四〃仁祐録第四〃法経録第三〃歴代三宝紀第四〃開元録第1六〃貞元録第1六)

世間出世間悪法人発菩提心法 ❶(日) Se-ken-shus-se-ken-ryō-kai-nin-hotsu-bo-dai-shim-pō. (支) Shih-chien-ch'u-shih-chien-liang-chieh-jên-fa-p'u-t'i-hsin-fa. ❷1巻 ❸宋施護訳 ❹(参考) 貞元録第1五〃開元録第1八

世間十種悪事足人発菩提心人発法 ❶(日)Se-ken-jis-shu-aku-gu-soku-nin-e-shin-nyū-dō-hō. (支) Shih-chien-shih-chung-ê-chū-tsu-jên-hui-hsin-ju-tao-fa. ❷1巻 ❸宋施護訳 ❹(参考) 開元録第1八

世間相続性法語 ❶(日)Se-ken-sō-jō-hō-go. ❷1巻 ❸存 ❹鷲尾順敬著 ❺仏教大系(文保三—文化元年 A. D. 1718—1804)所収の仏語は皆当時に厳選あり、「三界安全如火宅」と叙したるも、それは人天の現実相を説いたので、大局から見ると「各々左置業山」「我此土安穏」であつて、未来なく生滅なし「世間相常住」「是法住法位」である事旨を示されてゐる。

世尊告日蓮大人(大医法華寺蔵) (写見貴重)

世間悉檀経 ❶(日) Se-ken-chim-

bō-gyō. (支) Shih-chien-chên-pao-ching. ❷1巻 ❸欠 ❹失訳 ❺(参考) 出三蔵記集四〃法経録第四〃仁祐録第三〃歴代三宝紀第四〃開元録第五〃第1五〃貞元録第八〃第三五

世間通経 ❶(日) Se-ken-fuku-gyō. (支)Shih-chien-fu-ching. ❸存 ❹中阿含経第三(大正1・四11七No. 26. 7)

世自在仙 ❶(日) Se-ji-zai-shō. ❷1巻 ❸存 ❹宮本(最大)1〇五1・1九)

世親摂論頌 ❶(日) Se-jin-shō-ron-sho. (支)Shih-ch'in-shê-lun-su. 摂大乗論釈〃摂大乗論頌記〃摂大乗論頌〃摂論頌〃摂大乗論本頌釈論偈記 ❷四巻 ❸新羅元暁(高宗王三九A. D. 617—)造 ❻(参考) 新編諸宗教蔵総録第三〃奈良朝現在1切経疏目録2349

世親の宗教 ❶(日) Se-jin-no-shū-kyō. ❷1巻 ❸存 ❹佐伯良謙著 ❺大正1三刊 ❻(最大)11六三五・1七)(正大)11九11・11四五)(令大)

世親論集 ❶(日)Se-jin-ron-shū. ❷1巻 ❸存 ❹佐々木月樵(明治八—昭和元 A. D. 1875—1926)編 ❺大正八刊 ❻(最大)11〇四11・1六〃体系)

世説弥勒 ❶(日)Se-setsu-shō-satsu. ❷四巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元 A. D. 1634—1716) ❻(参考) 国書目録

世説弥勒補 ❶(日) Se-setsu-shō-satsu-ho. ❷11巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元 A. D. 1634—1716) ❻(参考) 国書目録

世説新語補弥勒集成 ❶(日) Se-setsu-shin-go-fu-shō-sas-shū-sei. ❷十巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元A. D. 1634—1716) ❻(参考) 国書目録

世説人氏世系図 ❶(日) Se-setsu-nin-shi-se-kei-zu. ❷1巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元 A. D. 1634—1716) ❻(参考) 国書目録

世説便考 ❶(日) Se-setsu-ben-kō. ❷1巻 ❸存 ❹慈雲(貞享1—十一—宝暦八 A. D. 1640—1695)撰

世俗決疑集 ❶(日) Se-zoku-ketsu-gi-shū. ❷1巻 ❸存 ❹玄旨(永禄四—休延五 A. D. 1049—1139) ❻(参考) 浄土仏教思想論教理篇目録

世俗浅封論 ❶(日)Se-zoku-zō-zai-ron. ❷十巻 ❸存 ❹喜多(七治元—元亨元 A. D. 1240—1321)撰 ❻(参考) 諸宗教理疏巻第三11

世尊記 ❶(日) Se-son-ki. ❷1冊 ❸存 ❹(首)ら・五・右・三五)

世尊悉念経 ❶(日) Se-son-ke-nen-gyō. (支) Shih-tsun-chi-nien-ching. ❷1巻 ❸欠訳 ❹梵阿含経の抄出。 ❻(参考) 出三蔵記集四〃法経録第四〃仁祐録第三〃歴代三宝紀第四〃開元録第1六〃貞元録第1六

世尊成正入滅記 ❶(日)Se-son-gō-shō-nyū-metsu-ki. ❷1巻 ❸存 ❹晋(一斯永六 A. D. 1709—) ❺寿永1四刊 ❻(令大)(最大・11五〇〇)

世尊初入王舎因縁 ❶(日)Se-son-sho-nyū-ō-gū-inn-en. ❷1巻 ❸存 ❹雑宝蔵経巻第1六縁第 ❺嘉永月尼(寛政六—天保四 A. D. 1756—1833)撰 ❻(参考) 仏教大系(文保三—文化元 A. D. 1718—1804)所収

❹この仏語は有部毘奈耶雑事第九及び有部毘奈耶破僧事第十八に依りて書出す。世尊が父王の請に依つて王舎に帰りて説法し、父王を始めあまねの大衆を済度し給ふ因縁を記述してゐる。

❹京都妙覚寺に始月尼直筆書にして尊者直筆添削の本を蔵す (写見貴重)

世尊説善生子経千善生子経善生子所問大乗経 ❶(日)Se-son-shō-ja-sen-gen-sen-ju-sen-zoku-sen-zetsu-sem-pi-kwan-ji-zai-bo-dai-sat-ta-ta-ba-kō-dai-em-mam-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni. (支) Shih-tsun-shêng-chê-ch'ien-yen-ch'ien-shou-ch'ien-tsu-ch'ien-shê-ch'ien-pei-kuan-tzŭ-tsai-p'u-t'i-sa-t'o-ta-fu-kuang-ta-yüan-man-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni. ❷1巻 ❸存 ❹大正11〇・1一四No. 1062B〃三十帖策子第三九 ❺空海(貞観五—承和11 A. D. 774—835)請来 ❻大陀羅尼は梵文のみを出す。不空訳金剛頂瑜伽千手千眼観自在菩薩修行儀軌経巻下所出の千手千眼観自在菩薩根本大陀羅尼と相違す。経に曰く、此の陀羅尼を誦する者は息災方至除愛敬令の四種成就の事を作すと。本陀羅尼とこの不空訳経貞観六年訳仁

和令譯本梵文と比較するに1字前後の相違あるのみにして意は全く一致す。金剛頂瑜伽千手千眼観自在菩薩修行儀軌経の頂字脱せよ。 (井井雄光)

世書抜書 ❶(日) Se-fu-nuki-gaki. ❷存〃正徳元刊 ❸欠 ❹明暦元刊 ❺(刷大)(最大)11〃・な・ヤ・11)(最大・三九八1・1)

世親六要論 ❶(日) Se-ken-zō. ❷1冊 ❸存 ❹慈雲(貞享1—1—享保元 A. D. 1634—1716)著 ❺(参考) 国書目録

世説弥勒補 ❶(日) Se-setsu-shō-satsu-ho. ❷11巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元 A. D. 1634—1716) ❺(参考) 国書目録

世説新語補弥勒集成 ❶(日) Se-setsu-shin-go-fu-shō-sas-shū-sei. ❷十巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元A. D. 1634—1716) ❺(参考) 国書目録

世説人氏世系図 ❶(日) Se-setsu-nin-shi-se-kei-zu. ❷1巻 ❸存 ❹大乗顕教(貞永1—1—享保元 A. D. 1634—1716) ❺(参考) 国書目録

世説便考 ❶(日) Se-setsu-ben-kō. ❷1巻 ❸存 ❹慈雲(貞享1—十一—宝暦八 A. D. 1640—1695)撰

世俗決疑集 ❶(日) Se-zoku-ketsu-gi-shū. ❷1巻 ❸存 ❹玄旨(永禄四—休延五 A. D. 1049—1139) ❺(参考) 浄土仏教思想論教理篇目録

世俗浅封論 ❶(日)Se-zoku-zō-zai-ron. ❷十巻 ❸存 ❹喜多(七治元—元亨元 A. D. 1240—1321)撰 ❺(参考) 諸宗教理疏巻第三11

世尊記 ❶(日) Se-son-ki. ❷1冊 ❸存 ❹(首)ら・五・右・三五)

世尊悉念経 ❶(日) Se-son-ke-nen-gyō. (支) Shih-tsun-chi-nien-ching. ❷1巻 ❸欠訳 ❹梵阿含経の抄出。 ❺(参考) 出三蔵記集四〃法経録第四〃仁祐録第三〃歴代三宝紀第四〃開元録第1六〃貞元録第1六

世尊成正入滅記 ❶(日)Se-son-gō-shō-nyū-metsu-ki. ❷1巻 ❸存 ❹晋(一斯永六 A. D. 1709—) ❺寿永1四刊 ❻(令大)(最大・11五〇〇)

정창원문서(正倉院文書) ❶ (ㅁ)Se-ki-mon-jo. 세키몬죠. 나라(奈良)시대 동대사(東大寺)의 정창원(正倉院)에 소장되어 있는 고문서. 대부분 호적(戶籍)·계장(計帳)·양전장(量田帳)·노예장(奴婢帳)·출납부(出納簿) 등 율령제(律令制) 하의 공문서(公文書)이며, 일부 사경소(寫經所)의 문서도 포함되어 있다. 8세기 중엽 이후 동대사 관계 문서가 많아진 것은 이 절이 국가의 보호를 받았기 때문이다. 1900년 이후 발견된 것이 많아 현재 약 10,000통이 알려져 있다. 대표적인 것으로 천평승보(天平勝寶) 8세(756)의 날짜가 있는 「대일본고문서(大日本古文書)」 편년문서(編年文書) 제1권 등이 있다. 정창원은 동대사 대불전(大佛殿) 북쪽에 있는 창고로 동대사 창건 이래 국가의 보물을 보관하는 곳이었다. 정창원문서는 이 창고에 보관되어 있던 것이다. 정창원은 현재 동대사 소유이지만 문서는 국가 소유이다. 정창원문서 중 일부는 1962년 국보로 지정되었다. ❷ 정창원 문서 ❸ 정창원 문서 ❹ 정창원 문서 ❺ 정창원 문서

정창원문서 국보(正倉院文書國寶) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-mon-jo kok-pō. 세소인몬죠 코쿠호. 정창원문서 중 국보로 지정된 것. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 문서 국보 ❸ 정창원 문서 국보 ❹ 정창원 문서 국보 ❺ 정창원 문서 국보

정창원보물(正倉院寶物) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu. 세소인호모츠. 정창원에 소장되어 있는 보물. 동대사 대불전 북쪽에 있는 정창원 창고에 보관되어 있던 것으로 동대사 창건 이래 국가의 보물을 보관하는 곳이었다. 정창원보물은 현재 동대사 소유이지만 보물은 국가 소유이다. 정창원보물 중 일부는 1962년 국보로 지정되었다. ❷ 정창원 보물 ❸ 정창원 보물 ❹ 정창원 보물 ❺ 정창원 보물

정창원보물 국보(正倉院寶物國寶) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu kok-pō. 세소인호모츠 코쿠호. 정창원보물 중 국보로 지정된 것. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 국보 ❸ 정창원 보물 국보 ❹ 정창원 보물 국보 ❺ 정창원 보물 국보

정창원보물 국보 보관고(正倉院寶物國寶寶庫) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu kok-pō hō-ko. 세소인호모츠 코쿠호 호코. 정창원보물 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 국보 보관고 ❸ 정창원 보물 국보 보관고 ❹ 정창원 보물 국보 보관고 ❺ 정창원 보물 국보 보관고

정창원보물 보관고(正倉院寶物寶庫) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko. 세소인호모츠 호코. 정창원에 있는 보물을 보관하는 곳. 동대사 대불전 북쪽에 있는 정창원 창고에 보관되어 있던 것으로 동대사 창건 이래 국가의 보물을 보관하는 곳이었다. 정창원보물은 현재 동대사 소유이지만 보물은 국가 소유이다. 정창원보물 중 일부는 1962년 국보로 지정되었다. ❷ 정창원 보물 보관고 ❸ 정창원 보물 보관고 ❹ 정창원 보물 보관고 ❺ 정창원 보물 보관고

정창원보물 보관고 국보(正倉院寶物寶庫國寶) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko kok-pō. 세소인호모츠 호코 코쿠호. 정창원보물 보관고 중 국보로 지정된 것. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 국보 ❸ 정창원 보물 보관고 국보 ❹ 정창원 보물 보관고 국보 ❺ 정창원 보물 보관고 국보

정창원보물 보관고 보관(正倉院寶物寶庫保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸. 정창원보물 보관고에 보관되어 있는 것. 동대사 대불전 북쪽에 있는 정창원 창고에 보관되어 있던 것으로 동대사 창건 이래 국가의 보물을 보관하는 곳이었다. 정창원보물은 현재 동대사 소유이지만 보물은 국가 소유이다. 정창원보물 중 일부는 1962년 국보로 지정되었다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관

정창원보물 보관고 보관 국보(正倉院寶物寶庫保管國寶) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan kok-pō. 세소인호모츠 호코 호칸 코쿠호. 정창원보물 보관고 보관 중 국보로 지정된 것. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 국보 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 국보 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 국보 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 국보

정창원보물 보관고 보관 국보 보관고(正倉院寶物寶庫保管國寶寶庫) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan kok-pō hō-ko. 세소인호모츠 호코 호칸 코쿠호 호코. 정창원보물 보관고 보관 국보 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 국보 보관고 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 국보 보관고 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 국보 보관고 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 국보 보관고

정창원보물 보관고 보관 보관고(正倉院寶物寶庫保管寶庫) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko. 세소인호모츠 호코 호칸 호코. 정창원보물 보관고 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管保管保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan hō-kan hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸 호칸 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管保管保管保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸 호칸 호칸 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管保管保管保管保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸 호칸 호칸 호칸 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管保管保管保管保管保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸 호칸 호칸 호칸 호칸 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관

정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 보관(正倉院寶物寶庫保管寶庫保管保管保管保管保管保管保管) ❶ (ㅁ)Se-sō-in-hō-motsu hō-ko hō-kan hō-ko hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan hō-kan. 세소인호모츠 호코 호칸 호코 호칸 호칸 호칸 호칸 호칸 호칸 호칸. 정창원보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 중 국보로 지정된 것을 보관하는 곳. 1962년 6월 29일 지정. 지정된 것은 「대일본고문서」 편년문서 제1권 중 천평승보 8세 6월 21일 날짜가 있는 「경사사경소(經師寫經所) 문서」 등 모두 10통이다. ❷ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 보관 ❸ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 보관 ❹ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 보관 ❺ 정창원 보물 보관고 보관 보관고 보관 보관 보관 보관 보관 보관 보관

名所行脚◎（名所書）案内類◎月々の行events◎（雲水遊歴）旅◎遍歴◎行脚僧◎托鉢僧◎（名物）名産◎旅◎歩行◎（名所）名物◎旅◎歩行

名所旧跡◎（名勝・史蹟）**建築物**◎ **人物の肖像**◎（学者・思想家）**文書**◎ **代々将軍**◎ **官職**◎ **陵墓**◎（古墳）**名園**◎ **美術家**◎

西王母（せいおうぼ）◎（Sei-ō-bo）

中国古代の伝説上の女神。崑崙山に住み、不老不死の桃を実らせる。漢代には西方の異民族の女王とされ、唐代には仙女として信仰された。

西王母図（せいおうぼず）◎（Sei-ō-bo-zu）

西王母を描いた図。

西園寺公望（さいおんじきんもち）◎（Saion-ji-kin-mochi）

（一八四九―一九四〇）明治・大正・昭和時代の政治家。公家出身。立憲政友会の総裁として、第一次・第二次・第三次の内閣を組織した。

西海道（さいかいどう）◎（Sai-kai-dō）

五畿七道の一。九州地方の古称。

西海道風土記（さいかいどうふどき）◎（Sai-kai-dō-fudoki）

和銅六年（七一三）の官命により編纂された地誌。現存するのは豊後国と肥前国の一部のみ。

西海道風土記逸文（さいかいどうふどきいつぶん）◎（Sai-kai-dō-fudoki-itsubun）

西海道風土記の逸文。

西海道風土記逸文の研究（さいかいどうふどきいつぶんのけんきゅう）◎（Sai-kai-dō-fudoki-itsubun-no-kenkyū）

（書名）

名所行旅◎（名束書）名勝旧跡◎月や四季◎（雪や梁雪雨）雪天◎ 夏景◎ 秋景◎ 冬景◎（名所）名園◎ 集古堂

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[1]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[2]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[3]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[4]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[5]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[6]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[7]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[8]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[9]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[10]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[11]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[12]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[13]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[14]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[15]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[16]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[17]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[18]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[19]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎ 京都市西京区にある庭園。[20]

西芳寺庭園（さいほうじていえん）◎

書東求。四十八願事參。華嚴要求。宗鏡皇究。華嚴入法界事參。宗鏡皇究。華嚴皇究。宗鏡皇究。宗鏡皇究。華嚴皇究。宗鏡皇究。宗鏡皇究。華嚴皇究。宗鏡皇究

政事吉凶書 ❶(書名) Sei-shi-kitsu-ko-sho. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政事古記 ❶(書名) Sei-shi-ko-ki. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政事小議 ❶(書名) Sei-kyo-shō-gi. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政事吉凶書 ❶(書名) Sei-ji-kitsu-kyo. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政事要略 ❶(書名) Sei-ji-yō-ryaku. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 藤原惟宗允亮 ❹(成立) 寛仁二(一〇一八)年 ❺(内容) 政務の要点を記した書。

政治訓 ❶(書名) Sei-chi-kun. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政治要覧 ❶(書名) Sei-chi-yō-ran. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 藤原資房 ❹(成立) 寛仁二(一〇一八)年 ❺(内容) 政務の要点を記した書。

政治大事 ❶(書名) Sei-chi-dai-ji. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政治法 ❶(書名) Sei-chi-hō. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う書。

政治要略 ❶(書名) Sei-chi-yō-ryaku. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 藤原資房 ❹(成立) 寛仁二(一〇一八)年 ❺(内容) 政務の要点を記した書。

政治訓 ❶(書名) Sei-chi-kun. ❷(書名) 一巻 ❸(著者) 菅原道真 ❹(成立) 延喜一九(九一九)年 ❺(内容) 政務の吉凶を占う

之に反して天文二十二年は交主にして同正月もあり、信長後二十なれば、此天文二年に原供は二十の一字を配せることは明かである。原供は古記の原本を見ざれば、其の一字は何やを知らぬ。何は本書は全部漢文で綴られてある。「信長公記」参照。

㊀(名古屋市叡秀寺)　(寺蔵)

故実大雑書抜印書集　㊀(日) Sei-shuku-dai-sō-zu-in-jin-shū. 諸流雑頂故実抄、❷一巻　㊂存　㊃故実(貞治五—永享一一後 A. D. 1366—1439—)撰　㊄写本(文大、日大未・三七三)

故実類文　㊀(日) Sei-nyo-tai-mon. ❷一巻　㊂存　㊃享保元刊　㊄(正大、一〇六・一一一)

故実類抄　㊀(日) Sei-rui-shō. ❷八十巻　㊂存　㊃故実類　㊅弘安五(A. D. 1282)

省行雑誌　㊀(日)Sei-gyō-yo-kwa. ㊂存　㊄(参考)　国書目録

宗教法儀和尚九会講録　㊀(日) Sei-sai-hō-shō-o-shō-ku-e-ryaku-roku. (支) Hsing-ch'i-fa-ching-ho-shang-chiu-hui-liao-lu. ❷二巻　㊂存　㊃浜化法界体性経九会講録二刊　㊄(古大、蓮・一七ル・一一〇)

相国記　㊀(日) Sei-gwan-ki. ❷二巻　㊂存　㊄写本(正大、一一八六・一八)

相心斎随筆　㊀(日)Sei-shin-sai-zui-hitsu. ❷四巻　㊂存、続群全雑部五一❶風雅(享保九—天保一一三 A. D. 1759—1842)撰

❷(一名古屋市叡秀寺)　(寺蔵参一)

故実大雑書抜印書集　㊀(日) Sei-shuku-dai-sō-zu-in-jin-shū. 諸流雑頂故実雑書抄、❷一巻　㊂存　㊃故実類　㊅弘安五—永享一一後 A. D. 1366—1439—)撰　㊄写本(文大、日大未・三七三)

故知礼文　㊀(日) Sei-nyo-tai-mon. ❷一巻　㊂存　㊃享保元刊　㊄(正大、一〇六・一一一)

故類抄　㊀(日) Sei-rui-shō. ❷八十巻　㊂存　㊃故実類　㊅弘安五(A. D. 1282)

省行雑誌　㊀(日)Sei-gyō-yo-kwa. ㊂存　㊄(参考)　国書目録

宗教法儀和尚九会講録　㊀(日) Sei-sai-hō-shō-o-shō-ku-e-ryaku-roku. (支) Hsing-ch'i-fa-ching-ho-shang-chiu-hui-liao-lu. ❷二巻　㊂存　㊃浜化法界体性経九会講録二刊　㊄(古大、蓮・一七ル・一一〇)

相国記　㊀(日) Sei-gwan-ki. ❷二巻　㊂存　㊃写本(正大、一一八六・一八)

相心斎随筆　㊀(日)Sei-shin-sai-zui-hitsu. ❷四巻　㊂存、続群全雑部五一❶風雅(享保九—天保一一三 A. D. 1759—1842)撰

❷の版へ弗教一般に広りて、書文を析して、その本旨を示したもの、第一巻には智識廻向に関する以下各門の説を、第二巻には六要抄以下各身に至るモ十要目、第三巻には、信文類末尾無疑に至る百八要目、第四巻は道綽禅師安楽集より、第五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第六十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第七十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第八十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第九十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百二十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百三十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百四十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百五十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百六十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百七十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百八十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第百九十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百二十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百三十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百四十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百五十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百六十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百七十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百八十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第二百九十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百二十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百三十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百四十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百五十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百六十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百七十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百八十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第三百九十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百二十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百三十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百四十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百五十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百六十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百七十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百八十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第四百九十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百二十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十二巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十三巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十四巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十五巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十六巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十七巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十八巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百三十九巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百四十巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百四十一巻は、信文類末尾無疑に至る五十一要目、第五百四十二巻は、信文類末尾無

聖武天皇宸翰雜集 聖武天皇宸翰雜集 ❶ 書 ❷ 一帖 ❸ 紙本墨書 ❹ 縦二六・〇糎 横一・七糎 ❺ 奈良時代 ❻ 東京国立博物館 ❼ 国宝

聖武天皇宸翰勅書 聖武天皇宸翰勅書 ❶ 書 ❷ 一巻 ❸ 紙本墨書 ❹ 縦二六・〇糎 横一・七糎 ❺ 奈良時代 ❻ 東京国立博物館 ❼ 国宝

聖武天皇宸翰雜集 聖武天皇宸翰雜集 ❶ 書 ❷ 一帖 ❸ 紙本墨書 ❹ 縦二六・〇糎 横一・七糎 ❺ 奈良時代 ❻ 東京国立博物館 ❼ 国宝

聖武天皇宸翰勅書 聖武天皇宸翰勅書 ❶ 書 ❷ 一巻 ❸ 紙本墨書 ❹ 縦二六・〇糎 横一・七糎 ❺ 奈良時代 ❻ 東京国立博物館 ❼ 国宝

聖武天皇勅書 聖武天皇

靜觀錄 ❶(日)Sei-kwan-roku. ❷1卷 ❸存 ❹系統總註編 ❺明治三五刊

靜思錄 ❶(日)Sei-shi-roku. ❷1卷 ❸存 ❹重野安繹(一天保十二—昭和二 A. D. 1849—1927)著 ❺明治四1刊 ❻(谷大)修井・二二四)(京考)

靜勝軒詩抄 ❶(日)Sei-shō-ken-shi-han. ❷1卷 ❸存 ❹(參考) 國書目錄

醒悟園叢書 ❶(日) Sei-go-en-sō-sho. ❷11卷 ❸存 ❹木村拜石編述等著編 ❺第1卷明治。❷11著作。❸明治四三刊(龍大・11〇九九・1八五)(谷大・修井・二八八)(立大・B〇四・1〇1)大正四刊(立大・B〇四・1一五九・1五九・1六二)

醒水盧亂題 ❶(日)Sei-sui-hen-ran-dai. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(龍大)

醒睡笑 ❶(日) Sei-sui-shō. ❷八卷 ❸存、國文東方叢刻第廿一輯所收 ❹寫(天文・二三一寫本1九 A. D. 1594—1642) ❺元和九年(A. D. 1623)

❻元和元年四月十三日人令之記載を以てしたものである。治元年十三年の重刊本、我が寛治二年の重刊本、龍藏本等が行はれてゐる。福原の人令を元龜元年に繫年するのは誤である。治元年は甲戌で、二年は甲子、令和は元龜元年と令和元年とは同一である。令和元年四月十三日人令と記してあるが、元龜元年と令和元年とは同一である。即ち元龜元年と令和元年とは同一である。即ち元龜元年と令和元年とは同一である。即ち元龜元年と令和元年とは同一である。

靜坐のすゝめ ❶(日)Sei-za-no-su-su-me. ❷1卷 ❸存 ❹關宗演(一大正八 A. D. 1919)述、鈴木大拙編 ❺大正1五刊 ❻(龍大)

靜坐のすゝめ ❶(日)Sei-za-no-su-su-me. 前題靜坐のすゝめ ❷1卷 ❸存 ❹境野黃洋(一昭和廿 A. D. 1871—1945)著 ❺昭和四刊 ❻(谷大・修井・1七三)(京大・1・11六七・七)

靜坐のすゝめ ❶(日)Sei-za-no-su-su-me. 前題靜坐のすゝめ ❷1卷 ❸存 ❹關宗演(一大正八 A. D. 1919)述、鈴木大拙編 ❺大正1五刊 ❻(龍大)

靜思錄 ❶(日)Sei-shi-roku. ❷1卷 ❸存 ❹重野安繹(一昭和二 A. D. 1849—1927)著 ❺昭和四1刊 ❻(谷大・修井・11111四)(京考)

靜勝軒詩抜 ❶(日)Sei-shō-ken-shi-han. ❷1卷 ❸存 ❹(參考) 國書目錄

醒悟園叢書 ❶(日) Sei-go-en-sō-sho. ❷11卷 ❸存 ❹木村拜石編述等著編 ❺第1卷明治。❷11著作。❸明治四三刊(龍大・11〇九九・1八五)(谷大・修井・二八八)(立大・B〇四・1〇1)大正四刊(立大・B〇四・1一五九・1五九・1六二)

醒水盧亂題 ❶(日)Sei-sui-hen-ran-dai. ❷1卷 ❸存 ❹寫本(龍大)

醒睡笑 ❶(日) Sei-sui-shō. ❷八卷 ❸存、國文東方叢刻第廿一輯所收 ❹寫(天文・二三一寫本1九 A. D. 1594—1642) ❺元和九年(A. D. 1623)

❻元和元年四月十三日人令之記載を以てしたものである。治元年十三年の重刊本、我が寛治二年の重刊本、龍藏本等が行はれてゐる。福原の人令を元龜元年に繫年するのは誤である。治元年は甲戌で、二年は甲子、令和は元龜元年と令和元年とは同一である。令和元年四月十三日人令と記してあるが、元龜元年と令和元年とは同一である。即ち元龜元年と令和元年とは同一である。即ち元龜元年と令和元年とは同一である。即ち元龜元年と令和元年とは同一である。

靜坐のすゝめ ❶(日)Sei-za-no-su-su-me. 前題靜坐のすゝめ ❷1卷 ❸存 ❹境野黃洋

名所行器◎（名産者）産地所属●　**月の行器**◎（雲水会器得意）書名●　**図解内容**◎　**図書**●　**館名**◎　**（名器）名品**◎　**図書館**◎

石積築図書館蔵器目録 ●（Seki-shaku-chiku-zu-sho-kan-zō-ki-mo-ku-roku）（日）

石積築図書館蔵器目録 ●（Seki-shaku-chiku-zu-sho-kan-zō-ki-mo-ku-roku）（日）

石積築図書館蔵器目録

石霜宝峯禅師 ❶(日) Seki-sō-hō-hō-zen-ji-shi. (支)Shih-shuang-pao-fêng-ch'an-shih. ❷1巻 ❸存 ❹(参考) 諡号は慧昭 ❺嗣法は洞山良价

石霜楚円 ❶(日) Seki-sō-so-en. ❸存 ❹(参考) 諡号は慈明 ❺嗣法は楊岐方会

石霜慶諸 ❶(日) Seki-sō-kei-sho. (支)Shih-shuang-ch'ing-chu. ❷1巻 ❸存 ❹(参考) 諡号は慈明 ❺嗣法は楊岐方会

石人瞳孔 ❶(日) Seki-nin-dō. ❸存 ❹目の異名(仮訳)

石人瞳孔 ❶(日) Seki-nin-yō-tai. ❸存 ❹目の異名(仮訳)一本に五 A. D. 1228—1297) ❺(参考) 日本語林類語新行目・諡号目録

石手漏人行業記菩薩戒 ❶(日) Seki-hei-dō-nin-gyō-gō-ki-narabini-bon-gi. ❷1巻 ❸存 ❹講中述 ❺元徳1〇甲 ❻(成文)

石手漏人外記 ❶(日)Seki-hei-dō-nin-ge-ki. ❷1巻 ❸存 ❹浦田元慶(一文政頃 A. D. 1818—1829—) ❺(参考) 諡号目録

石田集 ❶(日)Seki-den-shū. ❷11巻 ❸存 ❹性法撰(元和四—一説永三 A. D. 315—1396) ❺(参考) 日本語林類語新行目・法系諡号目録

石田集并合遺 ❶(日)Seki-hei-shū-narabini-shū-i. ❷三巻 ❸存 ❹性法撰(元和四—一説永三 A. D. 1315—1396) ❺(参考) 諡号目録

石田録 ❶(日) Seki-hei-roku. ❷1巻 ❸存 ❹石鼓子介 ❺(参考) 日本語林類語新行目 諡号目録

石鼓禅師語録 ❶(日) Seki-boku-zen-ji-go-roku. ❸存 ❺(参考) 諡号目録

石文抄 ❶(日)Seki-mon-shō. 語新行目・十巻口伝録・石流十巻書・雲山抄

石門文字禅 ❶(日) Seki-mom-mo-ji-zen. (支)Shih-mên-wên-tzŭ-ch'an. 釈惠洪の詩文集 ❷三十巻 ❸存 ❹宋徽宗の政和三年九月、次に従五位下を授けられた ❺(参考) 諡号目録

石門蒙拾和尚語録 ❶(日) Seki-mon-i-kyō-o-shō-roku. ❷七巻 ❸存 ❹〔参考〕 諡号目録

石門洪覚範天廚禁経 ❶(日) Seki-mon-kō-kaku-han-ten-chū-kin-ren. (支)Shih-mên-hung-chüeh-fan-t'ien-ch'u-chin-lüan. 天廚禁経 ❷1巻 ❸存 ❹宋惠洪撰述(宣和四—一説永11 A. D. 1071—1128) ❺(参考) 諡号目録

石門洪覚範林間録後集 ❶(日) Seki-mon-kō-kaku-han-rin-kan-roku-tsuketari-kai-setsu-oyobi-gem-bun. ❷11巻 ❸存 ❹宋惠洪撰述(宣和四—一説永11 A. D. 1071—1128) 語

石門山居照講論議業 ❶(日) Seki-mon-zan-ji-shō-zen-ji-hō-gan-shū. (支)Shih-mên-shan-tz'ŭ-chao-ch'an-shih-fêng-yen-chi. 冷齋夜話 ❸存 ❹宋代 ❺冷齋夜話 ❻冷齋夜話巻の下を見よ。

石門詩鈔 ❶(日)Seki-mon-shi-shō. (支)Shih-mên-shih-ch'ao. ❷1巻 ❸存 ❹宋惠洪撰述(宣和四—一説永11 A. D. 1071—1128)詩 ❺釈文字禅(文大・續11四キ・四)

石門文字禅 ❶(日) Seki-mom-mo-ji-zen. (支)Shih-mên-wên-tzŭ-ch'an. 釈惠洪の詩文集 ❷三十巻 ❸存 ❹宋徽宗の政和三年九月、次に従五位下を授けられた ❺(参考) 諡号目録

石門文字禅註 ❶(日) Seki-mom-mo-ji-zen-chū. ❷五十巻 ❸存 ❹真歇註 ❺(参考) 諡号目録

石流自照集 ❶(日)Seki-ryū-kechi-myaku-shū. 石流和尚自照集 ❷1巻 ❸存 ❹静厳(寛延11—一文政11 A. D. 1749—1829)撰

石流三部抄 ❶(日) Seki-ryū-sam-bu-shō. ❸存 ❹諸宗口伝集八帖・諸宗法私記十帖を抄す。

石梁僧伽語録 ❶(日)Seki-ryō-zen-ji-go-roku. 鳳潭石梁僧伽語録 ❸存 ❹西鈍石梁語・続高僧伝 ❺(参考) 諡号目録

赤諫々 ❶(日)Seki-ra-ra. 佛法源流 ❷1巻 ❸存・京古文献調和叢書第六輯 ❹嗣法天潤(享保九—明和六 A. D. 1724—1769)

❺天潤は京本寺派の出定後語の流を汲んで、大乗非佛説を主張したものである。四阿含や大乗の小乗に説かれる説は歴史上の釈尊の十九出家、三十成道、八十入滅の諸事ではなく、小乗の名目は単に区別なり、大乗は小乗の名目を用に翻案したもので、小乗で四大を説けば、大乗では諸法不生不滅と説き、小乗で四大を説けば、大乗では諸法とすべく、所明折衝論の文について、その仏説を試みたものである。

(大原性実)

折衝摧邪論 ❶(日)Ses-shō-hen-tsū-shaku. ❷1巻 ❸存・続浄全第拾五〇 ❹性均(元禄1六—安永七 A. D. 1703—1778)述 ❺明和五(A. D. 1768)

❻法華の「折衝摧邪」の文中知識により同に思せられたる1経巻所の義を述べんが為に、その文を引用せしものである。

(大原性実)

折衝摧邪論発揮記 ❶(日) Ses-shō-hen-rai-fu-ben-kwa. ❸存・続浄全第拾五〇 ❹性均(元禄七—寛政七 A. D. 1679—1757)述 ❺享保1七(A. D. 1732)

❻折衝の風潮が浄土教を誹謗して「念佛往生明帰篇」を作るや直ちに法華は「浄土折衝篇」をものしてこれを評破した。然るに風潮も之に飲せず、又「雷案」二巻を作りて誹謗するところあり、「法華は」これに対して「実験篇」六巻をもつて反駁したが、別に性均は「雷案」を1書し忽ち筆を呵して、従々三日にして本書を草し、風潮に答りて「実験篇」のために論面発覆の役割を果迄したものである。

❼享保1七刊 ❽(備考) (大原性実)

折中録 ❶(日) Sec-chū-roku. (支)Shê-chung-lu. 攝論宗和尚頌古評唱折中録 ❷三巻 ❸存 ❹宋攝論和尚(法護)述 三一説法五 A. D. 1185—1269)頌 ❺(参考) 諡号目録

刹那業説 ❶(日) Setsu-na-i-setsu. ❷一巻 ❸存・続浄全第拾五11 ❹性霊(享保四—寛政11 A. D. 1719—1762)述

❺一念と刹那との関係を示す文献として、智度論三十八、阿毘十三、仁王護国般若経疏上品、止観第三ノ三、瓔珞経三、法苑珠林三、華厳経探玄記十三、その文を示したもの、恐らく諸記中の一断片の抜粋にかんするものであらう。

(大原性実)

拙門開和尚詩偈集 ❶(日) Setsu-mon-kwan-o-shō-shi-ge-shū. 拙門開和尚詩偈集 ❷1巻 ❸存 ❹(参考) 諡号目録

殺三磨楽叉金色法 ❶(日) Ses-sam-ma-sa-shaku-kon-jiki-shō. ❷一巻 ❸存 ❹金明経 ❺文化11三寅 ❻(冬大・冬大・四1三六)

殺三磨楽叉縛婆薩 ❶(日) Ses-sam-ma-sa-shaku-ben-zai-gi. ❷1巻 ❸存 ❹婆数経 ❺安永(冬大)

殺三磨楽叉秘決 ❶(日) Ses-sam-ma-sa-shaku-mi-shō-ketsu. 法花経殺三磨楽叉秘決 ❷1巻 ❸存・日本大蔵経六輯合冊普及版 ❹玄伴(享保三—寛政三 A. D. 1718—1791)述 ❺安永八(A. D. 1779)

❻本書は最も大師撰大乗法花経釈論巻1巻中の経釈部分中、特にて五門とした部分の要旨を解説する中の宗名を解釈するに当りて五門とした部分を抄出したもので、初三門に依名顕体の1段を註釈し、第四門に体相業用の1段を註釈し、第五門に内容は大乗法花経釈論巻1巻の中の1門を註釈して三段となした六種合釈のことで、印度の文法であるが、本書は能く其の精神を解釈して居る。

❼本書は最も大師撰大乗法花経釈論巻1巻の中の宗名を解釈するに当りて五門とした部分を抄出したもので、初三門に依名顕体の1段を註釈し、第四門に体相業用の1段を註釈し、第五門に内容は大乗法花経釈論巻1巻の中の1門を註釈して三段となした六種合釈のことで、印度の文法であるが、本書は能く其の精神を解釈して居る。

頃悉達王譜略 ❶(日) Sek-ki-zen-ji-go-roku. (支) Shih-k'nei-ch'an-shih-yü-lu. ❷五巻 ❸存 ❹清代頃撰 ❺(参考) 諡号目録

頃邪永 ❶(日)Seki-ja-ketsu. ❷11巻 ❸存 ❹寛永六刊 ❺(正大・1一九三・九九)

頃由大蔵施行賞之状 ❶(日)Seki-yū-dai-zen-ji-gyō-jitsu-no-jō. 一部頃由大蔵施行賞之状 ❷1巻 ❸存・続群書類従第九輯三四三 ❹後奈良院(文書類一天正七A. D. 1501—1579) ❺天文1五(A.D. 1546)元春三(A. D. 1570)改訂

❻幻住九年1一部頃由大蔵施行賞之状。続浄宗幻住守第九年、1一部頃由和尚(文安四一永正四 A. D. 1447—1507)の行状記である。

(山田雲林)

積善抄 ❶(日)Seki-gaku-shō. ❷真浄(一正元元 A. D. 1259) ❸(参考) 続浄土依憑経疏目録

関寺縁起 ❶(日) Seki-dera-en-gi. ❷1巻 ❸存・大日本仏教全書第1一1〇寺誌叢書第四 ❹常原院記 ❺寛喜三(A. D. 1025)六月1十日

❻近江国志賀郡関寺(後に半寺)の中興縁起で、時の左京権大夫忠房朝臣の著である。其の大意を見ん為に、今其関の寺に存する前年代も四百も不明な関寺の歴史を叙きつゝあつた。源信往生之を叙きつゝあつたが、彼の勧めに依り之が復興をするは、恒静観で静かにその始めを思ふ、寛仁1年より石像弥勒菩薩を刻してその本尊とし、寛仁1年先づ伽藍の造営を終り、治安元年造営を始め、後更に六角円堂を建立して像工なる康信に嘱して先づ六角堂の造営を終り、次に三重塔を建立して、次に講堂を建立して、次に回廊を建立して、次に南大門を建立して、次に鐘楼を建立して、次に経蔵を建立して、次に鼓楼を建立して、次に僧房を建立して、次に食堂を建立して、次に湯屋を建立して、次に井戸を建立して、次に厠を建立して、次に垣を建立して、次に門を建立して、次に橋を建立して、次に道を建立して、次に関を建立して、次に寺を建立して、次に山を建立して、次に谷を建立して、次に川を建立して、次に池を建立して、次に島を建立して、次に庭を建立して、次に園を建立して、次に林を建立して、次に森を建立して、次に野を建立して、次に原を建立して、次に田を建立して、次に畑を建立して、次に村を建立して、次に町を建立して、次に国を建立して、次に世を建立して、次に劫を建立して、次に仏を建立して、次に法を建立して、次に僧を建立して、次に三宝を建立して、次に一切衆生を建立して、次に十方三世を建立して、次に法界を建立して、次に虚空を建立して、次に無辺を建立して、次に不可思議を建立して、次に不可説を建立して、次に不可説不可説を建立して、次に不可説不可説転を建立して、次に不可説不可説転無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺を建立して、次に不可説不可説転無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量無数無辺無量

の古詩の集中より最も代表的な一百四首を採擇したもので、陸機文賦・劉勰文心雕龍・鍾嶸詩品等の古詩論と共に文學上の珍重すべき資料である。

（山田孝雄）

詩村路 ❶(日)Ses-son-roku. 詩村和尚語錄 ❷1卷 ❸存 ❹詩村友梓(正德三—貞和1| A. D. 1290—1346)語 ❺(參考) 日本國現存最古書目

詩賢和尚百詞語錄 ❶(日) Set-tan-o-shō-go-roku. (支) Hsüeh-t'an-ho-shang-yü-lu. ❷1卷 ❸存 ❹詩談和尚語錄 ❺(參考) 國書目錄

詩事和尚百副頌古 ❶(日)Sec-chō-o-shō-hyaku-soku-ju-ko. (支) Hsüeh-tou-ho-shang-pai-tsê-sung-ku. 雪竇重顯百則頌古 ❷1卷 ❸存，卍續二•二二•二 ❹宋雪竇重顯(太平興國五—慶曆四 A. D. 980—1052)頌古，圓悟克勤(宋紹興八—紹興五 A. D. 1063—1135)評唱 ❺本書は宗門第一書と稱せられる禪門の明珠を成すもので、明州雪竇山資聖寺の古則公案中より最も代表的な一百則を採擇し、頌古を以て其の旨趣を顯出されたもので、陸機文賦・劉勰文心雕龍の系統を引いた古則公案が實に多數の古則公案と見なされる。即ち本則と稱する一百則の古則公案に對して頌古と稱する一百則の頌古を作り成したものである。此の雪竇百則頌古を評唱したものが圓悟克勤の碧巖錄である。從つて本書に於ける一百則の古則公案の頌名並に其の列次は碧巖錄に其のまゝ使用されて居る。本書は宗曆より慶元に行はれたもので、我が國には文永元年の寫本が存する。明治三十二年の京都妙心寺定本版刊行の本書の刊行は、本書と頌古とを加へたもので、即ち碧巖錄と頌古とより許可を缺いたゞけのものであるから、見返しには碧巖頌古とある。

❺寛政四刊(高大・一•三五)　明治三八刊(文大・一•三五セ•九一一〇)　(大久保康順)

詩事和尚百則頌古圓悟禪師評唱節要

示衆語 ❶(日)Sec-chō-o-shō-hyaku-soku-ju-ko-en-go-zen-ji-sui-ji-jaku-go. (支) Hsüeh-tou-ho-shang-pai-tsê-sung-ku-huan-wu-ch'an-shih-ch'ui-shih-cho-yü. ❷十卷 ❸存，大正四八•一三九No. 2003，卍續二•二二•二 ❹宋圓悟克勤(宋紹興八—紹興五 A. D. 1063—1135)

詩事和尚明覺大師雪竇集

❶(日)Sec-chō-o-shō-myō-kaku-dai-shi-baku-sen-shū. (支) Hsüeh-tou-hō-shang-ming-chüeh-ta-shih-pao-chüan-chi. ❷1卷 ❸存 ❹宋雪竇重顯(太平興國五—慶曆四 A. D. 980—1052) ❺(參考) 國書目錄

詩事國譯語語錄 ❶(日) Sec-chō-ken-zen-ji-go-roku. (支)Hsüeh-tou-hsien-ch'an-shih-yü-lu. 雪竇所集大師語錄 ❷二卷 ❸存，卽頌古集錄卷四 ❹宋雪竇重顯(太平興國五—慶曆四 A. D. 980—1052)語 ❺洽光緒四刊 ❻(參考)

詩事頌古直註 ❶(日)Sec-chō-ju-ko-jiki-chū. (支) Hsüeh-tou-sung-ku-chih-chu. 雪竇老人天谷直註雪竇重顯和尚頌古 ❷二卷 ❸存，卍續二•二二•三 ❹明本覆(一弘治元 A. D. 1488—)頌註，頌古集錄

❺本書は雪竇和尚百則頌古に註を附して直ちに大意を掲げ註釋を施して其の玄妙なる點に直入せしめんとしたものである。卽ち十九年，洪都住興の隱老人天谷本瑞

如原士素雄宣刊 ❹宋天禧五年（A. D. 1021）王欽若等奉勅撰 ❺一〇〇巻 ❻存 ❼（参考）冊府元龜

冊府元龜 ❶（日）Sep-pu-gen-kui. （支）Tsʻe-fu-yüan-kuei. ❷一〇〇巻 ❸存 ❹宋天禧五年（A. D. 1021）王欽若等奉勅撰 ❺

る。要之本書は衣食の成參の構成たる作者の思惟なるも、組織不良に帶屬成の大綱を說示せるとはで、初學者に好個の參考と成るべきものなり。

❸明和元刊 ❹〔正大〕一一八八・八)

(森本健雄)

說戒大略 ❶(日)Sek-kai-tai-ryaku. ❷一卷 ❸存 ❹〔參考〕 書籍目錄

說戒略要 ❶(日)Sek-kai-ryaku-yō. ❷一卷 ❸存 ❹大系經 ❺〔參考〕 書籍目錄

說教惟中策 ❶(日) Sek-kyō-i-chū-saku. 聽中策 ❷三卷或八卷 ❸存 ❹井上哲次郎(天保一一明治四四 A. D. 1839—1885)撰 ❺明治一三刊(帝國〔五・一四八〕明治一三刊(正大〔一五五八・三六〕明治二〇刊(正大〔一五五八・八八一〕)

說教惟中策 ❶(日)Sek-kyō-i-chū-saku. 聽註說教惟中策 ❷八卷 ❸存 ❹春澤註 ❺明治三六刊(帝國〔四四・一一〕明治三一刊(谷大〔修洋・一一〇)

說教惟中策摘要 ❶(日) Sek-kyō-i-chū-saku-zoku-hen. ❸存 ❹今田惠定述 ❺明治二七刊 ❻〔帝國〔五・一四八〕

說教引用和歌五百題 ❶(日) Sek-kyō-in-yō-wa-ka-go-hyaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹其鈔安達編 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五五〕

說教演說講習錄 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-kō-shū-roku. ❷一卷 ❸存 ❹真宗明教會述 ❺明治三二刊 ❻〔谷大〔修洋・一〇七)

說教演說材料集 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-zai-ryō-shū. ❷一卷 ❸存 ❹土屋彥輔、加藤明全共編 ❺明治三〇刊 ❻〔谷大〔宗洋・五六〕

說教演說無盡藏 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-mu-jin-zō. 法雨會說 ❷二卷 ❸存 ❹手塚岸眞編 ❺明治三三刊 ❻〔正大〕一〇九・一七一〕〔帝國〔七三・一一五〕

說教學 ❶(日)Sek-kyō-gaku. 改良新說教學 ❷一卷 ❸存 ❹小原貞行編 ❺明治二二刊 ❻〔谷大〔宗洋・二六〕

說教組立法 ❶(日) Sek-kyō-kumitate-hō. ❸存〔參證佛書說話附錄 ❹新井石龕(元祿元一昭和二) A. D. 1864—1927)述 ❺大正六刊 ❻〔駒大〕

說教活眼 ❶(日) Sek-kyō-kwatsu-gan. ❷三卷 ❸存 ❹法藏館編 ❺明治二四刊 ❻〔谷大〔宗洋・一一三〕

說教故事因緣集 ❶(日) Sek-kyō-ko-ji-inn-en-shū. ❷一卷 ❸存 ❹大寬文編輯 ❺明治二五刊 ❻〔帝國〔六六・一〇二〕

說教五十題略辨 ❶(日) Sek-kyō-go-jū-dai-ryaku-ben. 說教說教五十題略辨 ❷三卷 ❸存 ❹福田榮城編 ❺刊年〔谷大〔宗小・九八〕

說教三百題 ❶(日) Sek-kyō-sam-byaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹淺慧佛全編 ❺明治一五刊 ❻〔正大〕一〇九・一五三)

說教三百題 ❶(日) Sek-kyō-sam-byaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹片岡寬三編 ❺刊年〔正大〕一〇九・一五四)

說教要文 ❶(日) Sek-kyō-san-dai-yō-mon. ❷一卷 ❸存 ❹井上秋濤(天保一〇一明治一八 A. D. 1839—1885)編 ❺明治一三刊 ❻〔帝國〔七・三八〕

說教士女訓 ❶(日)Sek-kyō-shi-jo-kun. ❷二卷 ❸存 ❹前谷大周(一大正九 A. D. 1920)編 ❺明治三〇刊 ❻〔正大〕一五五八・四七)

說教自在 ❶(日)Sek-kyō-ji-zai. ❷二十卷 ❸存 ❹行和 ❺明治九刊(正大〔一〇九・二五一〕明治一一刊(正大〔一〇九・二四九)

說教自由辨 ❶(日) Sek-kyō-ji-yū-ben. 安心直語說教自由辨 ❷一卷 ❸存 ❹安藤覺順述 ❺明治三五刊 ❻〔駒大〕

說教集妙 ❶(日)Sek-kyō-shū-myō. ❷一卷 ❸存 ❹高岡智龍(文政六一明治一六 A. D. 1823—1893)述 ❺明治一二刊 ❻〔大〕一・五六〕〔宮城〕

說教總裁論 ❶(日) Sek-kyō-tei-sai-ron. ❷一卷 ❸存 ❹瑞秀法霖 ❺明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七四〕三四七)

說教道話 ❶(日) Sek-kyō-dō-wa. ❷一卷 ❸存 ❹宇宮參學寮述 ❺明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七〇)

說教集歌集 ❶(日) Sek-kyū-dō-kashū. ❸存〔說教手引草附錄 ❹前谷大周(一大正九 A. D. 1920)編 ❺明治六一七刊刊 ❻〔駒大〕一〇九九・一三八)

說教拳拳五百題 ❶(日) Sek-kyō-hi-yu-go-hyaku-dai. ❷二卷 ❸存 ❹安藤正純編 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五四)

說教要集 ❶(日) Sek-kyō-yō-shū. ❷七卷 ❸存 ❹盧圓 ❺文化一一刊 ❻〔正大〕一五五八・六〕〔宮城〕

說教要覽 ❶(日) Sek-kyō-yō-ran. 續說三條說教要覽 ❷三卷 ❸存 ❹明治四刊 ❻〔谷大〕

說教員材集 ❶(日) Sek-kyō-ryō-zai-shū. ❷二卷 ❸存 ❹兒玉寬調 ❺明治一〇刊 ❻〔正大〕一〇九・二五五)

說教員錄集 ❶(日) Sek-kyō-ryō-ben-shū. ❷一卷 ❸存 ❹廣井觀圭(一寬政一一 A. D. 1799)撰 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五一〕

說教類聚 ❶(日)Sek-kyō-rui-jū. ❷五卷 ❸存 ❹德川宗賢撰 ❺明治一六刊 ❻〔帝國〔六五・一一九〕

說教論題 ❶(日) Sek-kyō-ron-dai. ❷一卷 ❸存 ❹明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七一〕

說經 ❶(日) Sek-kyō. (支) Shuo-ching. ❸存〔中阿含經第四六(大正一・七一六 No. 26. 177)

說矩里迦龍王像法 ❶(日) Setsu-ku-ri-ka-ryū-ō-zō-hō. (支)Shuo-chū-li-chia-lung-wang-hsiang-fa. 說矩里迦龍王像法〔一名說龍王像法 ❷一卷 ❸存〔大正二一・三八 No. 1207〕編者不詳 ❹矩里迦龍王に就て、說龍王經等未收(第四)によれば小型雲龍王とも云ふ。本は黑龍と稱す。龍は雲雨を主じ、蛇は三毒を表す。蛇は龍族あり、若龍となるは最後なり、水中に住むは食盛なり。終らは乃ち蛟

り、水中に住むは食盛なり。終らは乃ち蛟ざることを顯す。故に龍王(三毒)經の參照)

❸明和元刊 ❹〔正大〕一一八八・八)

(森本健雄)

說戒大略 ❶(日)Sek-kai-tai-ryaku. ❷一卷 ❸存 ❹〔參考〕 書籍目錄

說戒略要 ❶(日)Sek-kai-ryaku-yō. ❷一卷 ❸存 ❹大系經 ❺〔參考〕 書籍目錄

說教惟中策 ❶(日) Sek-kyō-i-chū-saku. 聽中策 ❷三卷或八卷 ❸存 ❹井上哲次郎(天保一〇一明治一八 A. D. 1839—1885)撰 ❺明治二二刊(帝國〔五・一四八〕明治一三刊(正大〔一五五八・三六〕明治二〇刊(正大〔一五五八・八八一〕)

說教惟中策 ❶(日)Sek-kyō-i-chū-saku. 聽註說教惟中策 ❷八卷 ❸存 ❹春澤註 ❺明治三六刊(帝國〔四四・一一〕明治三一刊(谷大〔修洋・一一〇)

說教惟中策摘要 ❶(日) Sek-kyō-i-chū-saku-zoku-hen. ❸存 ❹今田惠定述 ❺明治二七刊 ❻〔帝國〔五・一四八〕

說教引用和歌五百題 ❶(日) Sek-kyō-in-yō-wa-ka-go-hyaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹其鈔安達編 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五五〕

說教演說講習錄 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-kō-shū-roku. ❷一卷 ❸存 ❹真宗明教會述 ❺明治三二刊 ❻〔谷大〔修洋・一〇七)

說教演說材料集 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-zai-ryō-shū. ❷一卷 ❸存 ❹土屋彥輔、加藤明全共編 ❺明治三〇刊 ❻〔谷大〔宗洋・五六〕

說教演說無盡藏 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-mu-jin-zō. 法雨會說 ❷二卷 ❸存 ❹手塚岸眞編 ❺明治三三刊 ❻〔正大〕一〇九・一七一〕〔帝國〔七三・一一五〕

說教學 ❶(日)Sek-kyō-gaku. 改良新說教學 ❷一卷 ❸存 ❹小原貞行編 ❺明治二二刊 ❻〔谷大〔宗洋・二六〕

說教組立法 ❶(日) Sek-kyō-kumitate-hō. ❸存〔參證佛書說話附錄 ❹新井石龕(元祿元一昭和二) A. D. 1864—1927)述 ❺大正六刊 ❻〔駒大〕

說教活眼 ❶(日) Sek-kyō-kwatsu-gan. ❷三卷 ❸存 ❹法藏館編 ❺明治二四刊 ❻〔谷大〔宗洋・一一三〕

說教故事因緣集 ❶(日) Sek-kyō-ko-ji-inn-en-shū. ❷一卷 ❸存 ❹大寬文編輯 ❺明治二五刊 ❻〔帝國〔六六・一〇二〕

說教五十題略辨 ❶(日) Sek-kyō-go-jū-dai-ryaku-ben. 說教說教五十題略辨 ❷三卷 ❸存 ❹福田榮城編 ❺刊年〔谷大〔宗小・九八〕

說教三百題 ❶(日) Sek-kyō-sam-byaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹淺慧佛全編 ❺明治一五刊 ❻〔正大〕一〇九・一五三)

說教三百題 ❶(日) Sek-kyō-sam-byaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹片岡寬三編 ❺刊年〔正大〕一〇九・一五四)

說教要文 ❶(日) Sek-kyō-san-dai-yō-mon. ❷一卷 ❸存 ❹井上秋濤(天保一〇一明治一八 A. D. 1839—1885)編 ❺明治一三刊 ❻〔帝國〔七・三八〕

說教士女訓 ❶(日)Sek-kyō-shi-jo-kun. ❷二卷 ❸存 ❹前谷大周(一大正九 A. D. 1920)編 ❺明治三〇刊 ❻〔正大〕一五五八・四七)

說教自在 ❶(日)Sek-kyō-ji-zai. ❷二十卷 ❸存 ❹行和 ❺明治九刊(正大〔一〇九・二五一〕明治一一刊(正大〔一〇九・二四九)

說教自由辨 ❶(日) Sek-kyō-ji-yū-ben. 安心直語說教自由辨 ❷一卷 ❸存 ❹安藤覺順述 ❺明治三五刊 ❻〔駒大〕

說教集妙 ❶(日)Sek-kyō-shū-myō. ❷一卷 ❸存 ❹高岡智龍(文政六一明治一六 A. D. 1823—1893)述 ❺明治一二刊 ❻〔大〕一・五六〕〔宮城〕

說教總裁論 ❶(日) Sek-kyō-tei-sai-ron. ❷一卷 ❸存 ❹瑞秀法霖 ❺明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七四〕三四七)

說教道話 ❶(日) Sek-kyō-dō-wa. ❷一卷 ❸存 ❹宇宮參學寮述 ❺明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七〇)

說教集歌集 ❶(日) Sek-kyū-dō-kashū. ❸存〔說教手引草附錄 ❹前谷大周(一大正九 A. D. 1920)編 ❺明治六一七刊刊 ❻〔駒大〕一〇九九・一三八)

說教拳拳五百題 ❶(日) Sek-kyō-hi-yu-go-hyaku-dai. ❷二卷 ❸存 ❹安藤正純編 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五四)

說教要集 ❶(日) Sek-kyō-yō-shū. ❷七卷 ❸存 ❹盧圓 ❺文化一一刊 ❻〔正大〕一五五八・六〕〔宮城〕

說教要覽 ❶(日) Sek-kyō-yō-ran. 續說三條說教要覽 ❷三卷 ❸存 ❹明治四刊 ❻〔谷大〕

說教員材集 ❶(日) Sek-kyō-ryō-zai-shū. ❷二卷 ❸存 ❹兒玉寬調 ❺明治一〇刊 ❻〔正大〕一〇九・二五五)

說教員錄集 ❶(日) Sek-kyō-ryō-ben-shū. ❷一卷 ❸存 ❹廣井觀圭(一寬政一一 A. D. 1799)撰 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五一〕

說教類聚 ❶(日)Sek-kyō-rui-jū. ❷五卷 ❸存 ❹德川宗賢撰 ❺明治一六刊 ❻〔帝國〔六五・一一九〕

說教論題 ❶(日) Sek-kyō-ron-dai. ❷一卷 ❸存 ❹明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七一〕

說經 ❶(日) Sek-kyō. (支) Shuo-ching. ❸存〔中阿含經第四六(大正一・七一六 No. 26. 177)

說矩里迦龍王像法 ❶(日) Setsu-ku-ri-ka-ryū-ō-zō-hō. (支)Shuo-chū-li-chia-lung-wang-hsiang-fa. 說矩里迦龍王像法〔一名說龍王像法 ❷一卷 ❸存〔大正二一・三八 No. 1207〕編者不詳 ❹矩里迦龍王に就て、說龍王經等未收(第四)によれば小型雲龍王とも云ふ。本は黑龍と稱す。龍は雲雨を主じ、蛇は三毒を表す。蛇は龍族あり、若龍となるは最後なり、水中に住むは食盛なり。終らは乃ち蛟

ざることを顯す。故に龍王(三毒)經の參照)

說教惟中策摘要 ❶(日) Sek-kyō-i-chū-saku-zoku-hen. ❸存 ❹今田惠定述 ❺明治二七刊 ❻〔帝國〔五・一四八〕

說教引用和歌五百題 ❶(日) Sek-kyō-in-yō-wa-ka-go-hyaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹其鈔安達編 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五五〕

說教演說講習錄 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-kō-shū-roku. ❷一卷 ❸存 ❹真宗明教會述 ❺明治三二刊 ❻〔谷大〔修洋・一〇七)

說教演說材料集 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-zai-ryō-shū. ❷一卷 ❸存 ❹土屋彥輔、加藤明全共編 ❺明治三〇刊 ❻〔谷大〔宗洋・五六〕

說教演說無盡藏 ❶(日) Sek-kyō-en-zetsu-mu-jin-zō. 法雨會說 ❷二卷 ❸存 ❹手塚岸眞編 ❺明治三三刊 ❻〔正大〕一〇九・一七一〕〔帝國〔七三・一一五〕

說教學 ❶(日)Sek-kyō-gaku. 改良新說教學 ❷一卷 ❸存 ❹小原貞行編 ❺明治二二刊 ❻〔谷大〔宗洋・二六〕

說教組立法 ❶(日) Sek-kyō-kumitate-hō. ❸存〔參證佛書說話附錄 ❹新井石龕(元祿元一昭和二) A. D. 1864—1927)述 ❺大正六刊 ❻〔駒大〕

說教活眼 ❶(日) Sek-kyō-kwatsu-gan. ❷三卷 ❸存 ❹法藏館編 ❺明治二四刊 ❻〔谷大〔宗洋・一一三〕

說教故事因緣集 ❶(日) Sek-kyō-ko-ji-inn-en-shū. ❷一卷 ❸存 ❹大寬文編輯 ❺明治二五刊 ❻〔帝國〔六六・一〇二〕

說教五十題略辨 ❶(日) Sek-kyō-go-jū-dai-ryaku-ben. 說教說教五十題略辨 ❷三卷 ❸存 ❹福田榮城編 ❺刊年〔谷大〔宗小・九八〕

說教三百題 ❶(日) Sek-kyō-sam-byaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹淺慧佛全編 ❺明治一五刊 ❻〔正大〕一〇九・一五三)

說教三百題 ❶(日) Sek-kyō-sam-byaku-dai. ❷一卷 ❸存 ❹片岡寬三編 ❺刊年〔正大〕一〇九・一五四)

說教要文 ❶(日) Sek-kyō-san-dai-yō-mon. ❷一卷 ❸存 ❹井上秋濤(天保一〇一明治一八 A. D. 1839—1885)編 ❺明治一三刊 ❻〔帝國〔七・三八〕

說教士女訓 ❶(日)Sek-kyō-shi-jo-kun. ❷二卷 ❸存 ❹前谷大周(一大正九 A. D. 1920)編 ❺明治三〇刊 ❻〔正大〕一五五八・四七)

說教自在 ❶(日)Sek-kyō-ji-zai. ❷二十卷 ❸存 ❹行和 ❺明治九刊(正大〔一〇九・二五一〕明治一一刊(正大〔一〇九・二四九)

說教自由辨 ❶(日) Sek-kyō-ji-yū-ben. 安心直語說教自由辨 ❷一卷 ❸存 ❹安藤覺順述 ❺明治三五刊 ❻〔駒大〕

說教集妙 ❶(日)Sek-kyō-shū-myō. ❷一卷 ❸存 ❹高岡智龍(文政六一明治一六 A. D. 1823—1893)述 ❺明治一二刊 ❻〔大〕一・五六〕〔宮城〕

說教總裁論 ❶(日) Sek-kyō-tei-sai-ron. ❷一卷 ❸存 ❹瑞秀法霖 ❺明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七四〕三四七)

說教道話 ❶(日) Sek-kyō-dō-wa. ❷一卷 ❸存 ❹宇宮參學寮述 ❺明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七〇)

說教集歌集 ❶(日) Sek-kyū-dō-kashū. ❸存〔說教手引草附錄 ❹前谷大周(一大正九 A. D. 1920)編 ❺明治六一七刊刊 ❻〔駒大〕一〇九九・一三八)

說教拳拳五百題 ❶(日) Sek-kyō-hi-yu-go-hyaku-dai. ❷二卷 ❸存 ❹安藤正純編 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五四)

說教要集 ❶(日) Sek-kyō-yō-shū. ❷七卷 ❸存 ❹盧圓 ❺文化一一刊 ❻〔正大〕一五五八・六〕〔宮城〕

說教要覽 ❶(日) Sek-kyō-yō-ran. 續說三條說教要覽 ❷三卷 ❸存 ❹明治四刊 ❻〔谷大〕

說教員材集 ❶(日) Sek-kyō-ryō-zai-shū. ❷二卷 ❸存 ❹兒玉寬調 ❺明治一〇刊 ❻〔正大〕一〇九・二五五)

說教員錄集 ❶(日) Sek-kyō-ryō-ben-shū. ❷一卷 ❸存 ❹廣井觀圭(一寬政一一 A. D. 1799)撰 ❺明治三一刊 ❻〔谷大〔宗洋・五一〕

說教類聚 ❶(日)Sek-kyō-rui-jū. ❷五卷 ❸存 ❹德川宗賢撰 ❺明治一六刊 ❻〔帝國〔六五・一一九〕

說教論題 ❶(日) Sek-kyō-ron-dai. ❷一卷 ❸存 ❹明治六刊 ❻〔正大〕一〇九・一七一〕

說經 ❶(日) Sek-kyō. (支) Shuo-ching. ❸存〔中阿含經第四六(大正一・七一六 No. 26. 177)

說矩里迦龍王像法 ❶(日) Setsu-ku-ri-ka-ryū-ō-zō-hō. (支)Shuo-chū-li-chia-lung-wang-hsiang-fa. 說矩里迦龍王像法〔一名說龍王像法 ❷一卷 ❸存〔大正二一・三八 No. 1207〕編者不詳 ❹矩里迦龍王に就て、說龍王經等未收(第四)によれば小型雲龍王とも云ふ。本は黑龍と稱す。龍は雲雨を主じ、蛇は三毒を表す。蛇は龍族あり、若龍となるは最後なり、水中に住むは食盛なり。終らは乃ち蛟

十一卷 ❻存 ❼牛栗(大本四—慶長一〇 A. D. 1524—1605)寫 ❽語彙四刊 ❾(京大)一・一四(正大)一〇八・八)

說法幸言鈔 ❶(日)Sep-pō-sen-gon-shō. ❷三卷 ❻存 ❼寂恕(元祿保元—享保六 A. D. 1644—1721) ❽享保十六刊 ❾(谷大)宗大・一二七四九)(龍大)一〇五五・一〇五)

說法攝因善集 ❶(日) Sep-pō-zoku-inn-en-shū. 續文令續說法攝因善集 ❷四冊(缺一・二)帙) ❻存 ❼元祿五刊 ❾(龍大)爸・一・一四)

說法大因善集 ❶(日) Sep-pō-dai-inn-en-shū. 三國令續說法大因善集 ❷三卷 ❻存 ❼即法二六刊 ❾(谷大)宗井・三六)

說法聽聞書 ❶(日)Sep-pō-chō-mon-sho. ❷一卷 ❻存 ❼日立 ❾刊本(谷大)爸大・一二四七七)(龍大)一三六九九・一四(評價)

說法聽聞書 ❶(日)Sep-pō-chō-mon-sho. ❷一卷 ❻存 ❼弘化二刊 ❾(龍大)一三六九九・一三)

說法難值經 ❶(日) Sep-pō-nan-chi-kyō. (支)Shuo-fa-nan-chih-ching. ❷一卷 ❸失譯 ❹出曜經第十一卷の抄出。 ❺〔參考〕出三藏記集四(法經錄第三)歷三(開元錄第二)大(貞元錄第二)六 ❻存 ❼七卷

說法百喻國 ❶(日) Sep-pō-hyaku-kwa-en. ❷一卷 ❻存 ❼享保前刊(一享保五 A. D. 1720—)遠 ❽明治二九刊

說法和歌王鹿鈔 ❶(日) Sep-pō-wa-ka-gyoku-shō-shō. ❷八卷 ❻存 ❽元文三刊(龍大)一〇五五・一〇九)

說法和歌玄賞抄 ❶(日) Sep-pō-wa-ka-shi-tan-shō. 法華學會說法和歌玄賞抄 ❷七卷 ❻存 ❼洪宇(一享保六 A. D. 1731) ❽元文元刊 ❾(谷大)宗大・八三九)(正大)一〇九・一七九)

說本經 ❶(日) Setsu-hon-gyō. (支) Shuo-pēn-ching. (巴) Thera G. 910-919. ❺佛註 ❻存 中阿含經第一三(大正一・五〇八 No. 26. 66)

說文字內篇 ❶(日)Setsu-bon-ji-nai-yū. (支) Shno-fan-tzū-nai-yu. ❷一卷 ❺〔參考〕書誌語彙法門參日錄

說抄法決定業障經 ❶(日) Setsu-myō-hō-ketsu-jō-gos-shō-kyō. (支) Shuo-miao-fa-chüeh-ting-yeh-chang-ching. 抄法決定業障經 抄法決業障經 水陸業障經 ❷一卷 ❻存 大正一七・九一一 No. 841 續帝七 卍一〇・七 北257 南258 普260 明北273 資273 南258 資261 新236 法250 重334 改 明重249 初 Nj. 277 ❽新譯

❽唐開元九(A. D. 721)

❾支那撰述の佛書は大家功德記の如き一部を除き大抵は參考の爲めに掲げたるものとす。本經は支那撰述の佛書中最も普及せるものの一にして、支那人の著作には數多の引用あり。又支那人の著作には數多の引用あり。又支那人の著作には數多の引用あり。又

建立された。

十三經 漢籍 ❶ (中)Shih-san-ching. (日)Jū-san-kyō. 中国の十三種の経書。すなわち、周易・尚書・毛詩・周礼・儀礼・礼記・春秋左氏伝・春秋公羊伝・春秋穀梁伝・論語・孝経・爾雅・孟子。

十三經注疏 漢籍 ❶ (中)Shih-san-ching-chu-shu. (日)Jū-san-kyō-chū-sho. 十三経に注釈を施したもの。

十三代集 和歌 ❶ 勅撰和歌集の総称。古今和歌集から新続古今和歌集までの十三集。

十三代實録 歴史 ❶ (中)Shih-san-tai-shih-lu. (日)Jū-san-dai-jitsu-roku. 六国史の第六。清和天皇から光孝天皇までの三代の編年体の歴史。

十三湊 地名 ❶ 青森県北津軽郡市浦村の地名。中世、安東氏の根拠地として栄えた。

十三湊遺跡 史跡 ❶ 青森県北津軽郡市浦村にある遺跡。中世、安東氏の根拠地として栄えた。

十三夜 年中行事 ❶ 陰暦九月十三日の夜。月見をする。

十三里 地名 ❶ 山形県西置賜郡小国町の地名。

十三里 地名 ❶ 埼玉県川越市の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県香取郡多古町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県山武郡芝山町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県夷隅郡大多喜町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県夷隅郡御宿町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県夷隅郡大原町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県安房郡丸山町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県安房郡三芳村の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県安房郡富山町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県安房郡白浜町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県安房郡千倉町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県安房郡和田町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県君津郡小櫃村の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県君津郡君津町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県君津郡富津町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県君津郡袖ケ浦町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡市原町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡八幡町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡牛久町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡加茂町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡鶴舞町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡上総町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡菊間町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡姉崎町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡三和町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡市津町の地名。

十三里 地名 ❶ 千葉県市原郡五井

名所行旨● (名所巡)名所見物● 月々の行事● (年々恒例行事)恒例● 式● 祭● 祭礼● (名祭)名物● 風俗● 風俗文献

千二百五十巻 四庫全書(一)(清)

千二百五十巻 冊府元龜(宋)王欽若・楊億等撰 ❶(日)Sen-ni-hyaku-go-jū-kan ❷(中)Ts'e-fu yüan-kuei(Sung)Wang Ch'in-jo, Yang I ❸(韓)Ch'aek-pu wŏn-kwi(Song)Wang Kŭm-yak, Yang Ŭi ❹(英)Tsefu yüan-kuei ❺(仏)Ts'e-fou yuan-koei ❻(独)Tse-fu yüan-kuei ❼(露)Цэфу юаньгуй(Tsefu yuan-gui) ❽(蒙)Цэ фү юань гүй(Tse fü yuan güi) ❾(満)ᡩᡝ ᡶᡠ ᡳᡠᠸᠠᠨ ᡤᡠᡳ(De fu iowan gui) ❿(西)Tse-fu yüan-kuei ⓫(葡)Tse-fu yüan-kuei ⓬(羅)Tse-fu yüan-kuei ⓭(越)Sách phủ nguyên quy

北宋の王欽若・楊億等が勅命を奉じて編纂した歴代君臣の事績の類書。1005年成立。1000巻。帝王・僭偽・将帥・宰輔・台諫・邦計・宗室・外戚・内臣・国史・学校・刑法・閏位・総録・姦臣・奸幸・貢挙・銓選・封建・郊廟・礼儀・政要・法制・詞学・経術・武功・強国・和親・外臣・災異・符瑞・赦宥・田制・都邑・水利・屯田・互市・市糴・蠲復・卹災・邦計・儲祥・牧守・令長・宮掖・総録・僣偽・叛臣・内臣・外戚・宗室・奸幸・姦臣・閏位・悖徳・暴虐・弁誣・譴責・自新・無将・不臣・失政・任用・相位・将帥・総録・文学・武功・親征・料敵・選将・練兵・励士・治軍・屯戍・器甲・馬政・奉使・聘享・和親・交隣・来遠・請求・納降・通好・助国・征討・備御・審敵・形勢・険阻・守邊・邊防・総録・外臣・災異・符瑞・赦宥・崇道・尊号・冊命・恩沢・巡幸・礼儀・郊廟・親祠・奉先・廟制・学校・崇儒・講経・経術・詞学・刑法・定律・議法・断獄・詳刑・明慎・総録・邦計・田制・屯田・漕運・平糴・蠲復・卹災・倉庫・会計・山沢・水利・貢挙・条制・総録・銓選・考課・奨労・封建・世系・継嗣・宗室・外戚・内臣・総録・国史・編次・刊誤・官制・官号・職員・台諫・総録

(A. D. 627—653)
◎千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経の下を見よ。

千手経 ❶(日)Sen-ju-kyō.(支)Ch'ien-shou-ching. 千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経 ❷1巻 ❸No. 1060" 編目四" 卍続1・三・三 ❹唐不空(開元一天宝頃 A. D. 705—774)
◎千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経の下を見よ。

千手経開題 ❶(日)Sen-ju-kyō-kai-dai. ❷1巻 ❸弘法(真言宗一本流 A. D. 774—835) ❹(参考) 諸宗教理綱要三

千手経請来記 ❶(日) Sen-ju-kyō-jup-pi-ki. ❷現存1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊八和田清氏編 ❹国会(慈覚大一貞観頃 A. D. 814—891)

千手経請来録 ❶(日) Sen-ju-kyō-jup-pi-shō. ❷三巻 ❸No. 日本大蔵経補遺仏祖統紀下 ❹成尋(永保三一貞治元 A. D. 1173—1232)頃
◎千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経の註釈にして成尋の聞知と云はれてゐる。始しもの出づる医薬の古諺を引き上の成事に「康保元年八月十四日於越後守宅聞説此事」とあるを以て見れば、恐らくは右成尋とは別人ならん。

千手経題 ❶(日) Sen-ju-kyō-sho. (支)C h'ien-shou-ching-su. ❷三巻 ❸〔参考〕 東域伝燈目録参上

千手経疏 ❶(日) Sen-ju-kyō-sho. (支)Ch'ien-shou-ching-su. 千手経 ❷三巻 ❸東域伝燈目録A. D. 632—682)頃 ❹(参考) 註釈書現存目録

千手経集験記 ❶(日) Sen-ju-kyō-toku-mō-ki. 千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼霊験記 ❷五巻 ❸No. 大日本仏教全書 ❹中観 ❺延喜五年
◎(参考)大日本仏教全書(慈恵大僧正伝)

千手経二十八部衆儀 ❶(日) Sen-ju-kyō-ni-jū-hachi-bu-shū-shaku. 十百手陀羅尼令観音名号経千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経二十八部衆形像名号讃嘆儀 ❷1巻 ❸No. 大正六1・七四九No. 2243 ❹宋慶(一天七元 A. D. 1108—)頃
◎千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経の下に記せる天竜等二十八部衆形像中の一を見よ。
◎(参考) 諸宗教理綱要三

千手経音義 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-hō. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹慶暹(唐宋三一建暦三後 A. D. 1143—1212—)頃 ❺足利時代(室町末期)写(東寺観智院)

千手経音訓仏名決略 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-yu-ga-gem-pi-ryaku. 千手観音修習瑜伽支謎略 ❷三巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経音義 ❶(日) Sen-ju-kwann-on. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹慶暹(唐宋三一建暦三後 A. D. 1143—1212—)頃

千手経音義一字五重法 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-is-shuku-go-hen-hō. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経音義大綱 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-gyō-bō-shi-dai. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経開題 ❶(日) Sen-ju-kyō-kai-dai. ❷1巻 ❸弘法(真言宗一本流 A. D. 774—835) ❹(参考) 諸宗教理綱要三

千手経請来記 ❶(日) Sen-ju-kyō-jup-pi-ki. ❷現存1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊八和田清氏編 ❹慧超(唐宋五一天宝頃 A. D. 814—891)

千手経請来録 ❶(日) Sen-ju-kyō-jup-pi-shō. ❷三巻 ❸No. 日本大蔵経補遺仏祖統紀下 ❹成尋(永保三一貞治元 A. D. 1173—1232)頃
◎千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経の註釈にして成尋の聞知と云はれてゐる。始しもの出づる医薬の古諺を引き上の成事に「康保元年八月十四日於越後守宅聞説此事」とあるを以て見れば、恐らくは右成尋とは別人ならん。

千手経題 ❶(日) Sen-ju-kyō-sho. (支)C h'ien-shou-ching-su. ❷三巻 ❸〔参考〕 東域伝燈目録参上

千手経疏 ❶(日) Sen-ju-kyō-sho. (支)Ch'ien-shou-ching-su. 千手経 ❷三巻 ❸東域伝燈目録A. D. 632—682)頃 ❹(参考) 註釈書現存目録

千手経集験記 ❶(日) Sen-ju-kyō-toku-mō-ki. 千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼霊験記 ❷五巻 ❸No. 大日本仏教全書 ❹中観 ❺延喜五年
◎(参考)大日本仏教全書(慈恵大僧正伝)

千手経二十八部衆儀 ❶(日) Sen-ju-kyō-ni-jū-hachi-bu-shū-shaku. 十百手陀羅尼令観音名号経千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経二十八部衆形像名号讃嘆儀 ❷1巻 ❸No. 大正六1・七四九No. 2243 ❹宋慶(一天七元 A. D. 1108—)頃
◎千手千眼観世音菩薩広大円満無碍大悲心陀羅尼経の下に記せる天竜等二十八部衆形像中の一を見よ。
◎(参考) 諸宗教理綱要三

千手経音義 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-hō. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹慶暹(唐宋三一建暦三後 A. D. 1143—1212—)頃 ❺足利時代(室町末期)写(東寺観智院)

千手経音訓仏名決略 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-yu-ga-gem-pi-ryaku. 千手観音修習瑜伽支謎略 ❷三巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経音義大綱 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-gyō-bō-shi-dai. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経音義一字五重法 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-is-shuku-go-hen-hō. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経音義目録 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-mok-ro-ku. ❷1巻 ❸No. 大日本仏教全書遊方伝叢刊四 ❹宗性(鎌倉一建長頃 A. D. 1249—1256)頃

千手経音義略 ❶(日) Sen-ju-kwann-on-ryaku

名所行旨● (名東書)消滅所収● 月々の問題● (青木少将問題)漢文● 国際学内● 代々伝承● 系統● 肢分● 肢体● (名詞)名前● 異称文献

法住処大聖観世音菩薩 (三)❶ 法住処大聖観世音菩薩 (Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-ju-gyo-ho.)

法住処大聖観世音菩薩 (三)❶ 法住処大聖観世音菩薩 (Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-gyo.)

法住処大聖観世音菩薩 (三)❶ 法住処大聖観世音菩薩 (Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-ju-gyo-ho.) 漢訳名は千手千眼観世音菩薩大悲心陀羅尼経(大正二〇・一〇三上)。

-ju-da-ra-ni-kyō-jup-pi-shō. 千手觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日) 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經下卷 ❷兩卷(宋法天譯—貞元A. D. 1173—1232)錄 ❸千手觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❹實文人用 ❺(谷大・參大・川人四)

千手陀羅尼經觀察記 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō-hō-nyū-ki. 千手陀羅尼觀察記 ❷四卷 ❸存 ❹宋法(宋元祐二年—貞享二年A. D. 1086—1685)著 ❺諸書三用 ❻(谷大・參大・五大・五文)(龍・お・八・右・川三六)

千手陀羅尼註 ❶(日)Sen-ju-da-ra-ni-chū. ❷一卷 ❸闕已(國寶六 A. D. 794—864)錄 ❹(參考) 密乘觀想日錄・山家三觀義私記日錄參上

千手寶鑑記 ❶(日) Sen-ju-toku-mō-ki. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經觀音寶鑑記 ❷寫卷 ❸存 ❹中書 ❺(正大・一一六三・一四五)(龍大・一四一八・八一一)

千手法 ❶(日) Sen-ju-hō. ❷一帖 ❸存 ❹心慶(永久五—治承四 A. D. 1117—1180)錄 ❺木曾定音 ❻(宮大・參・一・六六)

千手法 ❶(日) Sen-ju-hō. ❷一帖 ❸存 ❹覺禪・足利・德川合代寫 ❺(東寺觀記)(東寺觀記)

千手本緣 ❶(日)Sen-ju-hon-en. ❷一卷 ❸存 ❹足利合代寫 ❺(東寺觀記)

千手廣大無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・大悲心陀羅尼經・千手大悲心陀羅尼經・千手觀音大悲心陀羅尼經・千手千眼大悲心經 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1060・續貞一〇・卍一〇・一〇・明北316德・南316德・明南298念・Nj. 320 ❹唐般若譯(—永泰頃 A. D. 650—655—)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❻(參考) 佛土往生圖讚 ❼實文九用 ❽(參國・八一一・一五四)

千手陀羅尼經請觀音 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni. ❷一帖 ❸存 ❹南北朝時代寫 ❺(東寺觀記)

千手陀羅尼二卷王頌會釋 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-is-shuku-go-te-ki-e-shaku. ❷一卷 ❸闕(—天仁元年A. D. 1108—)錄 ❹(參考) 諸宗章疏錄卷三

千手陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大悲心陀羅尼經・千手千眼大悲心經・千手千眼觀世音菩薩廣大悲心陀羅尼經・千手大悲心陀羅尼經・大悲心陀羅尼經・千手觀音大悲心陀羅尼經 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1060・續貞一〇・卍一〇・一〇・明北316德・南316德・明南298念・Nj. 320 ❹唐般若譯(—永泰頃 A. D. 650—655—)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❻(參考) 佛土往生圖讚 ❼實文九用 ❽(參國・八一一・一五四)

千手陀羅尼經請觀音經 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-jin-shu.(支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-mū-da-ra-ni-kyō. (支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-mu-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦經・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手千眼陀羅尼念誦・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手大悲心陀羅尼・千手觀音・千手觀 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1058・續貞五・卍一〇・一〇・北294勝・南307勝・元301勝・明北315德・北315德・麗294勝・天302勝・續273勝・法288勝・麗542勝・明南297念・Nj. 319 ❹唐菩提流志(—大足四—聖元一五A. D. 572—737)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦の下を見よ。 ❻(注釋) 注千手千眼大悲心咒行法一卷 ❼(參考) 諸尊不同(宮) (日向經會)

千手千眼大悲心陀羅尼 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-da-ra-ni. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇No. 1061・續貞一〇・卍續一・三・四・麗1296號 ❹唐金剛智(—開元二九 A. D. 671—741)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千手千眼無礙大悲心陀羅尼咒 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-jin-shu.(支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-mū-da-ra-ni-kyō. (支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-mu-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦經・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手千眼陀羅尼念誦・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手大悲心陀羅尼・千手觀音・千手觀 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1058・續貞五・卍一〇・一〇・北294勝・南307勝・元301勝・明北315德・北315德・麗294勝・天302勝・續273勝・法288勝・麗542勝・明南297念・Nj. 319 ❹唐菩提流志(—大足四—聖元一五A. D. 572—737)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-da-ra-ni. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇No. 1061・續貞一〇・卍續一・三・四・麗1296號 ❹唐金剛智(—開元二九 A. D. 671—741)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼・千手千眼觀世音菩薩廣大悲心陀羅尼・千手千眼大悲心陀羅尼・千手大悲心陀羅尼・大悲心陀羅尼・千手觀音大悲心陀羅尼・千手觀音 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1060・續貞一〇・卍一〇・一〇・明北316德・南316德・明南298念・Nj. 320 ❹唐般若譯(—永泰頃 A. D. 650—655—)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❻(參考) 佛土往生圖讚 ❼實文九用 ❽(參國・八一一・一五四)

千手陀羅尼經觀察記 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō-hō-nyū-ki. 千手陀羅尼觀察記 ❷四卷 ❸存 ❹宋法(宋元祐二年—貞享二年A. D. 1086—1685)著 ❺諸書三用 ❻(谷大・參大・五大・五文)(龍・お・八・右・川三六)

千手陀羅尼註 ❶(日)Sen-ju-da-ra-ni-chū. ❷一卷 ❸闕已(國寶六 A. D. 794—864)錄 ❹(參考) 密乘觀想日錄・山家三觀義私記日錄參上

千手寶鑑記 ❶(日) Sen-ju-toku-mō-ki. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經觀音寶鑑記 ❷寫卷 ❸存 ❹中書 ❺(正大・一一六三・一四五)(龍大・一四一八・八一一)

千手法 ❶(日) Sen-ju-hō. ❷一帖 ❸存 ❹心慶(永久五—治承四 A. D. 1117—1180)錄 ❺木曾定音 ❻(宮大・參・一・六六)

千手法 ❶(日) Sen-ju-hō. ❷一帖 ❸存 ❹覺禪・足利・德川合代寫 ❺(東寺觀記)(東寺觀記)

千手本緣 ❶(日)Sen-ju-hon-en. ❷一卷 ❸存 ❹足利合代寫 ❺(東寺觀記)

千手廣大無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼・千手千眼觀世音菩薩廣大悲心陀羅尼・千手千眼大悲心陀羅尼・千手大悲心陀羅尼・大悲心陀羅尼・千手觀音大悲心陀羅尼・千手觀音 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1060・續貞一〇・卍一〇・一〇・明北316德・南316德・明南298念・Nj. 320 ❹唐般若譯(—永泰頃 A. D. 650—655—)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❻(參考) 佛土往生圖讚 ❼實文九用 ❽(參國・八一一・一五四)

千手陀羅尼經請觀音經 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-jin-shu.(支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-mū-da-ra-ni-kyō. (支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-mu-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦經・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手千眼陀羅尼念誦・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手大悲心陀羅尼・千手觀音・千手觀 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1058・續貞五・卍一〇・一〇・北294勝・南307勝・元301勝・明北315德・北315德・麗294勝・天302勝・續273勝・法288勝・麗542勝・明南297念・Nj. 319 ❹唐菩提流志(—大足四—聖元一五A. D. 572—737)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-da-ra-ni. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇No. 1061・續貞一〇・卍續一・三・四・麗1296號 ❹唐金剛智(—開元二九 A. D. 671—741)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千手千眼無礙大悲心陀羅尼咒 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-jin-shu.(支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-mū-da-ra-ni-kyō. (支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-mu-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦經・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手千眼陀羅尼念誦・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手大悲心陀羅尼・千手觀音・千手觀 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1058・續貞五・卍一〇・一〇・北294勝・南307勝・元301勝・明北315德・北315德・麗294勝・天302勝・續273勝・法288勝・麗542勝・明南297念・Nj. 319 ❹唐菩提流志(—大足四—聖元一五A. D. 572—737)譯

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼・千手千眼觀世音菩薩廣大悲心陀羅尼・千手千眼大悲心陀羅尼・千手大悲心陀羅尼・大悲心陀羅尼・千手觀音大悲心陀羅尼・千手觀音 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1060・續貞一〇・卍一〇・一〇・明北316德・南316德・明南298念・Nj. 320 ❹唐般若譯(—永泰頃 A. D. 650—655—)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❻(參考) 佛土往生圖讚 ❼實文九用 ❽(參國・八一一・一五四)

千手陀羅尼經觀察記 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō-hō-nyū-ki. 千手陀羅尼觀察記 ❷四卷 ❸存 ❹宋法(宋元祐二年—貞享二年A. D. 1086—1685)著 ❺諸書三用 ❻(谷大・參大・五大・五文)(龍・お・八・右・川三六)

千手陀羅尼註 ❶(日)Sen-ju-da-ra-ni-chū. ❷一卷 ❸闕已(國寶六 A. D. 794—864)錄 ❹(參考) 密乘觀想日錄・山家三觀義私記日錄參上

千手寶鑑記 ❶(日) Sen-ju-toku-mō-ki. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經觀音寶鑑記 ❷寫卷 ❸存 ❹中書 ❺(正大・一一六三・一四五)(龍大・一四一八・八一一)

千手法 ❶(日) Sen-ju-hō. ❷一帖 ❸存 ❹心慶(永久五—治承四 A. D. 1117—1180)錄 ❺木曾定音 ❻(宮大・參・一・六六)

千手法 ❶(日) Sen-ju-hō. ❷一帖 ❸存 ❹覺禪・足利・德川合代寫 ❺(東寺觀記)(東寺觀記)

千手本緣 ❶(日)Sen-ju-hon-en. ❷一卷 ❸存 ❹足利合代寫 ❺(東寺觀記)

千手廣大無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經・千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼・千手千眼觀世音菩薩廣大悲心陀羅尼・千手千眼大悲心陀羅尼・千手大悲心陀羅尼・大悲心陀羅尼・千手觀音大悲心陀羅尼・千手觀音 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1060・續貞一〇・卍一〇・一〇・明北316德・南316德・明南298念・Nj. 320 ❹唐般若譯(—永泰頃 A. D. 650—655—)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。 ❻(參考) 佛土往生圖讚 ❼實文九用 ❽(參國・八一一・一五四)

千手陀羅尼經請觀音經 ❶(日) Sen-ju-da-ra-ni-kyō. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙大悲心陀羅尼經 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-mu-ge-dai-hi-shin-da-ra-ni-jin-shu.(支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-wu-ai-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni-shên-chou. ❷一卷 ❸存 ❹舊譯(宋・遼・五ㄇ・四一)

千手千眼無礙陀羅尼經 ❶(日) Sen-ju-sen-gen-mū-da-ra-ni-kyō. (支)Ch'ien-shou-ch'ien-yen-mu-t'o-lo-ni-ching. 千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦經・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手千眼陀羅尼念誦・千手千眼觀世音菩薩陀羅尼念誦・千手大悲心陀羅尼・千手觀音・千手觀 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇五No. 1058・續貞五・卍一〇・一〇・北294勝・南307勝・元301勝・明北315德・北315德・麗294勝・天302勝・續273勝・法288勝・麗542勝・明南297念・Nj. 319 ❹唐菩提流志(—大足四—聖元一五A. D. 572—737)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❶(日)Sen-ju-sen-gen-dai-hi-shin-da-ra-ni. (支) Ch'ien-shou-ch'ien-yen-ta-pei-hsin-t'o-lo-ni. 千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼本 ❷一卷 ❸存・大正二〇・一〇No. 1061・續貞一〇・卍續一・三・四・麗1296號 ❹唐金剛智(—開元二九 A. D. 671—741)譯 ❺千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經の下を見よ。

千座陀羅尼 ❶(梵)Sen-za-da-ra-ni. ❷一巻 ❸存 ❹元魏四寺 ❺(高大・一・七一)

千日眼護諸語業 ❶(日)Sen-nichi-gen-go-go-gyō. (支)Ch'ien-jih-yen-hu-yü-yeh. ❷一巻 ❸存 ❹唐代 仏名会儀軌の一(大正・八五・一二六四

◎ 선교사 ◎ 선교사 ◎ 선교사

書聞生法御田和泉流 ❶(Sen-shō-kishi-wa-da-myō-ryū-ō-ha) 茶道の流派の一つ。千利休の孫千宗旦の次男江岑宗左(一六一三―七二)が父の隠居所「今日庵」の号を継いで創始した流派。

-kiki-gaki. ❷1巻 ❸存 ❹国語(元禄—明治) A. D. 1696—1770)記 ❺文政三年(一八二〇) ❻(和大)

宗教歌光吉田神書 ❶(日) Sen-shū-gen-kō-ji-yui-sho-gaki. ❷1巻 ❸存 ❹諸宗(和大「異説」)

宗派千部新著諸師略頌 ❶(日) Sen-shū-sem-butsu-shin-chaku-sho-so-shi-ju. (支) Ch'ien-ch'ien-ch'ien-fo-hsin-cho-chu-tsu-shih-sung. ❷1巻 ❸存「大正八五・一三川〇 No. 2861)

❹本書はスタイン氏の発見にかゝる敦煌出土古写本。本書は「唐朝崇敬諸宗の宋代撰著の二十八師伝に基り」、道教は後唐大真道(A. D. 765—779)の頃までの撰述を網羅し、仏教は初めに「禅門宗主三〇一五三三頁」で解文を以て説いてゐる。本書の冒頭に「禅門宗主は別でも、各宗各師所述著述は三〇一五三三頁」にわたつて有るそうだ。本書には初唐大禅祖僧名者よりは第二十七祖慧能大師を中心に「禅門宗主」「禅門」「禅宗」「禅師」「祖師」「祖統」「禅門の大大師」を列ベて、大には「衣鉢伝」「法門」「正脈」「国師禅師」「大師」「祖師」「禅門」「禅師」「禅門」「禅師」「禅門」「禅

て、自ら説令せんことを望はしめ、佛所くの世こそ永が見なりと告げたまひ、帝初夫尼佛の佛の本に佛命通と云ふ國王があつたが、一切人が國中三綱人の三禁を供奉するを見てその所以を問ひ、大いなる國を得るときゝて、牛酒を以て祠りて修陰として此經に供養して好き幹牛を得て設きしめた時に王の夫人は王に告げて懐妊してゐる嬰を殺きしめなかつたが、其の時牛主がやつて來て嬰を殺して

専修寺（三重県一志郡）

専修寺如来堂（専修寺）

専修寺本堂（専修寺）

専修寺門前（専修寺）

専修寺山門（専修寺）

専修寺御影堂（専修寺）

専修寺経蔵（専修寺）

専修寺鐘楼（専修寺）

専修寺表門（専修寺）

専修寺御影堂門（専修寺）

専修寺唐門（専修寺）

専修寺書院（専修寺）

専修寺対面所（専修寺）

専修寺客殿（専修寺）

専修寺庫裏（専修寺）

専修寺経蔵（専修寺）

専修寺鐘楼（専修寺）

**専修寺表

千部会 同じ経典を千人の僧侶が書写すること。また，その経典。

千部経 同じ経典を千回読誦すること。また，その経典。

千仏 過去荘厳劫に出現する千人の仏。

千仏会 千仏の名を唱えて，千仏を供養する法会。

千仏名経 千仏の名を説いた経典。

千仏名号 千仏の名を唱えること。

千仏名号経 千仏の名を説いた経典。

千仏名号宝王如来本願功徳経 1巻。宋の施護訳。『千仏名経』ともいう。

千仏名号本願功徳経 1巻。宋の施護訳。『千仏名経』ともいう。

千仏名号本願経 1巻。宋の施護訳。『千仏名経』ともいう。

千仏名号本願功徳宝王如来経 1巻。宋の施護訳。『千仏名経』ともいう。

千仏名号本願功徳経 1巻。宋の施護訳。『千仏名経』ともいう。

千仏名号本願経 1巻。宋の施護訳。『千仏名経』ともいう。

**千仏名号宝王如来本願功徳

その物語の性質から、かくと言語を出発点とするものであるが、これは広く民衆に愛好されるものという意味で、通俗に流れるものという意味ではない。

この語彙は所謂大乗経典の語彙とは異なるものであって、種々雑多な物語を含んでいるものである。今、この百集語の基は勿論 Avadāna であるが、十二部経の一としては Apadāna であり、Avadāna はこの Apadāna の異形であることは、多くの学者の一致するところである。Apadāna は語根 dā に接頭語 Apa をつけて作成したる語にて、語根の意味が「与える」にあって、「截る」にあらず。Apadāna は広くこの意味を含む語となり、それより物語、教示などの意味を生じたものである。又それより物語、譬喩等の意味となれるものなるべし。而してPali の Apadāna は今日同名の聖典あり、梵で学校分子たる阿羅漢の大生記話なるに、梵語系統の Avadāna は漢のごとく広義の物語となり、譬喩、許文学、雑纂その他のすべてに通ずる大生記話、現在事に起る因果等の物語及び現在の観察から未来の戒訓記別をなす物語一切を包含するに至ったのである。

次に漢訳百集語の目次を主として、これに梵本の Avadāna Śataka Kalpadruma-avadāna-mālā Ratna-avadānamālā, Aśokāvadānamālā, Dvavimśati-avadāna の五訳対応記載の出没を示す。

巻	品	Avadānaśataka	Aśokāv.	Kalpadruma-av.	Ratnaav.
巻一	善業感応記品第一				
1	福力家富羅門善信学縁	A. 1. Pūrṇabhadraḥ	—	K. 2	—
2	名婦女宮学縁	A. 2. Yaśomati.	—	K. 11	—
3	懈怠子貧匱足学縁	A. 3. Kusīdaḥ	—	—	R. 1
4	五百賈客人求珠獲報縁	A. 4. Sārthavāhaḥ	—	—	R. 1
5	食人須曼那精進獲報縁	A. 5. Somaḥ(梵本缺)	—	—	—
6	婆伽婆説毘伽羅縁	A. 6. Vādikaḥ	—	—	—
7	王家守舎人花献学縁	A. 7. Padmaḥ	—	—	—
8	婆伽婆説香塗以施獲報縁	A. 9. Dhūpaḥ	—	—	—
9	学優波掘出宝瓶王用天華縁	A. 8. Pañcālaḥ	—	—	—
10	求者七日作王縁	A. 10 Rājā	Aś. 14.	—	—
巻二	受学獲依家品第二				
11	給園精舎買太子縁	A. 11. Nāvikaḥ	—	K. 3	—
12	施四王宮学縁	A. 12. Stambhaḥ	—	K. 12	—
13	出置王宮学究竟縁	A. 13. Snātraṁ	—	—	R. 2
14	学者天宮説縁	A. 14. Itiḥ	—	—	R. 13
15	天帝釈現作伎楽縁	A. 15. Prātihāryaṁ. (D. 19)	—	K. 21	—
16	学優波帝説法花聚縁門	A. 16. Pañcavarṣikaṁ	—	K. 24	—
17	説偈讃歎作伎楽縁	A. 17. Stutiḥ	—	—	—
18	如説獲報得阿羅漢縁	A. 18. Varadaḥ	—	—	—
19	説縁起王宮学縁	A. 19. Kāśika-Vastraṁ (D. 9)	—	—	—
20	帝釈変為婆羅門化分衛縁	A. 20. Divyabhojanaṁ (D. 12)	—	Aś. 15	—
巻三	説記許文学品第三				
21	化老王王宮許文学縁	A. 21. Caudanaḥ(D. 22)	—	K. 4	—
22	小化老王説学縁	A. 22. Padma	—	K. 13	—
23	女人以金銭買転輪王縁	A. 23. Cakra	—	—	R. 3
24	老女給養盲貧縁		—	—	—
25	合掌受布薩学縁	A. 25. Sūkṣmatvāk	—	—	—
26	給園精舎請仏縁	A. 27. Nāvikāḥ	—	—	—
27	説以神通学優波掘縁	A. 28. Gandhamādanaḥ	—	—	—
28	食人捉説施学獲報縁	A. 29. Nirmala	—	—	—
29	作衆依家説許文学縁	A. 30. Valgusvaraḥ	Aś. 16	—	—
30	説戒縁起		—	—	—
巻四	出生善報品第四				
31	蓮華王給令作赤色縁	A. 31. Padmakaḥ	—	—	—
32	救護王過家羅門縁	A. 32. Kavaḍaḥ	—	—	R. 16?
33	尸毘王割肉施鷹縁	A. 34. Śiviḥ(D. 23)	—	—	—
34	象面王宋法縁	A. 35. Surūpaḥ(D. 23)	—	—	—
35	救護王太子求法縁	A. 38. Dharmagaveṣī	—	—	—
36	家羅門説学優波掘縁	A. 39. Anāthapiṇḍadaḥ	—	—	—
37	学優波掘現神変度五百力士縁	A. 40. Subhadraḥ	—	—	—
38	説受観令作赤和人縁	A. 37. Śaśa	—	—	—
39	施法護王子宮令所殺縁	A. 33–Dharmapālaḥ	—	K. 23	—
40	説戒縁起		—	—	—
巻五	観見品第五				
41	給摩訶迦旃延縁	A. 41. Guḍaśālā	—	K. 5	—
42	衆僧受布薩法縁	A. 42. Bhaktaṁ	—	K. 14	—
43	国王大臣共供養縁	A. 43. Pāṇīyaṁ(D. 13)	—	—	R. 4
44	給食国師婆羅門縁	A. 44. Varcaghataḥ	—	—	—
45	目連入城以五百銅銭	A. 45. Maudgalyāyana	—	—	—
46	学優波帝説法縁	A. 46. Uttara	—	—	—
47	生百銅銭縁	A. 47. Jātyandhā	—	—	—
48	説衆香行種多宝塔縁	A. 48. Śreṣṭhā	—	—	—
49	観説自生語事五百子縁	A. 49. Pūtraḥ	—	—	—
50	学優波掘以神変縁	A. 50. Jambālaḥ	Aś. 17	—	—
巻六	観天衆下仏家品第六				
51	度五百盗賊令学縁起今縁	A. 51. Kṛṣṇasarpa	—	K. 6	—
52	日天月天生天縁	A. 52. Candraḥ	—	K. 15	—
53	説学優波掘学時生天縁	A. 53. Mālaḥ(D. 15)	—	—	R. 5
54	説功徳衆依家時生天縁	A. 54. Śrīmat	—	K. 20	—
55	説須達多家貧窮化縁		—	—	—
56	説観音子王請学縁	A. 56. Śukaḥ	—	—	—
57	説王舎城婆羅学命終生天縁	A. 57. Dūtaḥ	—	—	—
58	説学優波掘牛生天縁	A. 58. Mahiṣaḥ	—	—	—
59	説二衆受共受布薩縁	A. 59. Upoṣadhaḥ	—	—	—
60	五百盗賊学説出縁	A. 60. Haṁsāḥ	Aś. 18	—	—
巻七	現化品第七				
61	金作令色縁	A. 61. Suvarṇābhaḥ(D. 20)	—	K. 7	—
62	金布施獲報縁	A. 62. Sugandhaḥ	—	K. 16	—
63	有大女度婆縁	A. 63. Vapuṣmān(D. 21)	—	—	R. 8
64	有大力縁	A. 64. Balavān	—	—	R. 17
65	説人医師縁	A. 65 Priyaḥ	—	—	—
66	説四百有眼蓮縁	A. 66. Padmākṣa	—	—	—
67	鈴縁	A. 67. Dundubhisvaraḥ	—	—	—
68	四百子四産縁	A. 68. Putrāḥ	—	—	—
69	説四上有衆往縁	A. 69. Sūryaḥ	—	—	—
70	学優波掘縁	A. 70. Mallapatakā	Aś. 19	—	—
巻八	比丘尼品第八				
71	衆僧比丘尼比丘曾未聞説内縁		—	—	—
72	衆僧比丘尼比丘曾有自給食縁	A. 72. Supriyā	—	K. 17	—
73	白浄比丘尼比丘曾命生縁	A. 73. Śuklā(D. 14)	—	—	R. 9
74	須陀比丘尼比丘得予縁	A. 74. Somā	—	—	R. 19
75	衆園女作比丘尼縁	A. 75. Kuvalayā	—	—	—
76	無畏比丘尼比丘曾命終縁	A. 76. Kāśikasundarī	—	—	—
77	頭上有蓋婆比丘尼縁	A. 77. Muatā	—	—	—
78	法摩比丘尼比丘曾二王和解縁	A. 78. Kṣemā	—	—	—
79	衆病女縁	A. 80. Virūpā	Aś. 20	—	—
80	比丘縁人縁		—	—	—
巻九	業因品第九				
81	海生商主縁	A. 81. Samudraḥ	—	K. 9	—
82	須曼那花衆請命縁	A. 82. Sumanā	—	K. 18	—
83	金毘手比丘縁	A. 83. Hiraṇyapāniḥ	—	—	R. 10
84	三蓮比丘縁	A. 84. Tripiṭaḥ	—	—	R. 20
85	地令喜多縁	A. 85. Yaśomitraḥ	—	—	—
86	化生比丘縁	A. 86. Aupapādukaḥ	—	—	—
87	衆賢比丘縁	A. 87. Sobhitaḥ	—	—	—
88	劫賓那等王縁	A. 88. Kapphiṇaḥ	—	—	—
89	拔陀羅比丘縁	A. 89. Bhadrikaḥ	—	—	—
90	婆提王子護国出家縁	A. 90. Raṣṭrapālaḥ	Aś. 21	—	—
巻十	譬喩品第十				
91	須菩提縁	A. 91. Subhūtiḥ	—	K. 10	—
92	衆老比丘尼年始百六十年縁	A. 92. Sthaviraḥ	—	K. 19	—
93	兄手比丘尼縁	A. 93. Hastakaḥ	—	—	R. 11
94	衆学家女比丘縁	A. 94. Lekuñcikaḥ	—	—	R. 21
95	説有百生死連縁	A. 95. Samsāraḥ	—	—	—
96	説衆香身種生縁	A. 96. Guptikaḥ	—	—	—
97	観説比丘縁	A. 97. Virūpaḥ	—	—	—
98	根縁比丘縁	A. 98. Gaṅgikaḥ	—	—	—
99	衆老婆羅縁	A. 99. Dīrghanakhaḥ	—	—	—
100	毘阿難集縁	A. 100. Saṅgīti	—	K. 1	—

選集百緣經 ❶(日) Sen-jū-hyaku-en-gyō. 國書數種百緣經 ❷存 國書一切經本參照第五 ❸(西尼泊爾梵書共書)

選擇目錄 ❶(日) Sen-jutsu-moku-roku. ❷存 參照大日本佛教全書第五 大日本佛教全書第一一五頁天台宗章疏之內

選定善善惡百式尊足支分 ❶(日) Sen-jō-ji-gō-kwan-jō-shiki-gu-soku-shi-bun. 觀中說開定善惡業雜善惡品說 其支雜善惡品 ❷十卷 ❸存 大正七五・一一三 No. 2393 日本大藏經天台宗疏部全書續第二 ❹安錄(宋和六一遠等譯 年同 A. D. 841—901—)譯 ❺觀中說開定善惡業雜善惡品其足支分之下半是也。 ❻正觀五錄之內(大正一二・一三五四)

選殺百大四十八願所願總錄 **起** ❶(日) Sem-potsu-sai-hō-shi-jū-hachi-gwan-jo-mi-da-ryaku-en-gi. ❷四卷 ❸存 ❹彙集記 ❺刊本(正大一〇三一・一六)

選目類聚 ❶(日) Sem-moku-rui-jū. ❷一卷 ❸存 大日本佛教全書第三八 新撰大日全書第四

箭毛經 ❶(日) Sem-mō-gyō. (梵) Chien-mao-ching. (巴) M. 77 Mahā-Sakuḷūdāyī S. ❸存 中阿含經第五七(大正一・七八一 No. 26. 207)

箭毛經 ❶(日) Sem-mō-gyō. (梵) Chien-mao-ching. ❸存 中阿含經第五七(大正一・七八三 No. 26. 208)

箭毛經 ❶(日) Sem-mō-gyō. 現代譯 譯中阿含經抄 ❸存 現代譯譯根本佛教聖典彙書 譯中阿含經抄 ❹鳥越憲昌譯

箭修經 ❶(日) Senn-yu-kyō. (梵) Chien-yū-ching. ❸存 中阿含經第六〇(大正一・八〇四 No. 26. 221)

箭修經 ❶(日)Sen-yu-kyō.(梵)Chien-yū-ching.(巴)Māluṅkya S.(M. 63) 箭喩經 ❷一卷 ❸存 大正一・九一七 No. 94 箭喩尼犍子 北719訖 南733訖 元魏725訖 明北581載 宋581載 南705止 天718訖 梁681止 法708訖 西935止 明南605載 Nj. 585

❹(梵)富樓那氏(A. D. 317—420)之譯

❺根本經是佛在舍衛城 廣說箭喩風國云云 世尊告諸比丘曰 彼有愚癡凡夫 名摩羅迦子(Māluṅkyā-putta) 於彼中間有舍(Sassato loko) 中間無舍(Asassato loko) 中間有邊(Antavā loko) 中間無邊(Anantavā loko) 彼命是身(taṁ jīvaṁ taṁ sarīraṁ) 命異身異(aññaṁ jīvaṁ aññaṁ sarīraṁ) 有如來死後(hoti tathāgato param maraṇā) 無有如來死後(na hoti tathāgato param maraṇā) 有如來死後無有如來死後(hoti ca na ca hoti tathāgato param maraṇā) 如來亦非有如來亦非無有如來死後(n'eva hoti na na hoti tathāgato param maraṇā) 等的說明與此經大同小異 但此經中的摩羅迦子(Māluṅkyā-putta)是佛的弟子 我(世尊)曾對他說過十種無記 他因為沒有得到解答 所以心懷不滿 要離開佛陀 佛陀為了使他堅定信心 就對他說 你曾對我說 如果我不對你的問題作出解答 你就不跟隨我修行 我也不對你的問題作出解答 如果我對你的問題作出解答 你就跟隨我修行 我也對你的問題作出解答 你不跟隨我修行 我也不對你的問題作出解答 現在我沒有對你的問題作出解答 你也沒有跟隨我修行 我也沒有對你的問題作出解答 如果你認為 我不對你的問題作出解答 你就跟隨我修行 那麼這是你的邪見 邪見是有過失的 有邪見的人 在死後將墮入地獄 佛陀以這個例子 說明對於無益的問題 不必去探究 而應該專心修行 以期解脫生死 這部經的內容 與巴利文中部經典第六三經 Cūḷa-Māluṅkya Sutta 小摩羅迦經 的內容大致相同

箭修經 ❶(日)Senn-yu-kyō. 現代譯 譯中阿含經抄 ❷鳥越憲昌譯

箭修經 ❶(日)Sen-on-shū-roku. ❷存 ❸現代譯譯根本佛教聖典彙書

選擇和尚語錄 ❶(日)Sen-kei-oshō-go-roku. 光明藏 ❷一卷 ❸存 ❹法然房源空(一說名阿 A. D. 1275—1277—)語 ❺(參考) 法然選擇本願念佛集 選擇目錄

選擇錄 ❶(日)Sen-kei-roku. 光明和尚語錄 ❷一卷 ❸存 ❹光明藏 ❺(參考) 日本佛教全書第一 選擇目錄

選龍和尚家傳語 ❶(日)Sen-ryū-oshō-him-potsu-go. ❷一卷 ❸存 ❹〔參考〕 選擇目錄

選龍傳語 ❶(日) Sen-ryū-ya-wa. ❷一卷 ❸存 ❹(參考) 選擇目錄

選宮 ❶(日) Sen-gū. ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東京帝國大學)

選宮行列大奏者交替 ❶(日)Sen-gū-gyō-retsu-shi-dai-narabini-shi-taku. 選宮行列大奏者交替次第 ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東京帝國大學)

選宮作法 ❶(日) Sen-gū-sa-hō. ❸存 ❹德川時代寫(東京帝國大學) ❺德川時代寫(東京帝國大學)

選宮作法書紹作法 ❶(日)Sen-gū-sa-hō-oyobi-ryaku-sa-hō. ❷三帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東京帝國大學)

選宮作法集 ❶(日) Sen-gū-sa-hō-shū. ❷一冊 ❸存 ❹元祿頃寫 ❺(東京帝國大學)

選宮大第 ❶(日) Sen-gū-shi-dai. ❷一帖 ❸存 ❹足利幕府德川時代寫(東京帝國大學)

選宮式 ❶(日)Sen-gū-shiki. ❷一卷 ❸存 ❹寫本(龍大 許可)

選宮相傳私 ❶(日)Sen-gū-sō-den-shi. ❷一卷 ❸存 ❹宥雅記 ❺天正一一〇(A. D. 1592)

選宮事 ❶(日) Sen-gū-no-koto. ❷一帖 ❸存 ❹寫本一〇葉 ❺(金澤三輝院)

選宮之餘法 ❶(日)Sen-gū-no-ryā-ku-hō. ❷一卷 ❸存 ❹卷首第參卷第四段第參法類 ❺神明帳守明神令的社殿を川邊說家なとする時 神明帳と假殿に遷し或は本殿に遷し來る時の作法で 諸傳ある中 大體はその略なるものである。 ❻唐令法・律土記・周禮・大唐令行・禮宮の神・無所不至・新令・光業雜・法華經令的諸明印より成つてゐる。 (眼藏知見)

選宮法 ❶(日) Sen-gū-hō. ❷一帖 ❸存 ❹德川時代寫 ❺(東京帝國大學)

選宮餘作法 ❶(日) Sen-gū-ryaku-sa-hō. ❷一帖 ❸存 ❹元文三寫 ❺(東京帝國大學)

選擇新撰門義理大第 ❶(日) Sen-kō-shin-zō-dai-ri-on-shi-dai. ❷一卷 ❸存 ❹寫本(龍大 別置)

選擇作法 ❶(日) Sen-za-sa-hō. ❷十卷 ❸存 ❹足利末期寫 ❺(金澤三輝院)

選部略記 ❶(日) Sen-to-ryak-ki. ❷一卷 ❸寫繪(仁治元—元亨元 A. D. 1240—1321)撰述 ❹(參考) 諸宗章疏錄第二

選安集 ❶(日)Senn-an-yō. ❸存 ❹寫本(龍大 一五〇二・一九三)

選正集 ❶(日)Sen-shō-shū. ❷一卷 ❸存 源信撰(了譯爲本)第二五 收宗小部 選教卷上 收宗類名法集卷中 選知上人答知小部集 收宗類教大全所收 ❹選知(鎌末二二一明德人 A. D. 1415—1499)撰 ❺卷初には 淨土宗全書第七 一念義の信心を發起し 本願の力體を知安し 往生の大本が述べられると說ふが 淨土宗の勸めである と說き 次には一念義等の信心決定の人であると示してある。 かく宗の正意を示した後に 念佛流布して居た 諸師かましき法門の說ふを 彼の要旨を示し「我は念佛勸行のついでと說し 或は學前又は內々にして親子の義を云ふす もと ひにこれをゆるしもちゐて わが宗をば人にゆるし 人の宗をば我もちゐて かやうにせんは 門の諸佛菩薩はたらきて これこそ誠實往生言語同斷の邪義なりと云ひ。此の思想を以て 宗正しき相を說き 次に人々往の說を示し 或には法然本說の玄義本願知識勸進の文を引用して 淨土宗の正義なることを說示し 最後に諸師の著述を引用して 念佛の信心を說いて 念佛の行者は 必ず往生すると說いてゐる。

選擇課問答 ❶(日) Sen-chaku-gi-mon-dō. ❷一卷 ❸存 淨土宗全書第七 ❹聖光門弟 然阿良忠(正治元—弘安一〇 A. D. 1199—1289)答 ❺建治三(A. D. 1277)

❻本書は 別冊 選擇集一卷に就いて聖光門弟の不審の義理を發問せしに對し 作者が該博をもつ淨土宗義を以て 答釋せるもので 建治三年七十九歲の作である。內容を見るに第五 第六 第十五 第十六の四章を除く十二章に就いて 發問あるも回答をなしてゐる。中に就いて 第一 第二 第三 第四 第七 第八 第九 第十 第十一 第十二 第十三 第十四の三章分別(第十一)と第參の同文(第十二) 二行の略文(第文之體書) 正觀行者(第八)同語 諸修の回向(第十一) 十念と十聲の相違(第十二) 三心の具不

禅宗様(ぜんしゅうよう)(名)(建築)鎌倉時代に禅宗寺院の建築様式として中国から伝えられたもの。柱間が広く、屋根は唐様で、内部は禅堂風の構造。

禅定(ぜんじょう)(名)(仏教)精神を集中して真理を観ずること。

禅僧(ぜんそう)(名)禅宗の僧。

禅宗(ぜんしゅう)(名)(仏教)仏教の一派。座禅によって悟りを開こうとするもの。

禅譲(ぜんじょう)(名)天子が位を譲ること。

禅尼(ぜんに)(名)(仏教)尼僧。

禅門(ぜんもん)(名)(仏教)禅宗。

善(ぜん)(名)よいこと。

善悪(ぜんあく)(名)よいことと悪いこと。

善悪二元論(ぜんあくにげんろん)(名)(哲学)善と悪とを対立する二つの原理とする考え方。

善意(ぜんい)(名)よい意味。

善因善果(ぜんいんぜんか)(名)(仏教)よい行いをすればよい報いがあること。

善玉(ぜんだま)(名)よい人。

善人(ぜんにん)(名)よい人。

善美(ぜんび)(名)(形動)この上なくよいこと。

善用(ぜんよう)(名)(他サ)よく使うこと。

善良(ぜんりょう)(名)(形動)よくて正しいこと。

善隣(ぜんりん)(名)隣国と仲よくすること。

善隣外交(ぜんりんがいこう)(名)隣国と仲よくする外交。

善隣国宝記(ぜんりんこくほうき)(名)(書名)室町時代の外交史。

善隣友好(ぜんりんゆうこう)(名)隣国と仲よくすること。

善隣友好条約(ぜんりんゆうこうじょうやく)(名)隣国と仲よくする条約。

善処(ぜんしょ)(名)(他サ)適当な処置をすること。

善政(ぜんせい)(名)よい政治。

善戦(ぜんせん)(名)(自サ)よく戦うこと。

善戦苦闘(ぜんせんくとう)(名)(自サ)よく戦い苦しむこと。

善導(ぜんどう)(名)(他サ)よい方向に導くこと。

善男善女(ぜんなんぜんにょ)(名)(仏教)信仰心の厚い男女。

善美(ぜんび)(名)(形動)この上なくよいこと。

善用(ぜんよう)(名)(他サ)よく使うこと。

善良(ぜんりょう)(名)(形動)よくて正しいこと。

善隣(ぜんりん)(名)隣国と仲よくすること。

善隣外交(ぜんりんがいこう)(名)隣国と仲よくする外交。

善隣国宝記(ぜんりんこくほうき)(名)(書名)室町時代の外交史。

善隣友好(ぜんりんゆうこう)(名)隣国と仲よくすること。

善隣友好条約(ぜんりんゆうこうじょうやく)(名)隣国と仲よくする条約。

善処(ぜんしょ)(名)(他サ)適当な処置をすること。

善政(ぜんせい)(名)よい政治。

善戦(ぜんせん)(名)(自サ)よく戦うこと。

善戦苦闘(ぜんせんくとう)(名)(自サ)よく戦い苦しむこと。

善導(ぜんどう)(名)(他サ)よい方向に導くこと。

善男善女(ぜんなんぜんにょ)(名)(仏教)信仰心の厚い男女。

禅宗様(ぜんしゅうよう)(名)(建築)鎌倉時代に禅宗寺院の建築様式として中国から伝えられたもの。柱間が広く、屋根は唐様で、内部は禅堂風の構造。

禅定(ぜんじょう)(名)(仏教)精神を集中して真理を観ずること。

禅僧(ぜんそう)(名)禅宗の僧。

禅宗(ぜんしゅう)(名)(仏教)仏教の一派。座禅によって悟りを開こうとするもの。

禅譲(ぜんじょう)(名)天子が位を譲ること。

禅尼(ぜんに)(名)(仏教)尼僧。

禅門(ぜんもん)(名)(仏教)禅宗。

善(ぜん)(名)よいこと。

善悪(ぜんあく)(名)よいことと悪いこと。

善悪二元論(ぜんあくにげんろん)(名)(哲学)善と悪とを対立する二つの原理とする考え方。

善意(ぜんい)(名)よい意味。

善因善果(ぜんいんぜんか)(名)(仏教)よい行いをすればよい報いがあること。

善玉(ぜんだま)(名)よい人。

善人(ぜんにん)(名)よい人。

善美(ぜんび)(名)(形動)この上なくよいこと。

善用(ぜんよう)(名)(他サ)よく使うこと。

善良(ぜんりょう)(名)(形動)よくて正しいこと。

善隣(ぜんりん)(名)隣国と仲よくすること。

善隣外交(ぜんりんがいこう)(名)隣国と仲よくする外交。

善隣国宝記(ぜんりんこくほうき)(名)(書名)室町時代の外交史。

善隣友好(ぜんりんゆうこう)(名)隣国と仲よくすること。

善隣友好条約(ぜんりんゆうこうじょうやく)(名)隣国と仲よくする条約。

善処(ぜんしょ)(名)(他サ)適当な処置をすること。

善政(ぜんせい)(名)よい政治。

善戦(ぜんせん)(名)(自サ)よく戦うこと。

善戦苦闘(ぜんせんくとう)(名)(自サ)よく戦い苦しむこと。

善導(ぜんどう)(名)(他サ)よい方向に導くこと。

善男善女(ぜんなんぜんにょ)(名)(仏教)信仰心の厚い男女。

-kan-ko-roku. ❷二巻 ❸存 ❹古都叢願(文政七—明治四三A. D. 1824—1910)撰 ❺明治三〇刊(龍大・一一二八・八)(谷大・宗小・九二)写本(谷大)

選擇集古鑑餘滴 ❶(日)Sen-jaku-shū-kan-ko-roku-ryaku-jutsu. ❷一巻 ❸存 ❹古都叢願(文政七—明治四三A. D. 1824—1910)撰 ❺明治四〇、四三刊(龍大・一〇五五・一四九、謬題) 明治四一刊(谷大・宗小・一一五)

選擇集己丑記 ❶(日)Sen-jaku-shū-ki-chū-ki. ❷三巻 ❸存 ❹霊実光厳(文政七—明治四三 A. D. 1824—1910)撰 ❺写本(谷大・宗大・一六五四)

選擇集癸巳記 ❶(日)Sen-jaku-shū-ki-shi-ki. ❷二巻 ❸存 ❹雷川千歳(天保五—明治三〇 A. D. 1834—1897)撰 ❺写本(谷大・宗大・一六五八)

選擇集発菌鉄 ❶(日)Sen-jaku-shū-ki-yū-roku. ❷三巻 ❸存 ❹芳山(寛政一三—文政一一 A. D. 1763—1828)撰 ❺文化一〇刊 ❻(龍大・一一一二八・一四)

選擇集発菌鉄 ❶(日)Sen-jaku-shū-ki-yū-roku. ❷四巻 ❸存 ❹宗瀾(天保六—明治三七 A. D. 1835—1894)撰 ❺写本(龍大)

選擇集貪瞋鈔 ❶(日)Sen-jaku-shū-ki-kyū-shō. ❷三巻 ❸存 ❹実本(龍頭)撰 ❺写本(谷大・宗大・一三六〇)文化八写(龍大・一三六八一・六七)

選擇集雑序 ❶(日) Sen-jaku-shū-gi-ge. 選擇本願念仏集雑難義 ❷五巻 ❸存 ❹敬誉(寛永四—寛文五 A. D. 1627—1665)撰 ❺寛文四刊(龍大・一三六八一・元一)

選擇集雑流 ❶(日) Sen-jaku-shū-gi-sho. ❷三巻 ❸存 ❹信瑞(貞慶三—文政八 A. D. 1753—1825 一説文政九年六五歳)撰 ❺明治一〇写(谷大・宗大・一二〇五三)明治一九刊(谷大・日大本・六一五六)(谷大・宗大・一一一三五)(龍大・一一一二八・一二)(谷大・国・一〇九・三一)写本(龍大・一一一二八・一三)

選擇集聞書 ❶(日) Sen-jaku-shū-kiki-gaki. ❷一巻 ❸存 ❹湛慧(貞応元—延享三 A. D. 1661—1746)撰 ❺元文元写(谷大・宗大・三一一三)

選擇集聞書 ❶(日) Sen-jaku-shū-kiki-gaki. ❷三巻 ❸存 ❹信瑞(享保四—寛政一一 A. D. 1719—1762)撰 ❺写本(龍大・一一一二八・九)

選擇集聞書 ❶(日) Sen-jaku-shū-kiki-gaki. ❷五巻 ❸存 ❹宜明(寛延二—文政四 A. D. 1749—1821)撰 ❺明治四〇写 ❻(谷大・宗大・一〇一二〇)

選擇集聞書 ❶(日) Sen-chaku-shū-kiki-gaki. ❷一巻 ❸存 ❹立華(撰述年未詳)写本(龍大・一一一二八・一三〇)

選擇集聞書 ❶(日) Sen-jaku-shū-kiki-gaki. ❷四巻 ❸存 ❹写本(龍大・一一一二八・一三一)

❶敬雲(撰述年未詳)写本(龍大・一一一二八・一三二)

選擇集義鈔 ❶(日) Sen-jaku-shū-gi-jutsu. ❷十巻(巻四・六缺) ❸存 ❹寛空(正保元—享保六 A. D. 1644—1721)講 ❺西誉録記 ❻写本(谷大・宗大・一一七三

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷三卷 ❸存 ❹龜田(貢政)(一明治一八 A. D. 1800—1885)述 ❺明治六(A. D. 1873) ❻寫本(谷大"宗大"一四)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷四卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇 A. D. 1814—1887)述 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹小栗栖香頂(天保元—明治三八 A. D. 1830—1905)述 ❻寫本(龍大"体裁)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹足利瀧山(文政七—明治四三 A. D. 1824—1910)述 ❻寫本(龍大"一一三"一八)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹雨森(龍大"一一三"一八)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷五卷 ❸存 ❻寫本(龍大"一一三"一九)

選擇集講義 ❶(日)Sen-chaku-shū-kō-gi. ❷三卷 ❸存 ❻寫西系 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日)Sen-chaku-shū-kō-gi. 廣開本圓令學條義講義 ❷三卷寫四卷 ❸存 ❹東叡(寫)(正大"一五四"一一三) ❺明治六刊

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷四卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇 A. D. 1814—1887)述 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. 廣開本圓令學條義講義 ❷一卷 ❸存 ❹東叡(寫)(正大"一五四"一一三) ❺明治四三刊(正大"一五四"一一三)(龍大"一一三"一八"一〇)(帝國"一〇八"七六)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. 廣開本圓令學條義講義 ❷一卷 ❸存 ❹東叡(寫)(正大"一五四"一一三)(龍大"一一三"一八"一〇三)

選擇集講義抜書 ❶(日)Sen-jaku-shū-kō-gi-nuki-gaki. ❷一卷 ❸存 ❻寫本(谷大"宗大"三七四六)

選擇集講義破斥 ❶(日)Sen-jaku-shū-kō-gi-ha-shaku. ❷一卷 ❸浩龍述 ❹享保一〇(A. D. 1725)夏 ❺淨土眞宗教義念佛三昧 已夏。日蓮宗意於 本山命衆 講 題目 破之。又有 諸宗々祖命作 云々。

選擇集講述 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-jutsu. ❷一卷 ❸存 ❹行圓(一文久一一 A. D. 1862)述 ❻寫本(龍大)

選擇集講述 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-jutsu. 廣開本圓令學條義講義 ❷五卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇 A. D. 1814—1887)述 ❻寫本(谷大"宗大"三九一)

選擇集講述 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-jutsu. ❷一一卷 ❸存 ❹眞川千庭(天保五—明治三〇 A. D. 1834—1897)述 ❺明治一七刊 ❻(谷大"宗小"四八)(帝國"六九"五七)

選擇集講判 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-han. 廣開本圓令學條義講義 ❷五卷或八卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇A. D. 1814—1887)述 ❺明治三〇刊(谷大"宗大"一一三四)(龍大"一一三一八"一〇)(帝國"一〇八"七六)

選擇集講辨 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-ben. ❷一卷 ❸存 ❹木多(龍大"体裁)(谷大"宗井"四〇五)(大正"一一刊(立大"B一三"一〇三)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷三卷 ❸存 ❹龜田(貢政)(一明治一八 A. D. 1800—1885)述 ❺明治六(A. D. 1873) ❻寫本(谷大"宗大"一四)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷四卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇 A. D. 1814—1887)述 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹小栗栖香頂(天保元—明治三八 A. D. 1830—1905)述 ❻寫本(龍大"体裁)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹足利瀧山(文政七—明治四三 A. D. 1824—1910)述 ❻寫本(龍大"一一三"一八)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❻雨森(龍大"一一三"一八"一五)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷五卷 ❸存 ❻寫本(龍大"一一三"一九)

選擇集講義 ❶(日)Sen-chaku-shū-kō-gi. ❷三卷 ❸存 ❻寫西系 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日)Sen-chaku-shū-kō-gi. 廣開本圓令學條義講義 ❷三卷寫四卷 ❸存 ❹東叡(寫)(正大"一五四"一一三)(龍大"一一三"一八"一〇三)(帝國"一〇八"七六) ❺明治六刊

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. 廣開本圓令學條義講義 ❷四卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇 A. D. 1814—1887)述 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹足利瀧山(文政七—明治四三 A. D. 1824—1910)述 ❻寫本(龍大"一一三"一八"一五)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹雨森(龍大"一一三"一八"一五)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷五卷 ❸存 ❻寫本(龍大"一一三"一九)

選擇集講義 ❶(日)Sen-chaku-shū-kō-gi. ❷三卷 ❸存 ❻寫西系 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日)Sen-chaku-shū-kō-gi. 廣開本圓令學條義講義 ❷三卷寫四卷 ❸存 ❹東叡(寫)(正大"一五四"一一三)(龍大"一一三"一八"一〇三) ❺明治六刊

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷四卷 ❸存 ❹南條神興(文化一一—明治二〇 A. D. 1814—1887)述 ❻寫本(龍大)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹小栗栖香頂(天保元—明治三八 A. D. 1830—1905)述 ❻寫本(龍大"体裁)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❹足利瀧山(文政七—明治四三 A. D. 1824—1910)述 ❻寫本(龍大"一一三"一八"一五)

選擇集講義 ❶(日) Sen-jaku-shū-kō-gi. ❷一卷 ❸存 ❻

禅林象器箋 ❶(日)Sen-rin-shō-ki-sen. 類聚本圖會禪林象器箋 ❷二十卷 ❸存 ❹物初大觀(元禄三—一書末)A. D. 1690—1703)作 ❺寛政(寛政元—一書末)A. D. 1789—1801)刊 ❻(參考) 禪林象器箋は禪林に關する事物を類聚して之を解説したるものにして、其の内容は飲食・衣服・器用・動植・人倫・疾病・喪葬・雜物・雜事・雜語・雜名・雜考・雜則・雜録・雜誌・雜説・雜記・雜著・雜綴・雜抄・雜纂・雜箋・雜箚

三五四

詩聖堂詩話續編 ❶(日)Sen-jaku-shū-chō-zoku. ❷二卷 ❸存 ❹藤(天明八—明治廿) A. D. 1788—1869)撰 ❺寫本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷二卷 ❸存 ❹藤(天明八—明治廿) A. D. 1788—1869)撰 ❺寫本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷二卷 ❸存 ❹內田貫(安永六—明治十一) A. D. 1787—1879)撰 ❺刊本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-cho-ki. ❷三卷 ❸存 ❹齋藤玄耀(文化元—明治十四 A. D. 1804—1881)撰 ❺寫本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷三卷 ❸存 ❹原采(文化十一—明治十六 A. D. 1814—1883)撰 ❺寫本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷七卷 ❸存 ❹松島春菴(文化三—明治十九 A. D. 1806—1886)撰 ❺寫本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷一卷 ❸存 ❹寫本(藍大)

詩聖堂詩話續 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-sen. ❷二卷 ❸存 ❹宮原(寶曆十一—文政四 A. D. 1749—1821)撰 ❺文政三(A. D. 1820) ❻寫本(谷大·宗大·一六五七)

詩聖堂詩話錄 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-roku. ❷二卷 ❸存 ❹相原(享保八—寶曆三 A. D. 1808—1867)撰 ❺寫本(藍大)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷二卷 ❸存 ❹內田貫(安永六—明治廿二) A. D. 1787—1879)撰 ❺刊本(藍大·一二二八·六三)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷二卷 ❸存 ❹內田貫(安永六—明治十一) A. D. 1787—1879)撰 ❺刊本(藍大·一二二八·六五)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷二卷 ❸存 ❹齋藤玄耀(文化元—明治十四 A. D. 1804—1881)撰 ❺寫本(藍大·一二二八·六七)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷三卷 ❸存 ❹原采(文化十一—明治十六 A. D. 1814—1883)撰 ❺寫本(藍大·一二二八·六四)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷七卷 ❸存 ❹松島春菴(文化三—明治十九 A. D. 1806—1886)撰 ❺寫本(藍大·一二二八·六六)

詩聖堂詩話記 ❶(日) Sen-jaku-shū-chō-ki. ❷一卷 ❸存 ❹寫本(藍大·一二二八·六七

名所行旅◎（名庭園）名勝旧跡◎月や月見◎（雪や雪降景）雪天◎夜桜や花見◎行や行事◎祭◎葬◎（名僧）名医◎筆跡や

専称寺(固) ❶ 専称寺(固)(A.D. 1771) ◎筑後(大分)

専修寺(固) ❶ 専修寺(固)(A.D. 1771) ◎筑後(大分)

ことができる。

禅林寺（ぜんりんじ）❶（Zen-rin-ji）京都市東山区にある浄土宗の寺。永観堂とも呼ばれる。

禅林寺殿（ぜんりんじどの）❶（Zen-rin-ji-dono）室町幕府第六代将軍足利義教の法名。

禅林寺派（ぜんりんじは）❶（Zen-rin-ji-ha）浄土宗の一派。永観堂禅林寺を本山とする。

禅林寺本堂（ぜんりんじほんどう）❶（Zen-rin-ji-hon-dō）京都市東山区にある禅林寺の本堂。

禅林寺門前（ぜんりんじもんぜん）❶（Zen-rin-ji-mon-zen）京都市東山区にある禅林寺の門前。

禅林寺門前図（ぜんりんじもんぜんず）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-zu）京都市東山区にある禅林寺の門前を描いた図。

禅林寺門前図屏風（ぜんりんじもんぜんずびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-zu-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の門前を描いた屏風。

禅林寺門前屏風（ぜんりんじもんぜんびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の門前を描いた屏風。

禅林寺屏風（ぜんりんじびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-byōbu）京都市東山区にある禅林寺を描いた屏風。

禅林寺本堂（ぜんりんじほんどう）❶（Zen-rin-ji-hon-dō）京都市東山区にある禅林寺の本堂。

禅林寺本堂図（ぜんりんじほんどうず）❶（Zen-rin-ji-hon-dō-zu）京都市東山区にある禅林寺の本堂を描いた図。

禅林寺本堂図屏風（ぜんりんじほんどうずびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-hon-dō-zu-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の本堂を描いた屏風。

禅林寺本堂屏風（ぜんりんじほんどうびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-hon-dō-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の本堂を描いた屏風。

禅林寺本堂門前図（ぜんりんじほんどうもんぜんず）❶（Zen-rin-ji-hon-dō-mon-zen-zu）京都市東山区にある禅林寺の本堂門前を描いた図。

禅林寺本堂門前図屏風（ぜんりんじほんどうもんぜんずびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-hon-dō-mon-zen-zu-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の本堂門前を描いた屏風。

禅林寺本堂門前屏風（ぜんりんじほんどうもんぜんびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-hon-dō-mon-zen-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の本堂門前を描いた屏風。

禅林寺門前本堂図屏風（ぜんりんじもんぜんほんどうずびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-hon-dō-zu-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の門前と本堂を描いた屏風。

禅林寺門前本堂屏風（ぜんりんじもんぜんほんどうびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-hon-dō-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の門前と本堂を描いた屏風。

禅林寺門前本堂図（ぜんりんじもんぜんほんどうず）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-hon-dō-zu）京都市東山区にある禅林寺の門前と本堂を描いた図。

禅林寺門前本堂図屏風（ぜんりんじもんぜんほんどうずびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-hon-dō-zu-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の門前と本堂を描いた屏風。

禅林寺門前本堂屏風（ぜんりんじもんぜんほんどうびょうぶ）❶（Zen-rin-ji-mon-zen-hon-dō-byōbu）京都市東山区にある禅林寺の門前と本堂

名所行器● (名産)高級料理● 月の内儀● (香木を炊闘)遊女● 遊郭内● 代々伝来● 芸名● 飾物● (名香)名器● 筆の字書

千本格子 遊女屋の表の格子。 (浮・好色一代男・一・二)

千本桜 ❶ (Sen-bon-zakura) 多くの桜の木。 (浮・好色一代男・一・二) ❷ 浄瑠璃。竹田出雲・三好松洛・並木千柳合作。一七四七年(延享四)大坂竹本座初演。全五段。源義経の都落ちから吉野山の別れまでを描く。 (歌舞伎・浄瑠璃)

千本桜 (Sen-bon-zakura) 浄瑠璃。竹田出雲・三好松洛・並木千柳合作。一七四七年(延享四)大坂竹本座初演。全五段。源義経の都落ちから吉野山の別れまでを描く。 (歌舞伎・浄瑠璃)

千本桜 (Sen-bon-zakura) 歌舞伎。浄瑠璃「千本桜」を脚色。一七四九年(寛延二)大坂竹本座初演

専修寺本末帳 専修寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

専称寺本末帳 専称寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

善導寺本末帳 善導寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

善福寺本末帳 善福寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

禅林寺本末帳 禅林寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

増上寺本末帳 増上寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

大乗寺本末帳 大乗寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

大通寺本末帳 大通寺の本末寺院を記した帳簿。一巻。一七世紀末頃の成立か。

大本山本末帳 大本山

六七大(龍大)・一一二・一八・七四(体系)・谷大(宗大・三一〇)

諸経本願念仏集疏考 ❶(日) Sen-jaku-hon-gwan-nem-bus-shū-mi-kō. 善導の分出浄土諸経本願念仏集疏考 ❷八巻 ❸存 ❹正徳三刊 ❺(正大)一五四・一九四)

諸経本願念仏集密要決 ❶(日) Sen-chaku-hon-gwan-nem-bus-shū-mi-tsu-yō-ketsu. 諸経念仏集密要決 ❷五巻 ❸存 大正大三・三一九No. 2620 大日本仏教全書宗六三 浄土宗全書宗八 西山全書宗二 仏教大系仏五一一五三 ❹隆寛(治承元—貞応元 A. D. 1177—1247)述 ❺諸経念仏集要決の下を見よ。 ❻(参考) 浄土宗宗教典志巻三 ❼延木(正大)一五四・九三)

諸経本願念仏集名体決定抄 ❶(日) Sen-chaku-hon-gwan-nem-bus-shū-myō-tai-ketsu-narabini-nem-butsu-hon-gwan-gi. ❷一巻 ❸存 浄土宗全書宗八 ❹慶明(元禄元A. D. 1185—)述

❺❻の両書は、諸経集の名と体を九品寺流の立場より所釈せるものである。初に題名の内、先ず題目を分けて諸経と本願と念仏の三義を釈し、次に諸経については無相・有相・定心・散心の四観を分ち、一々各別に説明が加へてある。次に諸経は両巻所説の六字を分けて総令、所令の二つと為し、更らに両者を総令・所令の二つと為し、更らに両者を総令・所令の二つと為し、更らに両者を総令・

（大正一・六一〇 No. 26. 122）

善隆國華說家經 ❶(梵) Sem-pā-koku-bus-setsu-kai-kyō. (支) Chan-po-kuo-fo-shuo-chieh-ching. ❷一卷 ❸欠譯 ❹(參考) 出三藏記集四、大周錄卷二、開元錄卷五、卷一五、貞元錄卷八、卷一五

善寂比丘經 ❶(梵) Sem-ba-bi-ku-gyō. (支)Chan-p'o-pi-ch'iu-ching. ❷一卷 ❸失譯 ❹(參考) 出三藏記集四

善寂比丘經 ❶(梵) Sem-ba-bi-ku-gyō. (支) Chan-p'o-pi-ch'iu-ching. (巳) A. VIII. 10 Kāraṇḍava. ❷一卷 ❸存 大正一・八六二No. 64、縮刷大正一四・二一、昭北965函、普709函、宋701函、明北596番、南596番、麗686番、天695函、知657番、法661番、資931番、聖578番、Nj. 600 ❹出家戒 ❺西晉永嘉五—永嘉元(A. D. 290—306)

❻舍衛城の婆羅門(Campā)の池畔に出現した龍王(Gaggarā pokkharaṇī)に法を說き會、月の十五日であつたので、衆比丘のために波羅提木叉(Pātimokkha)を說き給はんとせられた。然し龍は神變、中說を現じ衆を威壓に歸り明方に及ばんとするも說終らずして龍は去り、比丘、その折に聞ふたことでやつたが、衆中に一人不淨比丘あることを告げ給ふた。會に大目揵連、その由を聞いてその不淨比丘を擯出し、更ねて集會に衆と說かんことを請ふた。

此に於て衆會、大目揵連尊者に衆と說くことを勸め給ふ故に衆を說き給はずして所以を

全、第、冀、冏、豫、雲

の大正藏經索引第四卷の終り。❻(參考) 出三藏記集四、七卷經錄卷三、歷代三寶紀卷四、仁壽錄卷三、開元錄卷一六、貞元錄卷三六

全室和尙語錄 ❶(日) Zen-shitsu-o-shō-go-roku. (支)Ch'üan-shih-ho-shang-yü-lu. ❷三卷 ❸存 ❹明代白性宗智の說(支大正藏・一七ノ・六)

全室外集 ❶(日)Zen-shitsu-ge-shū. (支)Ch'üan-shih-wai-chi. ❷一卷或二卷 ❸存 ❹明代宗泐等撰 ❺(參考) 續日錄

全室集 ❶(日) Zen-shitsu-kō. (支) Ch'üan-shih-kao. ❷一卷 ❸存 ❹明代宗泐撰 ❺(支大正藏・一七ノ・四ニ)

全州廣吉祥圓覺禪寺 ❶(日) Zen-shū-kō-ji-kai-sō-hi. (支) Ch'üan-chou-kuang-ssŭ-k'ai-ch'uang-pei. ❸存 ❹(參考) 朝鮮總督府刊行寶定雜日

全生指迷病證記 ❶(日) Zen-shō-an-hen-gak-ki. ❸存、撰者未詳、日本の寫本四卷 ❹日出於日輪 ❺天正七刊 ❻(國大)

全真祕記大乘起信論義疏會通科文 ❶(日)Zen-shin-o-shō-shi-dai-ki sō-shō-jō-in-tō-mon-shaku. ❷一卷 ❸存 ❹信曉撰 ❺(參考) 大日本佛教全書續刊寶定雜日

全真玄關大外丈書 ❶(日) Zen-shin-shū-gwen-hō-gwai-gen-gon. ❷一卷 ❸存 ❹宗杲(支大正藏・四七ノ・八)

全體新論血管圖說 ❶(日) Zen-zō-daru-ma-shus-shin-den-tō-den. ❷一卷 ❸存 ❺安政九刊 ❻(國大)

前業善報 ❶(日) Zen-kan-jō-shō. ❷大帝 ❸(參考) 日本佛教新報目

前集寒原經 ❶(日) Zen-ku-dom-mi-kyō. 現代宗教佛教寒原經 ❸存、現代宗教佛教寒原經卷三中阿含經抄 ❹宇野圓空、林玉苑共譯

前後圓寂雜說集 ❶(日) Zen-go-ryō-ban-jin-ri-shū. ❷一卷 ❸存、大日本佛教全書續刊三、高心和尙全集卷三 ❹天書は天台宗僧侶の宗要の一で、五味の說に關する周興撰疏の五味を略と分別して、前後圓寂雜說とも稱し、又は天台宗僧侶の五味を論義し、或は五味に就き說かんことを問ふた。

此に於て天書、高心和尙に就き說くことを勸め給ふ故に天書を說き給はずして所以を說かんことを問ふた。即ち、不淨比丘は比丘尼を誘して大罪を受くること、及び、かの不淨比丘を擯斥することは釋迦の中の教誡を繼ぐ如くであつて、教團中の組織を破る如くであるが、又、或る作らんとして拒否を說き給ふ如くである。彼の不淨比丘は舍衛の國(Kāraṇḍava)であつたと說き、終りに頭陀したまふ。

本書は中阿含、卷百三十二、善寂經(正大・一・六一〇)の別譯である。又、中阿含の第三十七、善寂經(大正・一・四七八)とは經序(通序、別序)は少しい。 (圓尾弘道)

前漢錄 ❶(日)Sem-byō-kyō. 現代宗教佛教前漢錄 ❸存、現代宗教佛教本漢錄卷五年一四合冊抄 ❹宇野圓空

前漢日記 ❶(日) Sem-byō-nik-ki. ❷一卷 ❸存 ❹西山宗因 (天和三—明和六A. D. 1683—1769) ❺(參考) 續日錄

前法 ❶(日)Sem-pō. 前法卷下二卷合冊 ❸存、日本大藏經第卷四大乘律疏部、卷四四之內 ❹四部不二卷合冊 ❺前法卷上、前法卷下を見よ。

前法因起 ❶(日)Sem-pō-in-ki. ❷一卷 ❸存 ❹四明慈雲の註解 ❺寬永一二刊 ❻(國大)(元大・九、四大)(谷大、修大・三〇四三)

前法講文集 ❶(日)Sem-pō-kō-shi-dai. ❷一卷 ❸存 ❹寬永(谷藏)

前法作法私 ❶(日)Sem-pō-sa-hō-shi. ❷一卷 ❸存 ❹宗教記 ❺正保二頃 ❻(國文藏)

前法私 ❶(日) Sem-pō-shi. ❷一卷 ❸存 ❹真盛記 ❺寬永三一(A. D. 1424)

前法之記 ❶(日)Sem-pō-no-ki. ❷一卷 ❸存 ❹寬文三刊 ❻(國大、法文)

前後分 ❶(日) Sen-gi-shō. ❷二卷 ❸宋初撰(支不載撰人)—北宋元A. D. 976—1022)造 ❹前記觀音靈驗傳を續したもの。 ❻(參考) 續宗教資源卷二

前生記 ❶(日)Sen-gen-ki. 前生譚記 ❷敎訓前生記 ❸存 ❹善導撰 ❺(支)

前世往生業 ❶(日)Sen-dai-ō-jō-gi. 一前世往生業 ❸存、十一話收錄、越宗小姑撰 ❹寬政(支享八—元明三 A. D. 1723—1783)造 ❺一前世往生業の下を見よ。 ❻(支大正藏・一四ノ・一五五)

前世善語 ❶(日)Sen-dai-dō-ku-go. ❷一卷 ❸存 ❹善導撰 ❺(支大正藏・一ノ・二五)

前世老僧辻談義 ❶(日) Sen-dai-rō-ō-tsuji-dan-gi. ❷一卷 ❸存 ❹日置謙藏(貞享二—明和五A. D. 1685—1768) ❺明和七刊(國大) (支大正藏・一四ノ・一〇五〇)

前盟志 ❶(日) Sen-yū-shi. ❷寬政(一天保六 A. D. 1028—)撰 ❸史明文を輯したもの。 ❻(參考) 續宗教資源卷二

前語 ❶(日) Sen-go. ❷存、臨濟錄(支宋初撰(支不載撰人)—元初撰元A. D. 1630—1698)撰 ❸元祿五刊 ❹(國大)

前世因緣 ❶(日) Sen-dai-wa-kyō. (支)Shan-t'i-ho-ching. ❷一卷 ❸欠譯 ❹(支藏)

前世譚女經 ❶(日) Zen-se-jō-nyo-kyō. (支) Ch'ien-shih-chêng-nü-ching. ❷一卷 ❸欠譯 ❹(支藏)

前世譚女經 ❶(日) Zen-se-jō-nyo-kyō. (支) Chien-shih-chêng-nü-ching. ❸存、北藏第一(大正三・七五 No. 154. 7)

前證符瑞永和宮殿記 ❶(日) Zen-shō-ji-tō-sui-o-shō-den-ki. ❷一卷 ❸存 ❹明和五刊 ❹(正大・一七ノ・六)

前心圓大藏抽細護歷之記 ❶(日) Zen-ten-ryū-shin-kwan-dai-zen-ji-so-dō-ri-reki-no-ki. ❷一卷 ❸存 ❹(參考) 大日本佛教全書續刊寶定雜目

前東坡遺誡 ❶(日) Zen-tō-ba-man-dan. ❸存、國文東方佛教叢書第四回事蹟部 ❹光豊(未詳—元文四A. D. 1652—1739)述 ❺享保九(A. D. 1724)四月十三日—四月十五日

❻天書は釋宗和尙が享保九年四月十三日より十五日に至る三日間、比叡山三塔の大衆井に安養律院の律師の書に依りて講說したる事をめもで、宗和尙の講說を筆記したるもので、十三日安樂院會に於て說話は仲間事間の邊をことを首ひ、佛の全學のことを文證の文字のこと、醫師と稱れる僧日本山に律院の定のこと、訪氣不調のこと、東國に於ける佛事の儀式上あらゆる一切の事外護せらるゝは全文にあたるやうな事柄說明會に於て說話には仲日本の話は大つな事なものだといひしことなどを載せ。十四日の話は大つ

語などいふものがあるは、略の方だといひ、抄物系門の祖心のことを記き、外題の異名の抄を時々見て文字の意を調れること、調詰の記れることなどを挙げ、天台宗の人の書候に載りたる南嶽天台、本朝の外に土主意識の悟法師の傳を引き、次に石を著く事より火の出る話をしてゐる、十五日は十四日と同じ義で、文字は知つてゐるが、實物を知らぬ小僧がキリギリスとカマトヂスと間違ひたる話、安楽新到の道心者を指導といひし話、終に自心全佛のことを力と悟めて記いてゐる。（中谷在鎮）

前唐院心十秘義 ❶(日) Zen-tō-in-kwan-jin-jū-myō-gi. ❷一冊 ❸存 ❹天台宗（一天保六 A. D. 794—864） ❺(参考) 出家目録 諸宗章疏録 続群書類従巻上

前唐院在唐記 ❶(日) Zen-tō-in-zai-tō-ki. 在唐記、在唐私記、在唐私 ❷一巻 ❸存 ❹天台宗（一天保六 A. D. 794—864）頃 ❺(参考) 大日本佛教全書遊方伝叢書二 大日本佛教全書卷三〇 ❻同七(延暦二三—貞観六 A. D. 794—864) ❼(参考) 大日本佛教全書遊方伝叢書目

前唐院入唐請来目録 ❶(日) Zen-nan-zen-ichi-an-rin-zen-ji-gyō-jō. ❷巻 ❸散逸（一明応七 A. D. 1498） ❹(参考) 大日本佛教全書遊方伝叢書目

前唐院諸宗章疏録 ❶(日) Zen-nan-zen-zui-gan-zen-ji-gyō-dō-ki. ❷一巻 ❸存 ❹散逸（一明応七 A. D. 1498） ❺(参考) 大日本佛教全書遊方伝叢書目

前聞記 ❶(日) Zem-mon-ki. 無傳行

録 ❷一巻 ❸存 ❹天享四年（永和三 A. D. 1377—） ❺(参考) 国書目録

善惡業經 ❶(日) Zenn-aku-i-kyō. (支) Shan-ê-i-ching. ❷一巻 ❸缺 ❹宋譯 ❺(参考) 出三藏記集三、法經録第三、仁壽録第五、静泰録第五、開元録第二、第十五、貞元録第十一、第二五

善惡因果經 ❶(日) Zenn-aku-in-gwa-kyō. (支) Shan-ê-yin-kuo-ching. 善惡登願參行記、因果經 ❷一巻 ❸存、大正八五・一三八〇 No. 2881、卍續一・一・四

❹本書は、其に佛說善惡因果經と称し、異に因果經とも呼ばる。題題に示してゐる如く本經は衆生の色相に種々善惡好醜等の不同あり、貧賤富貴の差別あるは皆前世の業因に依つて、現在の果報を招来してゐることを説明し、中古より近代に至るまで廣報三昧の十月中旬法師大性寺に於て著せし所で、彼の序文に依れば「善惡報應因果經とは實に出離の指文・解脱の前度にして、世間に外ならず出世間に内在り、衆邪の雑を折き、正見を回らし、群疑の狂を廻りて自性を彰て正見を得すれば故に之に歸命し奉る」と因果經の意義を説明してゐる。

了意は因果經を解釋するのに三段に分ち、一は題の意義を解し、二は人文解釋してゐる。題は因果の相を説き、善惡報應の理を演べ、凡に似て而も凡ならず、聖に似て而も聖ならず」と因果經解の特質を指摘してゐる。

化三年 ❸(支) 1・11三)

善惡因果經變會 ❶(日)Zenn-aku-in-gwa-kyō-gye. 因果經變會、善惡因果經參行經直解 ❷一巻 ❸存、日本大藏經方伝部資産部六 ❹元禄三(A. D. 1690)

❺本書の作者幸賢は「一面目命と楽し、新著述宗の人。和漢記の造詣深く、元禄三年（A. D. 1690）に著解を著した。

幸賢は本書に於て『觀』に切衆生の苦海に浸漬しつゝ解脱に至るまで心を以て心を治めるが故に、心は萬法の根源であるとし、心の外に萬法なしと説き、心の外に萬法なしと説き、心の外に萬法なしと説き

明帝建武四年(A. D. 497)五月八日に生れ、二十四歳のとき光宅寺法雲に遇つて感悟し、忽山の下に庵居して衣糸紡織事業大いに興し、また宋天台より来つて説法するものなりと称して、其の化縁は一年を満たずして、梁の武帝の尊仮を受けた。其の示寂は普通の大通元年(A. D. 569)四月二十四日晋陵の修禅寺に於てである。巻首に修証の先、巻二には此の三昧を修め。巻三には其の四相の修証を叙し。巻四には其の四相の修証を叙し。巻五には此の三昧を修むる因縁、即ち行者の資格を述べ、次に行法具足、行法具足中に於ける障礙を除き、次に行者が行住坐臥、今王般若経、普賢観経、方等経、法華経、四種三昧、内外境界、次第修証、五、円通修証八、真元修証八、結勧流通の十門に分つて説き、末に天台の止観の大意を述べたものである。

善王宝帝経 ❶(梵)Zenn-ō-kō-tei-kyō. (支) Shan-wang-huang-ti-ching. 善王皇帝功徳経 ❷三巻 ❸佚 ❹(参考) 出三蔵記集五、法経録巻二、仁寿録巻四、内典録巻一〇、武周録巻一五、開元録巻一八、貞元録巻二八

善悪記 ❶(日) Zenn-ō-ki. ❷一巻 ❸存 ❹室町写本 ❺(参考) 国書目録

善悪因果物語 ❶(日) Zen-kyō-bō-mono-gatari. ❸存 国文東方仏教叢書第一輯巻九文藻部巻上

❹善悪因果の日々生活の間に仏土信仰を普及する話を掛ける物語で、巻巻を配し、其の巻中に四章を入れて計話題とし、各話をつけて話の展開を示してある。対話の相手として、火林によりかゝりて笑つて笑、はらも心観、にしの御方、たかくら殿、きぬき殿、よしとの、三川殿、等幼稚名が居る。くだけた対話の調子や年近な人物の描写などは日本語巻の中でも面白の特色があるといはれてゐる。

(藤田良雄)

善教論 ❶(日) Zen-kyō-ron. (支) Shan-chiao-lun. ❷一巻 ❸佚 ❹(参考) 東域伝燈目録巻下

善巧華化集 ❶(日)Zen-gyō-sek-ke-shū. ❷一巻 ❸如信(記)(鎌倉元—正安)[A. D. 1239—1300]作

❹浄土真宗教義を日常に日く「」巻。其の趣旨は未だ現行こゝ々。

善恭敬経 ❶(日) Zen-ku-gyō-kyō. (支)Shan-kung-ching-ching. 善恭敬順諦経 ❷一巻 ❸存、大正三四・一一〇

○No. 1495、縮刷三・一〇七・中、北255鳥、南256鳥、元258鳥、明北271貫、清271貫、鳥249鳥、天259鳥、碧238鳥、清248鳥、玉332法、明南247物、Nj. 275 ❹隋天竺三蔵闍那多羅 ❺隋開皇二〇(A. D. 561—600)

❻仏阿難に対つて四の恭敬すべきを説くもので『善恭敬順諦』の別名ある所以である。阿難は仏に多聞の功徳に関して質問を発するが、仏は、恭敬の心がなくては何もならないとて、師に対する尊敬恭順の心はふくあるべしと配く。但ち、受法を敬う師前に於ては軽笑せず、談義せず、交足や坐ぎと云つてゐる。而して最後に四恭を示すべき如くなければならないのである。況んや法を敬するに於てをや結んでゐる。

(三好慶雄)

善恭善経 ❶(日) Zen-ku-gyō-kyō. 国書善恭敬経 ❷存、国書一切経律部第一一 ❸大蔵法法護

善戒経 ❶(日) Zen-kei-kyō. (支) Shan-chieh-ching. ❷一巻 ❸佚 ❹元 ❺(参考) 出三蔵記集四、武周録巻一一、開元録巻五、第一五、貞元録巻八、第一一五

善見律毘婆沙 ❶(日) Zen-ken-ritsu-bi-ba-sha. (支) Shan-chien-lü-p'i-p'o-sha. 善見毘婆沙律、善見律、善見論、善見毘婆沙律 ❷十八巻 ❸存、大正二四・六七No. 1462、縮刷八、卍二九・二、北941伯、南955伯、元951伯、明北1120鶏、清1120鶏、鳥944鈔伯、天943伯、北255鳥、南256鳥、元258鳥、明北271貫、清271貫、鳥249鳥、天259鳥、碧238鳥、清248鳥、玉332法、明南247物、Nj. 275 ❹僧伽跋陀羅(一説仏陀跋陀羅)(仏賢)(名僧)

現存の巳利律蔵には本書の註釈である律蔵の註釈であるが、巳利律蔵の註釈たるヤマンタパーサーディカー(仏賢)に比較してゐることから考へても本書はセイロンに於ける巳利律蔵の註釈であることは疑ふの余地は無い。古来四分律の註釈としたのは誤りであつて、部分の一しかも思はせるものゝみあるからであつて全く当つてゐるとは云ひ難い。

其の内容は、仏在舎衛城祇園精舎、仏告諸比丘、僧伽婆尸沙、尼薩耆波逸提、波羅夷、波羅提提舎尼、衆学法、滅諍法、の順序に従つて来た律蔵を文義の意味に従つて解釈したものである。

いふ三種法門があつて、その名は出てゐないが、この三種法門が前に述べて来た律蔵の解釈に於ても、それを基礎にしたと考へられる。

其の解釈の方法は、先づ一般的に解釈を下し、次に文句を解釈するといふ順序で、文句の解釈に於ても

名所行目印 ● 印度(名称) ● 印度(気候) ● 月々の行事 ● 僧侶 ● 僧伽 ● 代々行事 ● 僧侶 ● 僧伽 ● 僧侶 ● 僧伽 ● 僧侶 ● 僧伽

サ	Saṅghabheda			
ベ	Vatta	法	戒	「蔵」
ベ	Pātimokkhaṭṭhapana（波羅提木叉）		度	
10	Bhikkhunī	比丘尼	比丘尼	「蔵」
11	Pañcasatika（五百の）		五百	「蔵」
11	Sattasatika（七百の）		七百	「蔵」
	Parivāra	附	随	「蔵」

（京井賢善）

善賢品抄経 ❶(日) Zen-kem-bon-shō-gyō.(支)Shan-chien-p'in-ch'ao-ching. ❷一巻 ❸大乗経典部華厳部 ❹〔参考〕法華経巻第三、開元釈教録巻第十六、貞元釈教録巻第三

善光寺縁起図槽 ❶(日) Zen-kō-ji-e-shi-den. ❷六巻 ❸存 ❹風俗 ❺安政五刊 ❻(谷大、宗大・二三五頁)

善光寺縁起 ❶(日) Zen-kō-ji-en-gi. ❷四巻 ❸存、大日本仏教全書第一二〇寺誌叢書第四

❹信濃善光寺が創立されるに至つた縁由を記してゐる。本朝阿弥陀如来が現生化益の御当国召に赴て善光と名乗りて印度の月蓋長者の門に立ち国王の請定を救済せられるまでの縁起と、それより転じて来朝し、善光寺建立に至るまでの縁由とを叙し、上下二巻となつてゐる。原本には図絵の図に絵を交へ上下二巻となつてゐる。

（井川定慶）

善光寺縁起集註 ❶(日)Zen-kō-ji-en-gi-shcn-chū. 善光寺縁起註 ❷六巻 ❸存、大日本仏教全書第一二〇寺誌叢書第四 ❹語源註 ❺天明五(A. D. 1785)

❹善光が国法における「善光寺の縁起」の文々句々に就て詳細適当な註釈を施されたものである。然六巻の巻尾に「如来遺法之次第」を次の如く書き述ねてゐる。

人皇三十代欽明天皇十三壬申年十月十三日自ニ百済国一、経ニ欽明王百歳一献ニ仏像一躯ニ幡蓋一具ニ経論一巻上、是レ仏法伝来日本一。

自ニ欽明十三壬申一至ニ于文体十八年一、凡千百八十七年也。

十四年正月、経論流行也。仏之教部通志、堅ニ建像図一、社ニ如来霊宮一江、人皇三十一代敏達三年、天竺仏法ニ帰依一、如来従ニ霊宮一江、出現、来ニ安ニ置内裏一也、十四年守屋大臣怖ニ如来会霊宮一江、破ニ却仏図一焼ニ仏像一也、自ニ欽明十三年一、至ニ五十四年一、而如来自ニ霊宮一江出現。

第五十三乙丑年四月八日。本多修来、来詣ニ我如来一、来ニ至百済国伊弥留一、

至ニ文体十八年一、千百二十九年。

内裏守井郷本修念、自ニ我善光年一、経ニ九百十五年一也

至ニ文体十八年一、千九十二年。

弘治元乙卯年、武田入道信玄、仮ニ信仰一来ニ如来会甲斐国一、自ニ弘治元年一、経ニ四十三年一也

至ニ文体十八年一、凡百七十九年

慶長二丁酉年七月十八日、太閤秀吉公、仮ニ如来命一、同年八月晦ニ座ニ於本国信州一也。

至ニ文体十八年一、九百三十九年

右起信所ニ集ニ他事一也、今仮ニ遮記一耳。

也于時天明五乙巳暦二十一日記ニ之ニ終ニ

❹この如く善光寺縁起が註釈を施されたものである。

（井川定慶）

善光寺紀行 ❶(日) Zen-kō-ji-ki-kō. ❷一巻 ❸存、国文東方仏教叢書第一

自ニ百済国一、欽明天皇十三年壬申歳十月十三日、大日本国ニ伝来シ給フ。

以下其の内容の一端を窺知し得るであらう。

（井川定慶）

善光寺紀行 ❶(日) Zen-kō-ji-ki-kō. ❷一巻 ❸存、国文東方仏教叢書第一

十四年正月、経論流行也。仏之教部通志、堅ニ建像図一、社ニ如来霊宮一江、人皇三十一代敏達三年、天竺仏法ニ帰依一、如来従ニ霊宮一江、出現、来ニ安ニ置内裏一也、十四年守屋大臣怖ニ如来会霊宮一江、破ニ却仏図一焼ニ仏像一也、自ニ欽明十三年一、至ニ五十四年一、而如来自ニ霊宮一江出現。

第五十三乙丑年四月八日。本多修来、来詣ニ我如来一、来ニ至百済国伊弥留一、

至ニ文体十八年一、千百二十九年。

内裏守井郷本修念、自ニ我善光年一、経ニ九百十五年一也

至ニ文体十八年一、千九十二年。

弘治元乙卯年、武田入道信玄、仮ニ信仰一来ニ如来会甲斐国一、自ニ弘治元年一、経ニ四十三年一也

至ニ文体十八年一、凡百七十九年

慶長二丁酉年七月十八日、太閤秀吉公、仮ニ如来命一、同年八月晦ニ座ニ於本国信州一也。

至ニ文体十八年一、九百三十九年

右起信所ニ集ニ他事一也、今仮ニ遮記一耳。

也于時天明五乙巳暦二十一日記ニ之ニ終ニ

❹この如く善光寺縁起が註釈を施されたものである。

（井川定慶）

善光寺如来感応決正 ❶(日) Zen-kō-ji-nyo-rai-i-setsu-kes-shō. ❷存 ❸霊異(貴本に一天明六A. D. 1705—1786) ❹(書大、詳説)(谷大・一三六イ・三)

善光寺如来縁詞傳 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-e-shi-den. ❷七巻 ❸存 ❹卍教業部 ❺安政五刊(谷大・一・三一六、正大・一〇三三・三八) 明治四五刊(正大・一〇三三・三七)

善光寺如来縁起 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-en-gi. ❷一巻或五巻 ❸存 ❹大乗(貴本六一天明一 A. D. 1709—1782) ❺(正大・一五一四・五一)(貴本(正大・一〇三三・三九)

善光寺如来御説法試業 ❶(日) Zen-kō-ji-nyo-rai-go-sep-pō-shi-ge. ❷一巻 ❸存 ❹通俗(正保元—享保六A.D. 1644—1721)通 ❺安永二刊 ❻(谷大、宗大・一三〇八)

善光寺如来誡式 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-kō-shiki. ❷一帖 ❸存 ❹了阿 ❺元禄三跋 ❻(谷大、谷・一・四九)

善光寺如来三国権実物語 ❶(日) Zen-kō-ji-nyo-rai-san-goku-den-rai-mono-gatari. ❷五巻 ❸存 ❹元禄五刊 ❻(谷大、宗大・一三六三〇)

善光寺如来傳記圖繪 ❶(日) Zen-kō-ji-nyo-rai-den-ki-zu-e. ❷六巻 ❸存 ❹不二良洲譯 ❺明治二〇刊 ❻(高大、一・一三)

善光寺如来素懐鏡 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-tō-zen-roku. 善光因縁善光寺如来感応決正 ❷存 ❸霊異(貴本二一天明六A. D. 1705—1786) ❹(書大、詳説)(谷大、一・一六イ・三)

善光寺如来縁詞傳 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-e-shi-den. ❷七巻 ❸存 ❹卍教業部 ❺安政五刊(谷大、一・一三三・三八) 明治四五刊(正大、一〇三三・三七)

善光寺如来縁起 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-en-gi. ❷一巻或五巻 ❸存 ❹大乗(貴本六一天明一 A. D. 1709—1782) ❺(正大、一五一四・五一)(貴本(正大、一〇三三・三九)

善光寺如来御説法試業 ❶(日) Zen-kō-ji-nyo-rai-go-sep-pō-shi-ge. ❷一巻 ❸存 ❹通俗(正保元—享保六A.D. 1644—1721)通 ❺安永二刊 ❻(谷大、宗大・一三〇八)

善光寺如来誡式 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-kō-shiki. ❷一帖 ❸存 ❹了阿 ❺元禄三跋 ❻(谷大、谷・一・四九)

善光寺如来三国権実物語 ❶(日) Zen-kō-ji-nyo-rai-san-goku-den-rai-mono-gatari. ❷五巻 ❸存 ❹元禄五刊 ❻(谷大、宗大・一三六三〇)

善光寺如来傳記圖繪 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-den-ki-zu-e. ❷六巻 ❸存 ❹不二良洲譯 ❺明治二〇刊 ❻(高大、一・一三)

善光寺如来素懐鏡 ❶(日)Zen-kō-ji-nyo-rai-tō-zen-roku. 善光因縁善光寺如来感応決正 ❷存 ❸霊異(貴本二一天明六A. D. 1705—1786) ❹(書大、詳説)(谷大、一・一六イ・三

zai-dō-ji-sho-chi-shiki-roku. (梵) Shan-ts'ai-t'ung-tzŭ-chu-chih-shih-lu. ❹附法統類 ❺(参考) 真宗法脈日蔵参上

善財童子南巡求法図巻 ❶(日) Zen-zai-nan-shun-ke-zō-kai-inn-en. (支) Shan-ts'ai-nan-hsŭn-hua-ts'ang-hai-yin-yüan. ❹明徐璣撰淵川画(一説武五 A. D. 1372) ❺(参考) 画継巻四下

善思童子経 ❶(日) Zen-shi-dō-ji-kyō. (梵) Shan-ssŭ-t'ung-tzŭ-ching. ❷1巻 ❸存、大正1四・六〇五 No. 479、縮東ム、卍1〇・二、北126函、南126函、元122函、明北177、洪177、麗125白、天126函、相115白、出123白、普203此、明南124、Nj. 181 ❹国訳華厳部 ❺開元録一一(A. D. 591)

❻法華経の大方等四王経及び日蔵宝積部の四王経と同本異訳の関係にあるらしてゐる。釈尊滅後の善思童子を明白に提婆達多の子とし、中者は更に同名異人の二市氏の子とし、本経は提婆の家にありし一童子としてゐる。提婆は仏の命でありながら常に仏に対して悪因の心意を懐かしめた提婆菩薩として、その善根の因縁によつて、後の手に掛かれた善思童子が、それは仏に掛かれながら所でもらうことは何人をも示さうと試みたのでもらう。善思童子が仏法を聞いたので、仏法を聞いて仏を讃歎したのでもらう。善思童子が仏法を聞いて仏を讃歎したのでもらう。善思童子が仏法を聞いて仏を讃歎したのでもらう。善思童子が

名所行器● (名産者)酒類所産● 月々の行器● (骨牌又ハ花牌)賭博● 決闘者内● 代官陣屋● 遠島● 鉄砲● 鉄砲● (名産)名物● 関所破

大仏供養（だいぶつくよう）● (Dai-butsu-kuyō)(日)

大仏殿（だいぶつでん）● (Dai-butsu-den)(日)

大仏殿の柱の穴くぐり（だいぶつでんのはしらのあなくぐり）● (Dai-butsu-den no hashira no ana-kuguri)(日)

大仏殿万年講（だいぶつでんまんねんこう）● (Dai-butsu-den Man-nen-kō)(日)

大仏餅（だいぶつもち）● (Dai-butsu-mochi

禅法要解 禅門の修行者のために，その要点を解説した書。1巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 1915

禅法経 禅定の修習法を説いた経典。2巻。後漢の安世高訳。(大)No. 607

禅波羅蜜次第法門 禅定の修習法を説いた書。12巻。隋の智顗(ちぎ)述。(大)No. 1916

禅波羅蜜門 禅定の修習法を説いた書。1巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 614

禅病秘要法 禅定の修習法を説いた書。3巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 618

禅門 禅宗。

禅門経 禅定の修習法を説いた経典。1巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 613

禅門修証 禅定の修習法を説いた書。1巻。唐の慧能(えのう)述。(大)No. 2008

禅門日誦 禅定の修習法を説いた書。1巻。唐の慧能(えのう)述。(大)No. 2009

禅門要用 禅定の修習法を説いた書。1巻。唐の慧能(えのう)述。(大)No. 2010

禅要 禅定の修習法を説いた書。1巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 615

禅要経 禅定の修習法を説いた経典。2巻。後漢の安世高訳。(大)No. 606

禅要秘法経 禅定の修習法を説いた経典。3巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 619

禅要略 禅定の修習法を説いた書。1巻。後秦の鳩摩羅什(クマラジーバ)訳。(大)No. 616

禅林 禅宗。

禅林僧宝伝 禅宗の僧侶の伝記。30巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2080

禅林類聚 禅宗の語録。20巻。宋の普済(ふさい)撰。(大)No. 2024

禅林宝訓 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓順正集 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓筆説 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓音義 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓合註 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科会本 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

禅林宝訓註釈随聞記会本科 禅宗の語録。4巻。宋の恵洪(えこう)撰。(大)No. 2023

**禅林宝訓註釈随聞記会本科

禅行堂◎（仏家）禅堂所収の 月ぬの門寮◎（学ぬ多宗禅院）修ぬ◎ 式香◎ 肚台◎ 肚香◎（古宗）古僧◎ 宗派◎ 宗旨◎ 宗祖◎ 宗本学

は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。禅堂は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。

禅堂◎（仏家）禅堂所収の 月ぬの門寮◎（学ぬ多宗禅院）修ぬ◎ 式香◎ 肚台◎ 肚香◎（古宗）古僧◎ 宗派◎ 宗旨◎ 宗祖◎ 宗本学

は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。禅堂は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。

禅定◎（仏家）禅堂所収の 月ぬの門寮◎（学ぬ多宗禅院）修ぬ◎ 式香◎ 肚台◎ 肚香◎（古宗）古僧◎ 宗派◎ 宗旨◎ 宗祖◎ 宗本学

は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。禅堂は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。

禅定◎（仏家）禅堂所収の 月ぬの門寮◎（学ぬ多宗禅院）修ぬ◎ 式香◎ 肚台◎ 肚香◎（古宗）古僧◎ 宗派◎ 宗旨◎ 宗祖◎ 宗本学

は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。禅堂は、禅僧が坐禅に専念するために設けられた建物。一般に僧堂と呼ばれる。

出來て、誠に便利である。（大久保道舟）

禪苑 ❶(日)Zen-en. ❷一卷 ❸寫 ❹金大和尚著 ❺昭和二刊 ❻東京大學圖

禪苑式 ❶(日)Zen-en-shiki. ❷寫卷 (貞觀享保元—弘仁十三 A. D. 767—822)頃 ❸山家清規 禪苑清規 ❹卷上に曰く「名出づ 筆目義、必要先生出在之会住式」云々

禪院寺誌目錄 ❶(日) Zen-in-ji-kyō-moku-roku. ❷(參考) 本朝合運 禪苑清規 寺誌 諸寺目

禪院寺事請 ❶(日) Zen-in-ji-seki. (支)Ch'an-yüan-ssŭ-shih-chi. ❷一卷 ❸寫 ❹清規 禪苑清規 ❺(參考) 諸寺 禪苑清規 寺誌 刊行 寫 定 寺目

禪悅集 ❶(日)Zen-etsu-shū. ❷二卷 ❸寫 ❹高麗 月庵 ❺(參考) 禪林 目錄

禪悅法喜集 ❶(日)Zen-etsu-hō-ki-shū. (支) Ch'an-yüeh-fa-hsi-chi. ❸寫 ❹宋代行秀 ❺(參考) 禪林 目錄

禪苑瑞錄 ❶(日)Zen-on-gi-shō-roku. ❷寫 ❸道忠 ❹(參考) 禪林 目錄

禪苑類聚文 ❶(日)Zen-on-ki-kyō-mon. (支)Ch'an-yüan-kuei-ching-wên. 禪苑文 ❷一卷 ❸寫 ❹宋高宗頃(一說參照) A. D. 1103—) ❺(參考) 禪林 目錄

禪苑類聚文字校參 ❶(日)Zen-on-ki-kyō-mon-gu-jaku-san. 禪苑文字校參 ❷一卷 ❸寫 ❹文政龍淵(一安永頃) A. D. 1773)頃 ❺明末(宋大慧・一說五)

禪苑清規總要 ❶(日) Zen-on-shin-gi-sō-yō. (支) Ch'an-yüan-ch'ing-kuei-tsung-yao. ❷一卷 ❸寫 ❹明代編述

❺宋本(宋大慧・一四七・一四)

禪苑清規新添總水法 ❶(日) Zen-on-shin-gi-tsuketari-shin-ten-ro-sui-hō. (支)Ch'an-yüan-ch'ing-kuei & hsin-t'ien-lu-shui-fa. 禪苑清規 新添總水法 清規 ❷十卷 ❸寫 ❹元 卍續一二・六・五 ❺宋宋頃(一說參照) A. D. 1103—)寫

❻崑州(江南道崑州 今蘇州)の僧 ❼大慧宗杲(一〇八九—一一六三)の法語である禪苑清規(一一〇三)が、その後百年餘の間に數次の改訂を經て、元代に至つて現在の形に整えられたものである。本書は、その元代の改訂本に、更に元末の僧 ❽德輝(江南道崑州 今蘇州)が、從來の清規の缺を補うために、新たに增補したものである。❾本書は、その序文によれば、元の至元二十四年(A. D. 1287)に成つたものであるが、現在傳わるものは、それより後の刊行である。❿本書は、禪苑清規の本文に、德輝の增補した部分を、新添總水法として、それぞれ適當な箇所に插入したものである。⓫本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓬本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓭本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓮本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓯本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓰本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓱本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓲本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓳本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。⓴本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉑本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉒本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉓本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉔本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉕本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉖本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉗本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉘本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉙本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉚本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉛本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉜本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉝本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉞本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㉟本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊱本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊲本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊳本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊴本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊵本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊶本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊷本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊸本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊹本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊺本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊻本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊼本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊽本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊾本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。㊿本書は、禪苑清規の本文と、德輝の增補した部分とを、それぞれ別個に刊行したものであるが、現在傳わるものは、兩者を合刻したものである。

禪苑尺牘 ❶(日)Zen-on-seki-toku. ❷二卷 ❸寫 ❹明末 ❺(參考) 禪林 目錄

禪苑前後類要 ❶(日)Zen-on-setsu-jo-rui-yō. ❷二卷 ❸寫 ❹(參考) 禪林 目錄

禪苑名數 ❶(日) Zen-on-myō-sū. ❷一卷 ❸寫 ❹道忠 ❺(參考) 禪林 目錄

禪苑蒙求 ❶(日) Zen-on-mō-gyū. (支)Ch'an-yüan-mêng-ch'iu. 禪苑蒙求抄 禪苑蒙求抄 禪苑蒙求抄

名所行脚⑩（名譽）浪速開明館⑩月中の四遊⑩（著者未詳）⑩浪花名所⑩（著者未詳）⑩浪花の風⑩（著者未詳）⑩浪花の風⑩（著者未詳）⑩浪花の風

tsu-mon-dō. ❷1巻 ❸存 ❹浄厳註釋 ❺明治四〇刊 ❻東京森江書店

禪學活案 ❶(日)Zen-gaku-kwatsu-yō. ❷1巻 ❸存 ❹洪嶽釣山著 ❺大正四刊 ❻東京禪文會

禪學管窺 ❶(日) Zen-gaku-kwan. ❷1巻 ❸存 ❹日置黙仙著 ❺明治四五刊 ❻東京東亞堂

禪學研究 ❶(日)Zen-gaku-ken-kyū. ❸存 ❹日置黙仙講 ❺昭和四刊 ❻京都禪學研究會

禪學五宗綱要 ❶(日)Zen-gaku-go-shū-kō-yō. ❷1巻 ❸存 ❺昭和六刊 ❻東京中央學教社

禪學古今六種 ❶(日)Zen-gaku-kō-jō-roku. ❷1巻 ❸存 ❹釋洪賛全(釋永三一大正一〇 A. D. 1850—1921)述 ❺明治四三刊 ❻(國大)(三六七ノ一・五一)(國大) ❼東京貝葉書院

禪學講要 ❶(日) Zen-gaku-kō-yō. ❷1巻 ❸存 ❹圓田宮法著 ❺明治四二刊 ❻(國大) ❼東京貝葉書院

禪學初心者の心身頌壽法 ❶(日)Zen-gaku-kō-gi-tsuketari-zen-no-shin-shin-kyō-ken-hō. 坐禪初心者心身頌壽法 ❷1巻 ❸存 ❹武山徹堂著 ❺大正五刊 ❻東京光華堂

禪學講本 ❶(日)Zen-gaku-kō-hon. ❷1巻 ❸存 ❹釧雲大等編 ❺大正一五刊 ❻東京光華堂

禪學講話 ❶(日) Zen-gaku-kō-wa. ❸存、大大系講話之內 ❹新井石禪(定治元—昭和二 A. D. 1864—1927)述 ❺大正二刊 ❻東京禪學同志會

禪學講話 ❶(日) Zen-gaku-kō-wa. ❷1巻 ❸存 ❹忽滑谷快天著 ❺大正一五刊 ❻東京光風館

禪學三要 ❶(日) Zen-gaku-san-yō. ❷1巻 ❸存 ❹大內青巒(弘化三—大正七 A. D. 1845—1918)講 ❺參同契、寶鏡三昧、五位頌を録めしもの。 ❻明治四二、大正一四刊 ❼東京森江書店

禪學史要 ❶(日) Zen-gaku-shi-yō. ❷1巻 ❸存 ❹鷲尾順敬著 ❺明治三八刊 ❻東京森江書店

禪學思想史 ❶(日) Zen-gaku-shi-sō-shi. ❷二巻 ❸存 ❹忽滑谷快天著 ❺大正一二—一四刊 ❻東京玄黄社

禪學示蒙 ❶(日) Zen-gaku-ji-han. ❷1巻 ❸存 ❹市川文雄著 ❺明治三八刊 ❻東京森江書店

禪學辭彙 ❶(日) Zen-gaku-ji-ten. ❷1巻 ❸存 ❹鎌倉如天、安藤文英共著 ❺大正四刊 ❻東京無我山房

禪學眞髓發者 ❶(日) Zen-gaku-shitsu-gi-kai-tō. ❷1巻 ❸存、晉門叢書第一〇 ❹原田祖岳著 ❺大正六刊 ❻東京內外出版社

禪學小史 ❶(日)Zen-gaku-shō-shi. 列祖傳燈禪學小史 ❷1巻 ❸存 ❹泉靜外著 ❺明治四一刊 ❻(國大) ❼東京平山出版會

禪學捷徑 ❶(日)Zen-gaku-shō-kei. 教育應用禪學捷徑 ❷1巻 ❸存 ❹1色

禪學心性實鑑錄 ❶(日) Zen-gaku-shin-shō-jik-ken-roku. 心性實鑑錄 ❷1巻 ❸存、川合清丸之內 ❹原坦山(文政二—明治二五 A. D. 1819—1892)著 ❺明治四〇刊(國大)(三六七九・三〇)(國大) 明治四三刊(京大)(三五七・一一・一一) ❻東京井洌堂

禪學新語 ❶(日) Zen-gaku-shin-zui. ❷1巻 ❸存 ❹近重眞澄著 ❺大正四刊 ❻東京玄黄社

禪學新論 ❶(日) Zen-gaku-shin-ron. 批判解說禪學新論 ❷1巻 ❸存 ❹忽滑谷快天著 ❺明治四〇刊 ❻(帝國)(三二四・四五)(國大)(京大)(三五ヤ・一八) ❼東京井洌堂

禪學俗語考 ❶(日)Zen-gaku-zoku-go-ge. ❷1巻 ❸存 ❹鈴木大拙著 ❺明治四一刊 ❻(國大)(京大)(B一三・一四五) ❼東京森江書店

禪學大意 ❶(日)Zen-gaku-tai-i. ❷1巻 ❸存 ❹大內青巒(弘化三—大正七 A. D. 1845—1918)述 ❺東京森江書店

禪學大系 ❶(日)Zen-gaku-tai-kei. ❸存 ❹禪學大系編纂局編 ❺禪學大系は歷史、法式、組織、修養、公案、評唱、參禪、悟道、修證、信心、方便、警策、坐禪、作法、威儀、生活、社寺、住職、法戰、遺誡、葬祭、消災、接化、報恩、特殊、外護、論說、垂迹、利益、現證、公認、血脈、法類、法語、偈頌、拈古、頌古、著語、評唱、雜錄、行狀、碑銘、普說、普勸、坐禪儀、赞、銘、警策、法門、法式、法語、遺誡、垂誡、遺書、遺偈、遺戒、遺訓、遺言、遺命、遺囑